SUPER JAZZ SOUND

V.S.O.P.

■スーパー・ジャズ・サウンドの研究■

V.S.O.P.

CONTENTS

INTRODUCTION …… 2
PROFILE …… 3
DISCOGRAPHY …… 2
MAIDEN VOYAGE／処女航海 …… 4
Layout／Improvisation
NEFERTITI／ネフェルティティ …… 16
Layout／Improvisation
DOLORES／ドロレス …… 21
Layout
THIRD PLANE／サード・プレーン …… 32
Layout／Improvisation
EYE OF THE HURRICANE／アイ・オブ・ハリケーン …… 41
Layout
ONE OF ANOTHER KIND／ワン・オブ・アナザー・カインド …… 56
Layout／Improvisation
EIGHTY ONE／エイティ・ワン …… 70
Layout／Improvisation
DOMO／ドーモ …… 81
Layout
CIRCE／サーシ …… 101
Layout／Improvisation
PARA ORIENTE／パラ・オリエンテ …… 110
Layout／Improvisation
SKAGLY／スケイグリー …… 118
Layout／Improvisation

INTRODUCTION

V.S.O.P.とは、ハービー・ハンコックが1976年のニューポート・ジャズ・フェスティバルで企画したセッションで、ベリー・スペシャル・ワン・タイム・パーフォマンスの意味であった。つまり、この時だけのために編成されたセッションだったのである。しかし、この時の演奏があまりにも素晴しく、多くのファンの要望もあって、その後、ひとつのレギュラー・グループとしてこの『V.S.O.P.・クインテット』が結成された。メンバーは、ハービー・ハンコック(ピアノ)、ウェイン・ショーター(サックス)、フレディー・ハバード(トランペット)、ロン・カーター(ベース)、トニー・ウイリアムス(ドラムス)で、それぞれ各楽器でジャズの第1線を行くプレイヤーばかりである。それぞれのミュージシャンは、普段は各々独自のコンボを持って活躍しているが、このグループとして演奏する場合は一丸となってひとつのサウンドを造り上げており、こういった演奏は他のプレイヤーでは聞くことのできない素晴しさがあることは言うまでもない。

演奏形態は1960年代後期のマイルス・ディヴィス・クインテットにすごく近い。というのも、当時のマイルス・コンボからマイルスが抜けてフレディーが入ったのがこのV.S.O.P.になる。演奏としては、主流派ジャズのひとつの到達点、つまり、ビ・バップやモード・ジャズなどの方法論を発展させた形と考えればよい。従って、インプロヴィゼイションや曲の構成などはかなり高度で、普通の一般的なジャズ理論の知識では理解できない部分が多くある。また、即興的にアレンジしたり、コード・チェンジされたりしている部分も多い。この本では忠実にその音を採譜したつもりではあるが、そういった演奏の音を譜面にするにはかなり無理な部分もあるので、実際には、レコードをよく聴いた上でこの譜面を利用してほしい。また、演奏を細かく分析すると、膨大な紙面が必要になってくるし、V.S.O.P.ほどの高度な音楽テクニックや理論を解明するのは並大低なことではないので、この本では意識して避けた。そういった細かい部分は、みなさん独自の音楽体験や音楽理論で意欲的に解明・研究していただきたい。

Photo by S. KIKUCHI

V.S.O.P. DISCOGRAPHY

■CBS ソニー 40AP-530～1
A：ピアノ・イントロダクション／処女航海／ネフェルティティ
B：イントロダクション／アイ・オブ・ハリケーン
C：トーイズ／ユール・ノウ・ホエン・ユー・ゲット・ゼア
D：ハング・アップ・ユア・ハング・アップス／スパイダー
(1976－6－29)

■CBSソニー 40AP-771～2
A：アイ・オブ・ハリケーン
B：ジアナ／エイティ・ワン
C：処女航海／ローラ
D：レッド・クレイ
(1977－7－23)

PROFILE

ハービー・ハンコック(Herbie Hancock)

1940年4月12日イリノイ州シカゴ生れ。7才からピアノを弾き、'60年頃よりニューヨークでジャズ・ピアニストとして活躍。「ウォーターメロン・マン」でヒットを生む。その後、マイルス・デイヴィス・グループに参加。新しいジャズ・ピアノ・スタイルを確立。その後は自らが率いるヘッド・ハンターズを結成。8ビートや16ビートを主体にしたエレクトリックな音楽を中心に演奏し、最近ではソウルやファンク・ミュージックのジャンルでも活躍している。

ウェイン・ショーター(Wayne Shorter)

1933年8月25日ニュージャージー州ニューアーク生れ。'60年代の初頭にコルトレーン派のテナー奏者として活躍。アート・ブレイキーのジャズ・メッセンジャーズに参加後、マイルス・グループに参加。マイルス・グループでは彼の作曲による作品が多く採り上げられている。その後、ジョー・ザビヌルらとウェザー・リポートを結成する。コルトレーン以後のひとつの新しいサックス奏法を確立したという意味でも大きく評価されている。特に彼のソプラノ・サックスの奏法はユニークで個性的である。

フレディー・ハバード(Freddie Hubbard)

1938年4月7日インディアナポリス生れ。'60年頃より数多くのセッションやレコーディングで活躍。アート・ブレイキーのジャズ・メッセンジャーズにも参加。その後も多くのレコーディング・セッションに参加。最近では、オーソドックスなジャズからフュージョンまでと多方面に活躍している。主流派のトランペッターの第一人者として、これからも大いに期待されている。

ロン・カーター(Ron Carter)

1937年5月4日ミシガン州ファーンデイル生れ。'50年後期より多くのジャズ・セッションに参加。'60年に入ってからは主流派の大型ベーシストとして活躍。'63年にはマイルス・グループに参加。と同時にレイ・ブラウン以来の名ベーシストとしてジャズ界で大きく評価される。最近では自己のピッコロ・ベースを中心にした彼自身のグループで活躍中。

トニー・ウイリアムス(Tony Williams)

1945年12月12日イリノイ州シカゴ生れ。10代の後半よりプロ・ドラマーとして活躍。'63年にマイルス・グループに参加。新しいドラム・スタイルで一躍人気を集める。マイルス・グループ退団後は、自己のグループ『ライフ・タイム』でロック志向のジャズを模索し、最近では、4ビートから16ビートまで様様なレコーディング・セッションで活躍しており、これからも大いに期待できるドラマーである。

●ライヴ・イン・U.S.A.

■CBSソニー　40AP-798～9
A：ワン・オブ・アナザー・カインド／サード・プレーン
B：ジェシカ／ローラ
C：イントロダクション～ダーツ／ドロレス
D：リトル・ワルツ／バードライク
(1977－7－16、18)

●ライヴ・アンダー・ザ・スカイ

■CBSソニー　40AP-1037～8
A：ワン・オブ・アナザー・カインド～ティアドロップ
B：ビー・ウィー／バラ・オリエンテ
C：フラジール／ドーモ
D：ステラ・バイ・スターライト／グリーン・ドルフィン・ストリート
(1979－7－26)

●ファイヴ・スターズ

■CBSソニー　30AP-1036
A：スケイグリー／フィンガー・ペインティング
B：ムータンツ・オン・ザ・ビーチ／サーシ
(1977－7－29)

MAIDEN VOYAGE

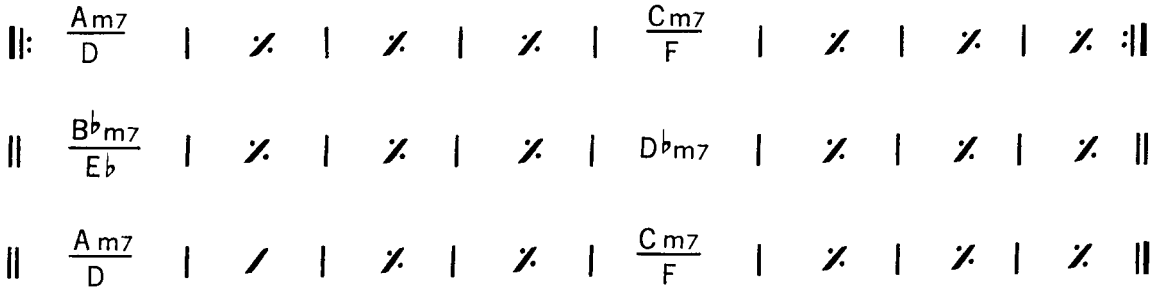
処女航海

Music by Herbie Hancock

ハービー・ハンコックの作曲によるあまりにも有名な曲で、モード手法を採り入れ、リズムも8ビートという、作曲された当時としては画期的な曲で、それ以来、多くのミュージシャンによって演奏され、モード・チューンとしては最もスタンダードな曲として扱われている。V.S.O.P.の最初のアルバム『ニューポートの追想』から採譜した。

LAYOUT

曲の形式としては、A(8小節) A(8小節) B(8小節) A(8小節) で、ワン・コーラスが32小節である。



リズムは2小節がワン・パターンで、モードは4小節がひとつの単位となっている。

譜面での構成は次の通り。

A……ピアノによるイントロダクション

B……テナー・サックスとトランペットのユニゾンによるテーマ

C……テナー・サックス・ソロ

D……トランペット・ソロ（省略）

E……ピアノ・ソロ

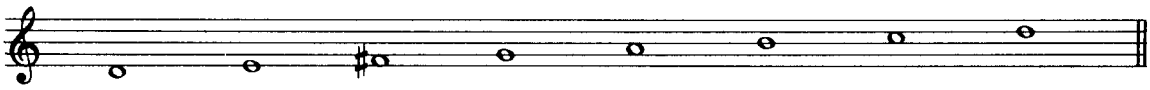
F……ベース・ソロ

G……テーマ（省略）

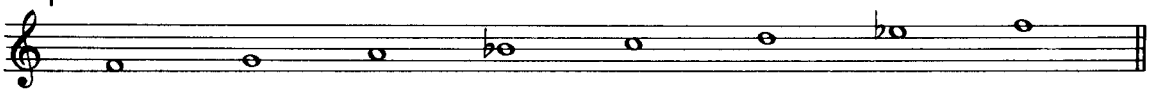
IMPROVISATION

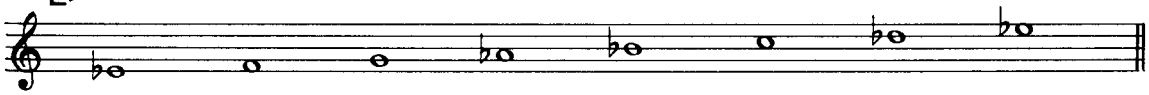
この曲におけるインプロヴィゼイションは全てモードを使って行われるが、ここで使われるモードは次の通り。

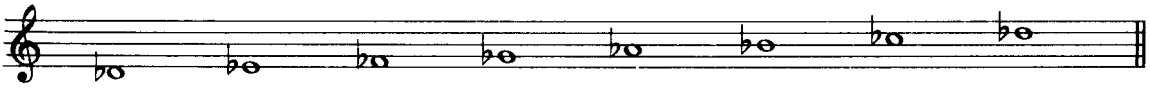
●$\frac{Am7}{D}$……D Mixo-Lydian



●$\frac{Cm7}{F}$……F Mixo-Lydian

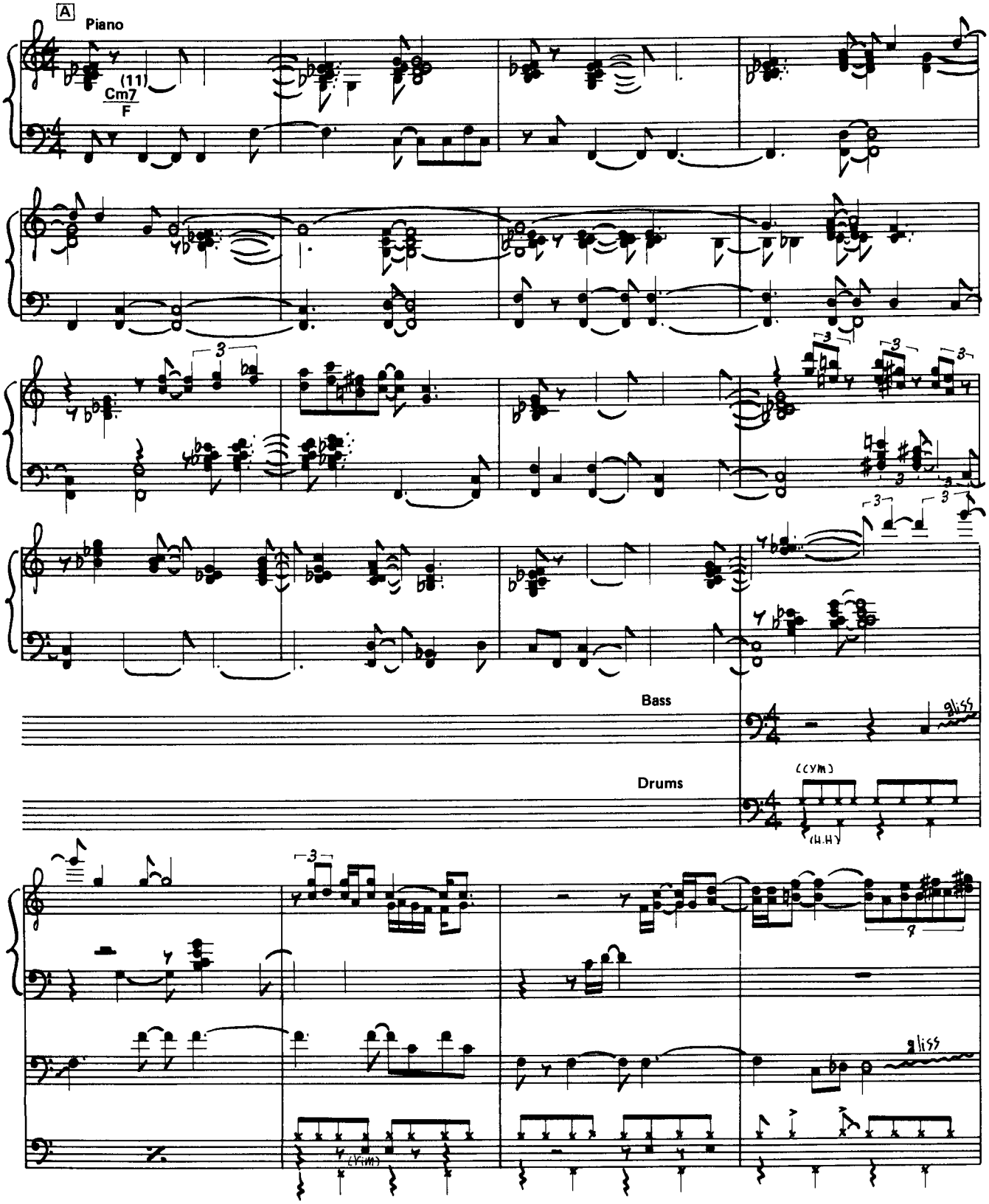
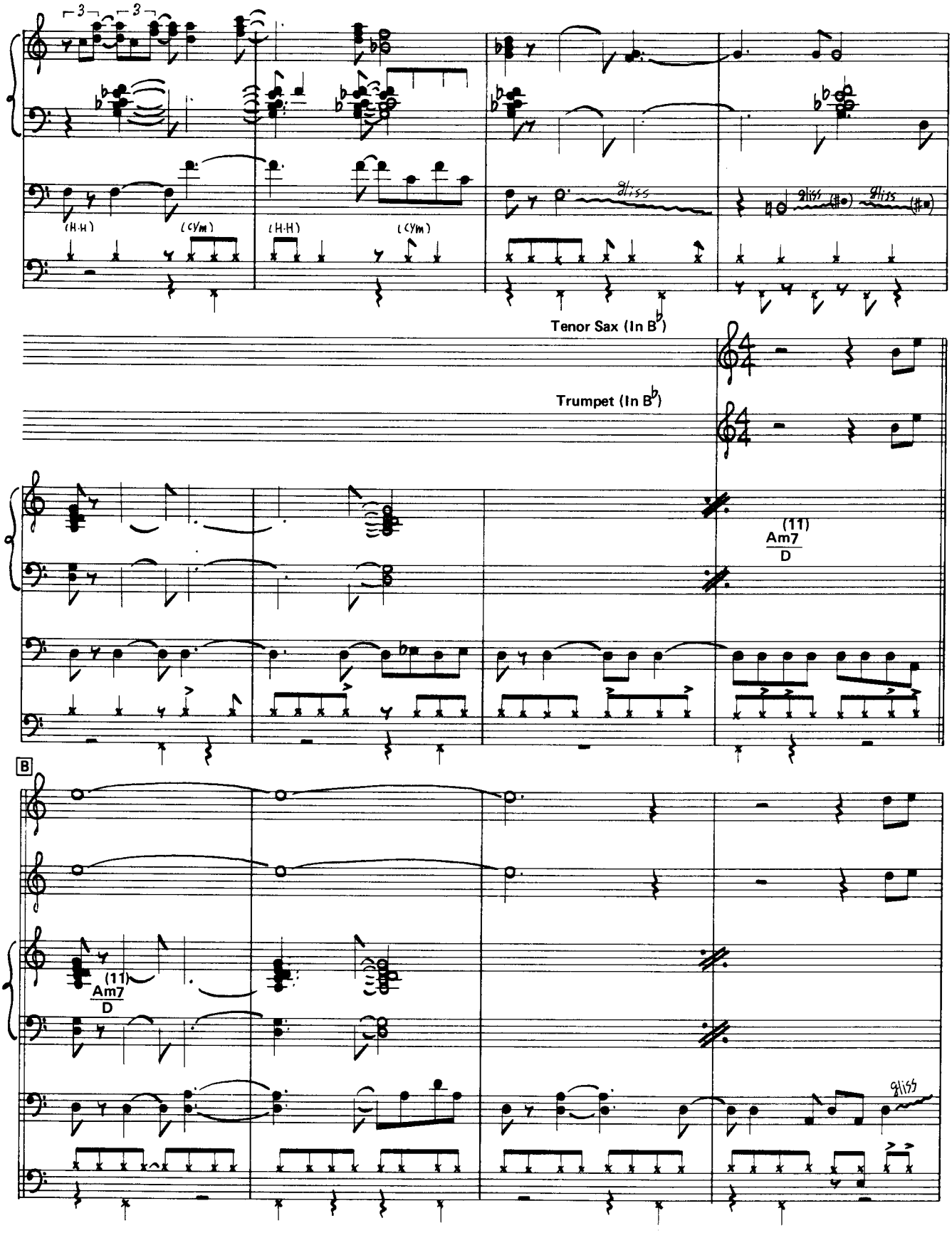
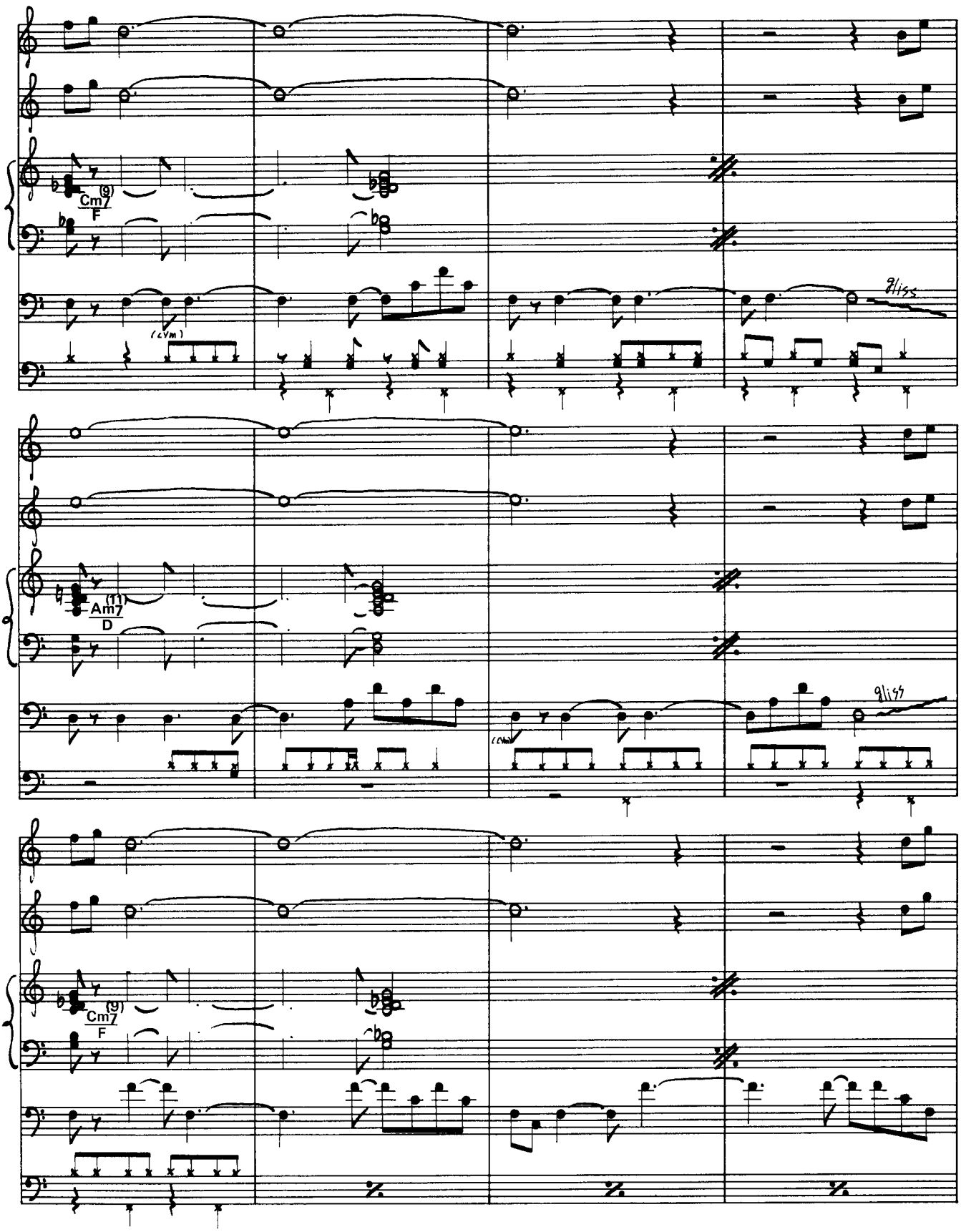
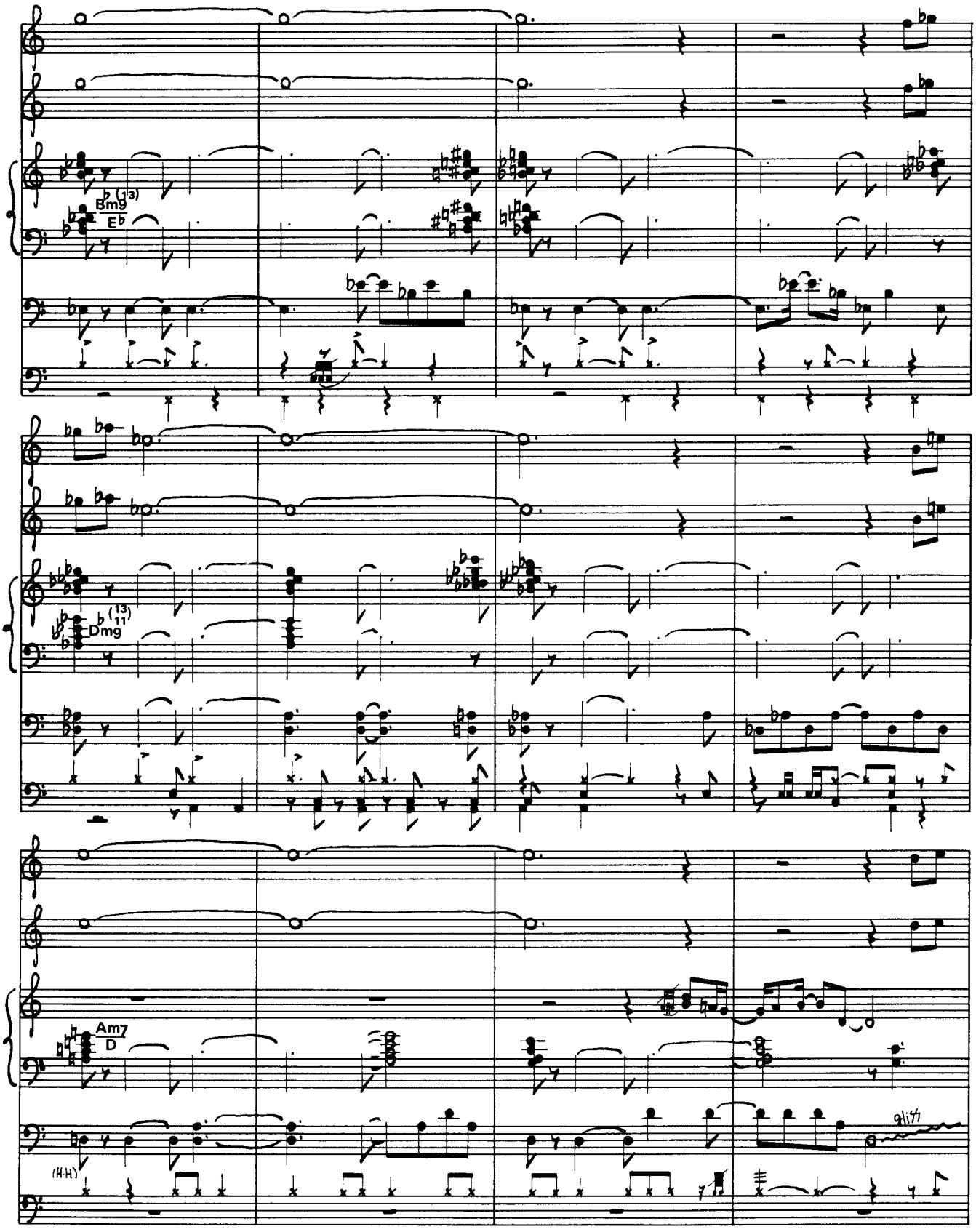
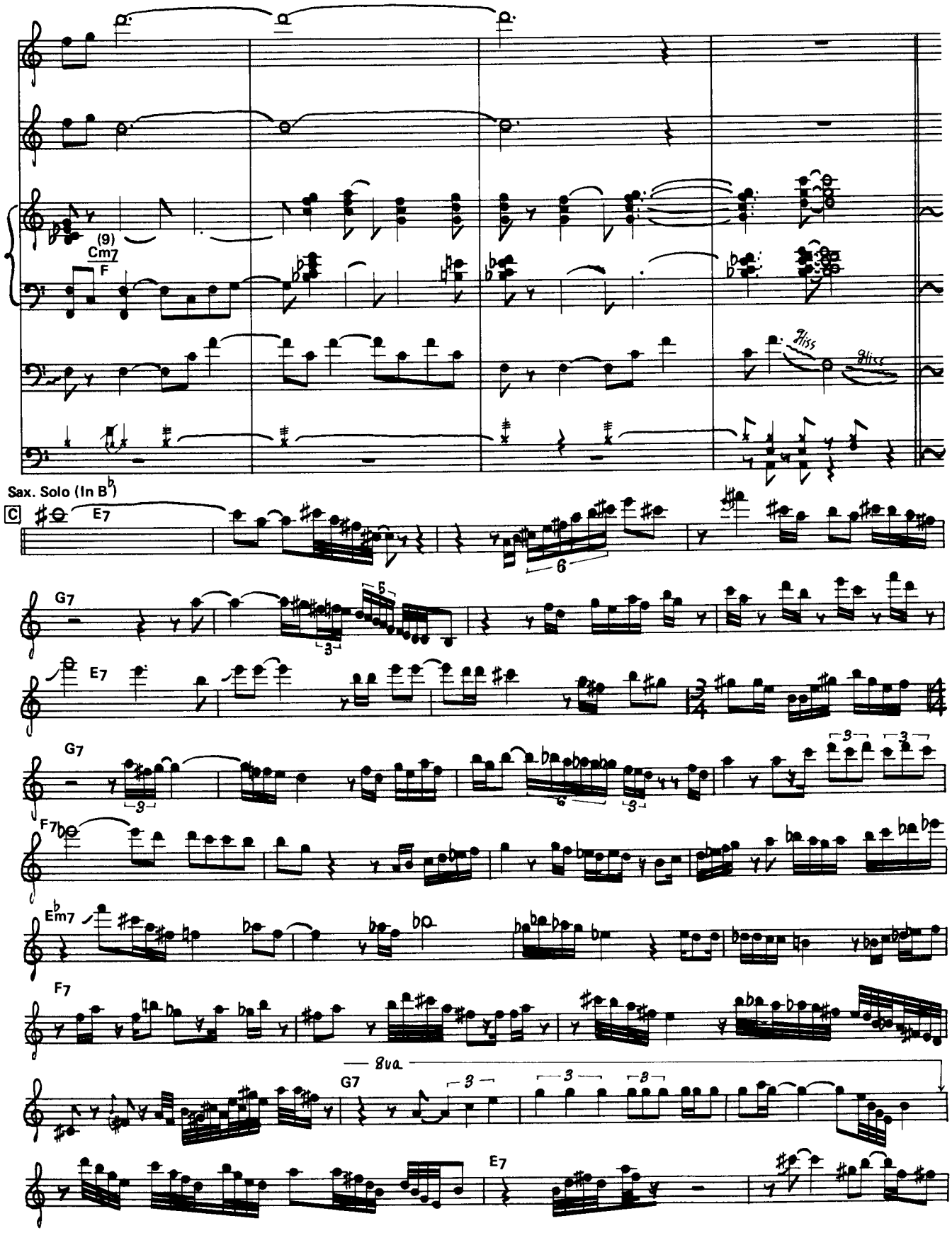
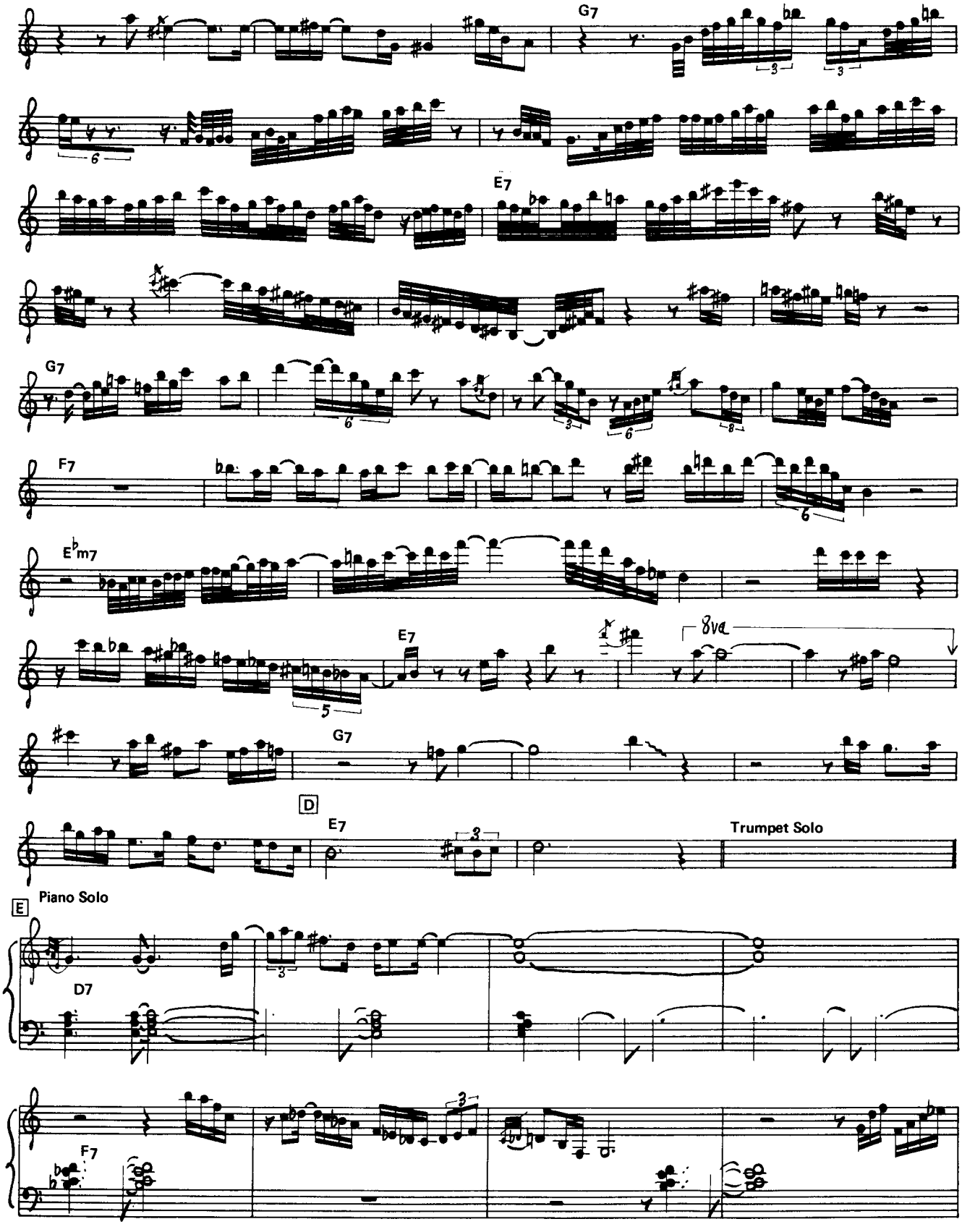
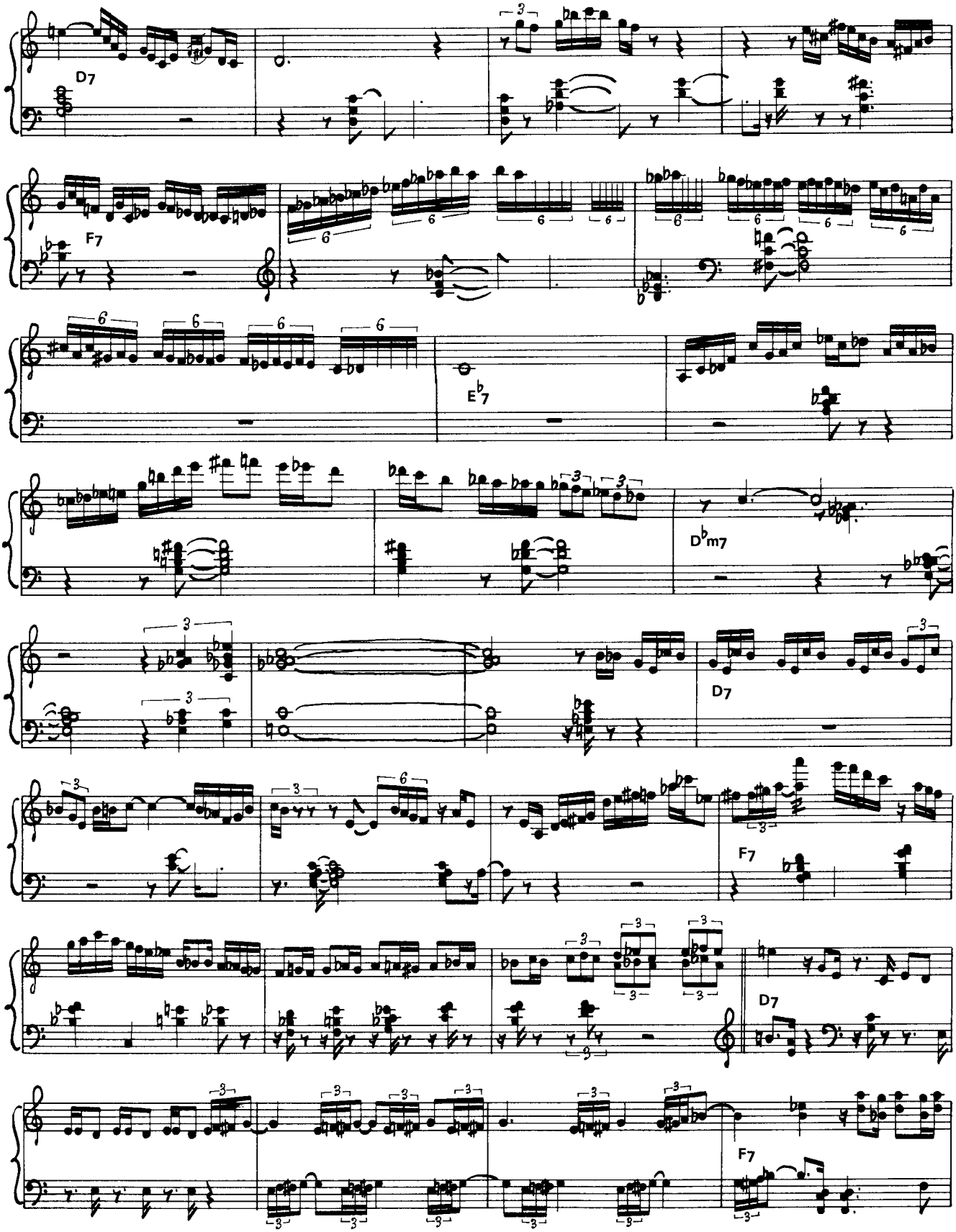
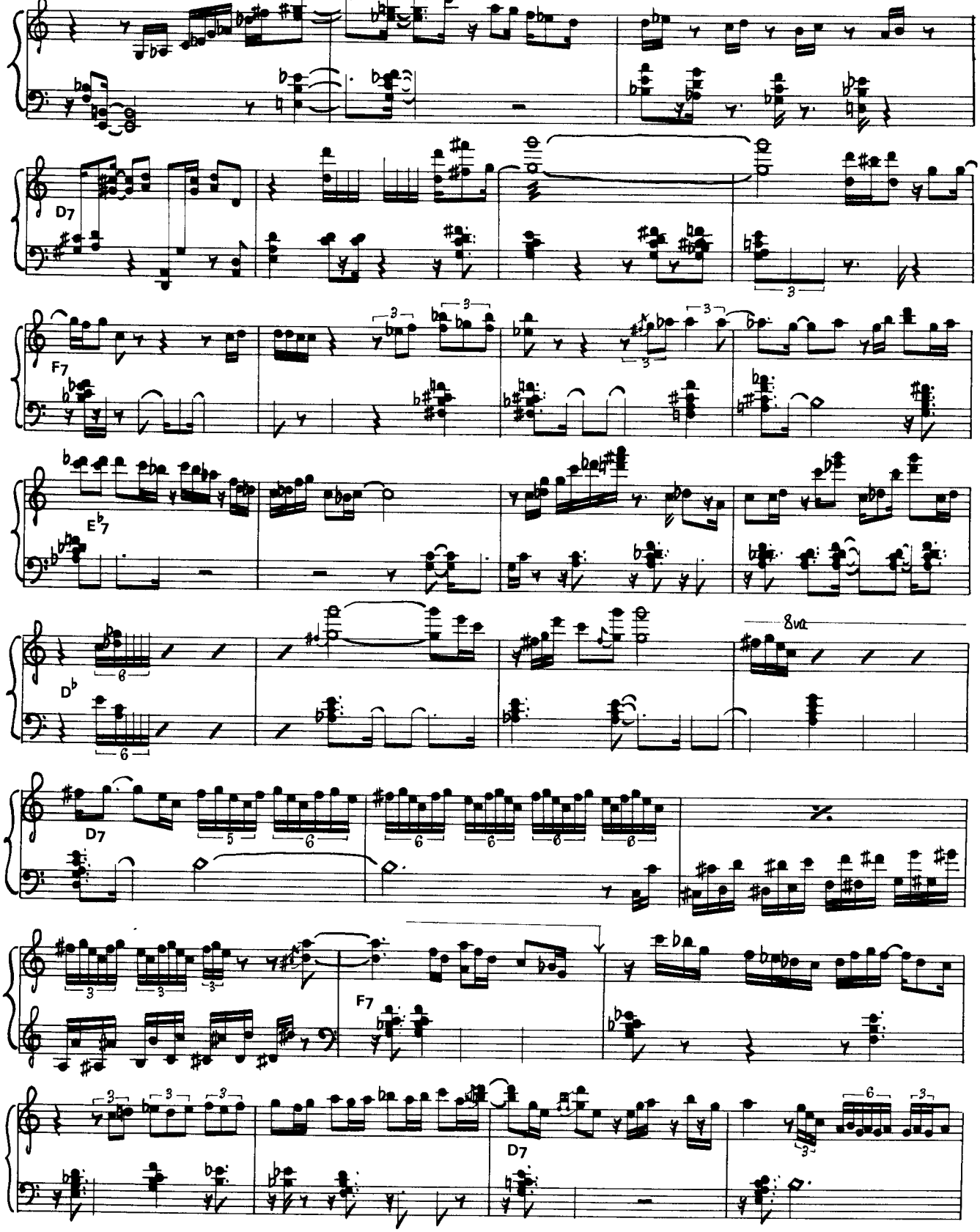
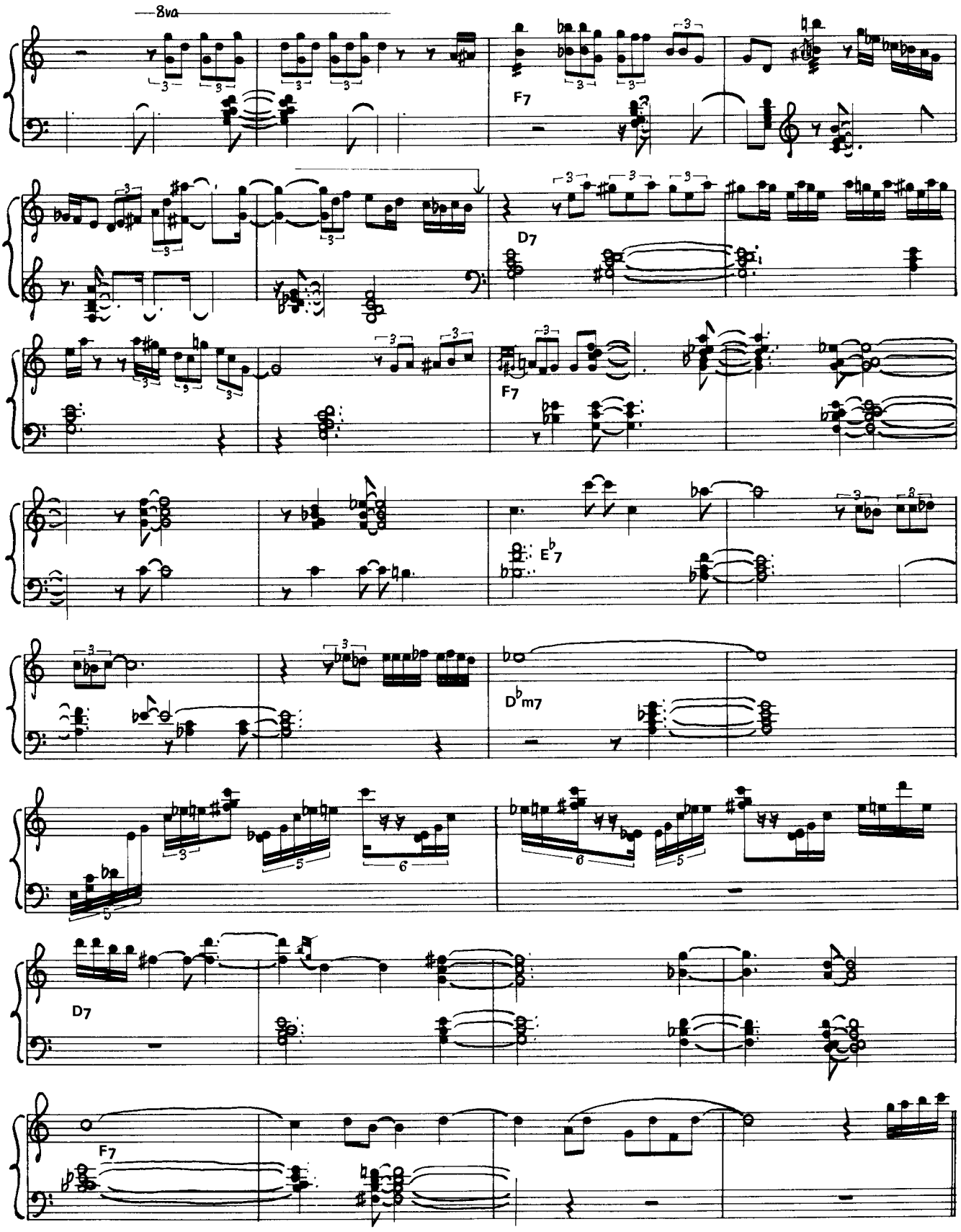
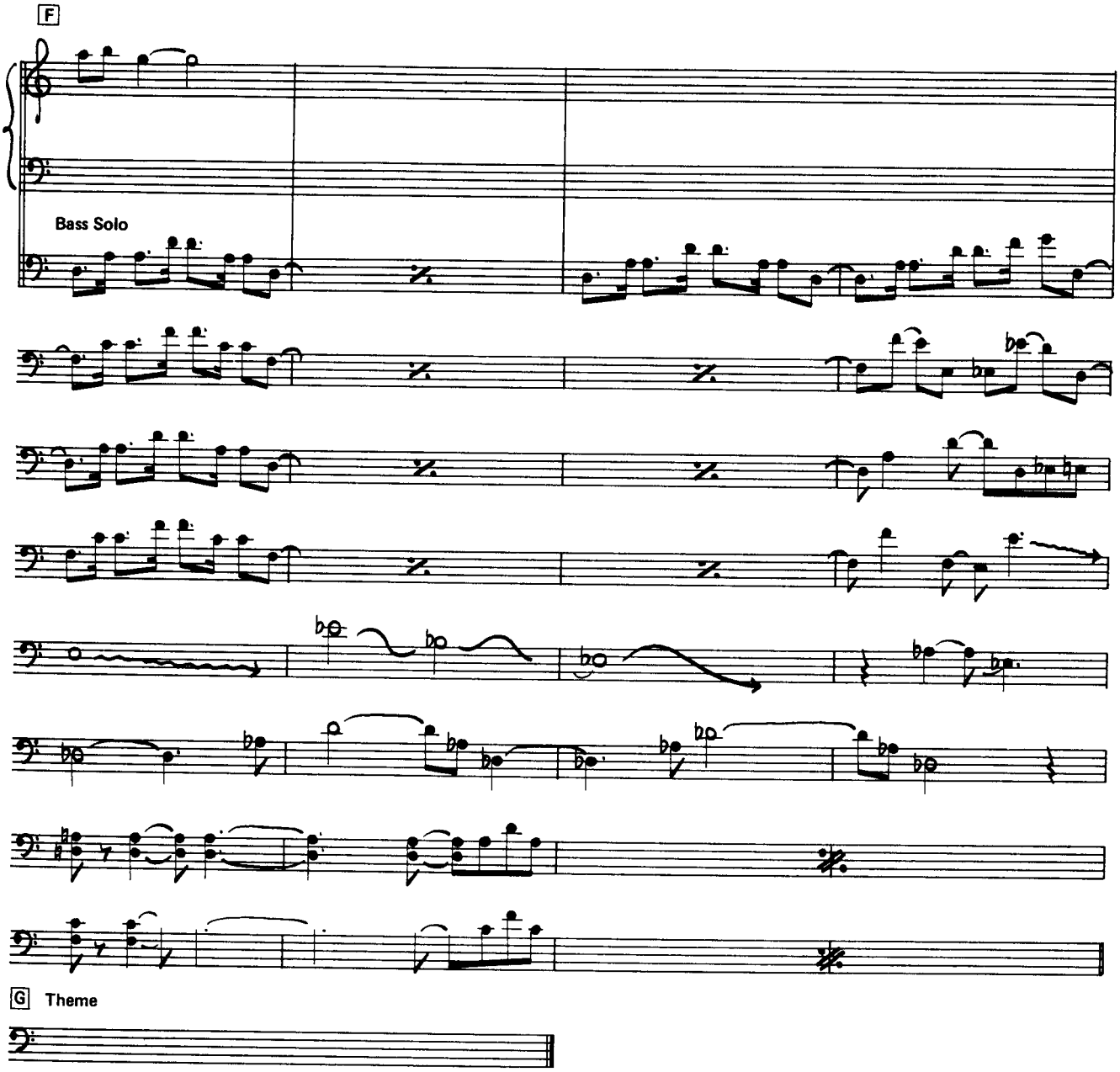


●$\frac{B^{\flat}m7}{E^{\flat}}$……$E^{\flat}$ Mixo-Lydian

●$D^{\flat}m7$……$D^{\flat}$ Dorian



ここにおける$\frac{Am7}{D}$、$\frac{Cm7}{F}$、$\frac{B^{\flat}m7}{E^{\flat}}$は、それぞれD7sus4、F7sus4、$E^{\flat}$7sus4と表現されることもある。Ex.では$D^{\flat}m7$以外は全てミクソリディアン・スケールとしたが、トニックを基点としたメジャー3度の音は、バッキングとしてはアヴォイドされている点によく注意してほしい。

MAIDEN VOYAGE

by HERBIE HANCOCK

Copyright ©1965 by HANCOCK MUSIC CO.
Rights For Japan Assigned to TOSHIBA - EMI MUSIC Publishing Co., Ltd.

3
3
(H-H)
(CYM)
(H-H)
(CYM)
gliss
gliss
gliss
Tenor Sax (In B♭)
Trumpet (In B♭)
(11)
Am7
D
B
(11)
Am7
D
gliss

Cm7 (9)
F
Am7 (11)
D
Cm7 (9)
F

Bmg
E♭
Dmg
Am7
D
(H.H)

(9)
Cm7
F
gliss
gliss
Sax. Solo (In B♭)
C
E7
G7
E7
G7
F7
E♭m7
F7
8va
G7
E7

G7
E7
G7
F7
E♭m7
E7
8va
G7
D
E7
Trumpet Solo
E
Piano Solo
D7
F7

D7
F7
E♭7
D♭m7
D7
F7
D7
F7

D7
F7
E♭7
D♭
8va
D7
F7
D7

8va
F7
D7
F7
E♭7
D♭m7
D7
F7

F
Bass Solo
G Theme

NEFERTITI

ネフェルティティ

Music by Wayne Shorter

V.S.O.P.としては最初のアルバム『ニューポートの追想』からの採譜であるが、この曲は、マイルス・デイヴィスの『ネフェルティティ』にも収められている。ウェイン・ショーターの作曲による美しいメロディーを持った曲である。

LAYOUT

曲の構成としては、1コーラス16小節のメロディーが何度もフェイクして繰り返されている。コード進行はかなり複雑で、また、演奏もラフに行われているので、解釈しにくい点もあるが、取り敢えずコード進行は次の通りである。

𝄆:	$A^{\flat}\Delta 7$	|	$D^{\flat}\Delta 7$	|	$Gm7^{(-5)}$	|	$C7$	|
|	$B\Delta 7$	|	𝄎	|	$B^{\flat}m7^{(-5)}$	|	$E^{\flat}7$	|
|	$E\Delta 7$	|	$Bm7$	|	$A^{\flat}7$	|	$E\Delta 7$	|
|	$E7sus4$	|	$A7$	|	$E^{\flat}7$	|	$A7$	𝄇

譜面での構成は次の通り。

Ⓐ……テナー・サックスによるテーマ

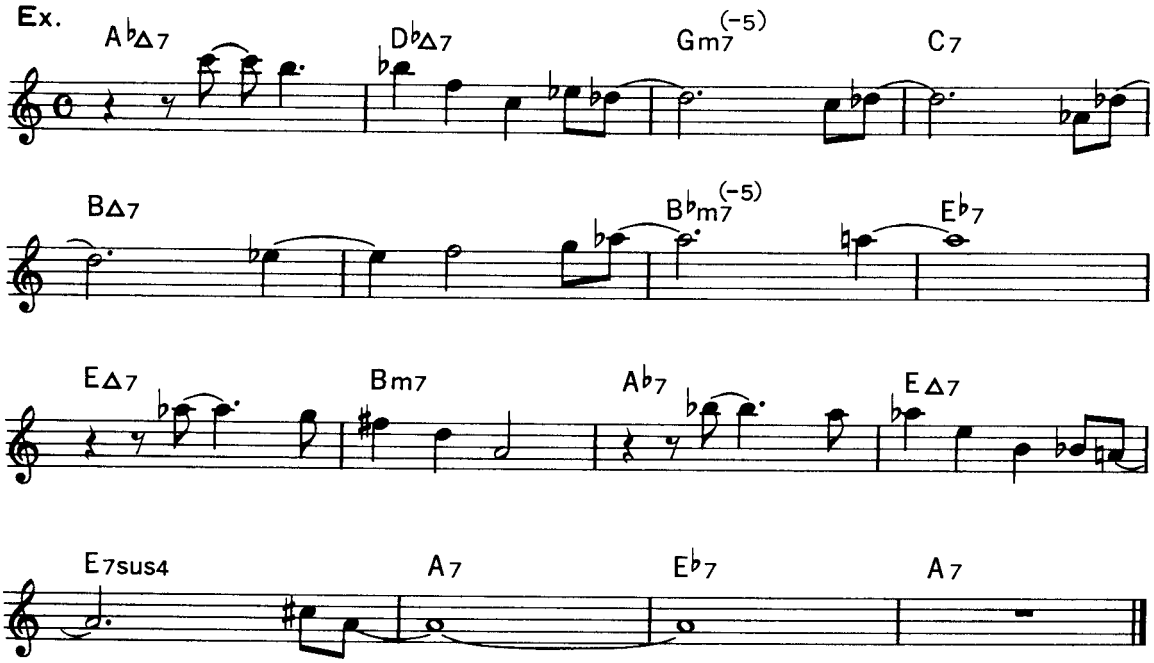
Ⓑ……テナー・サックスとトランペットによるテーマ

Ⓒ……テーマのフェイク

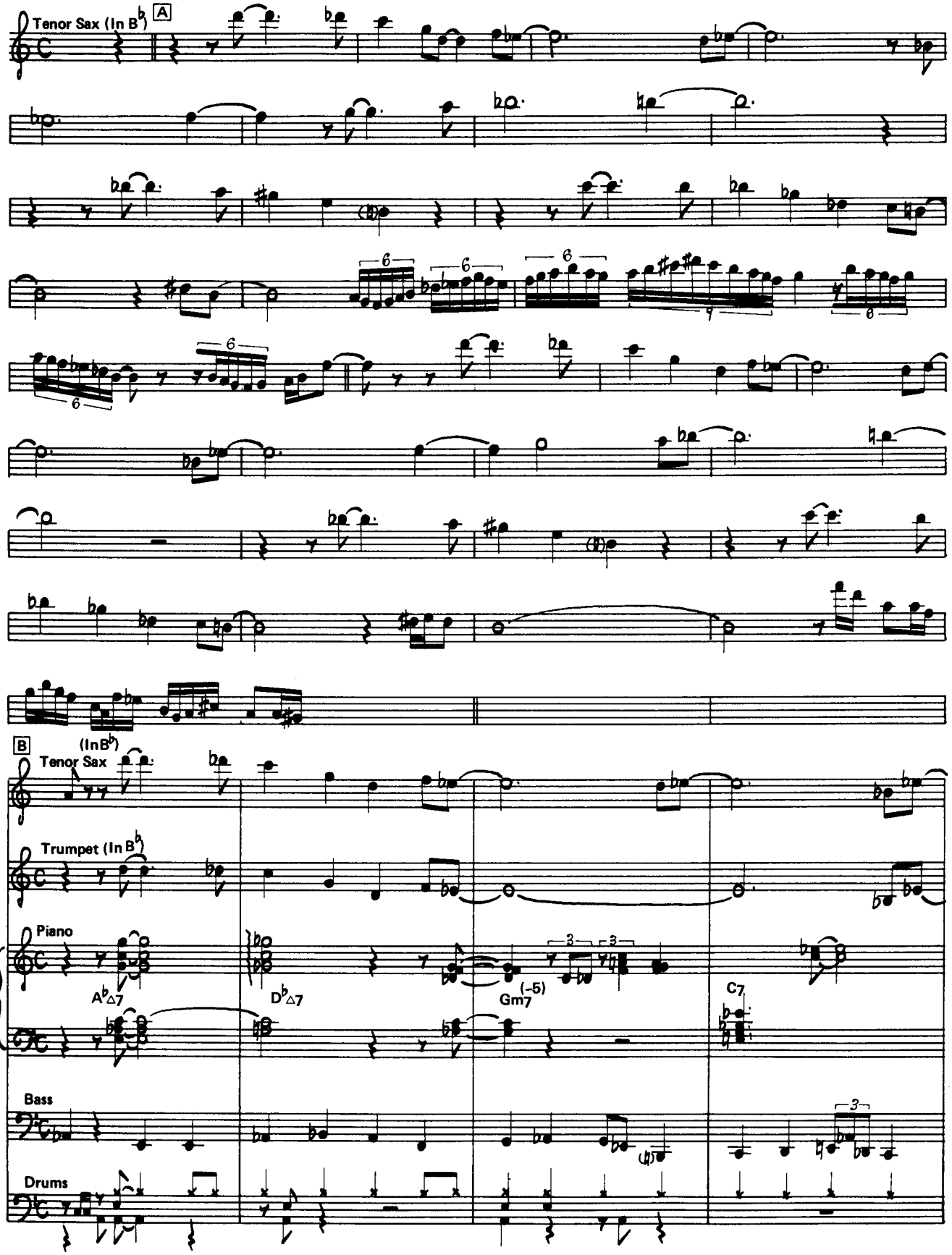
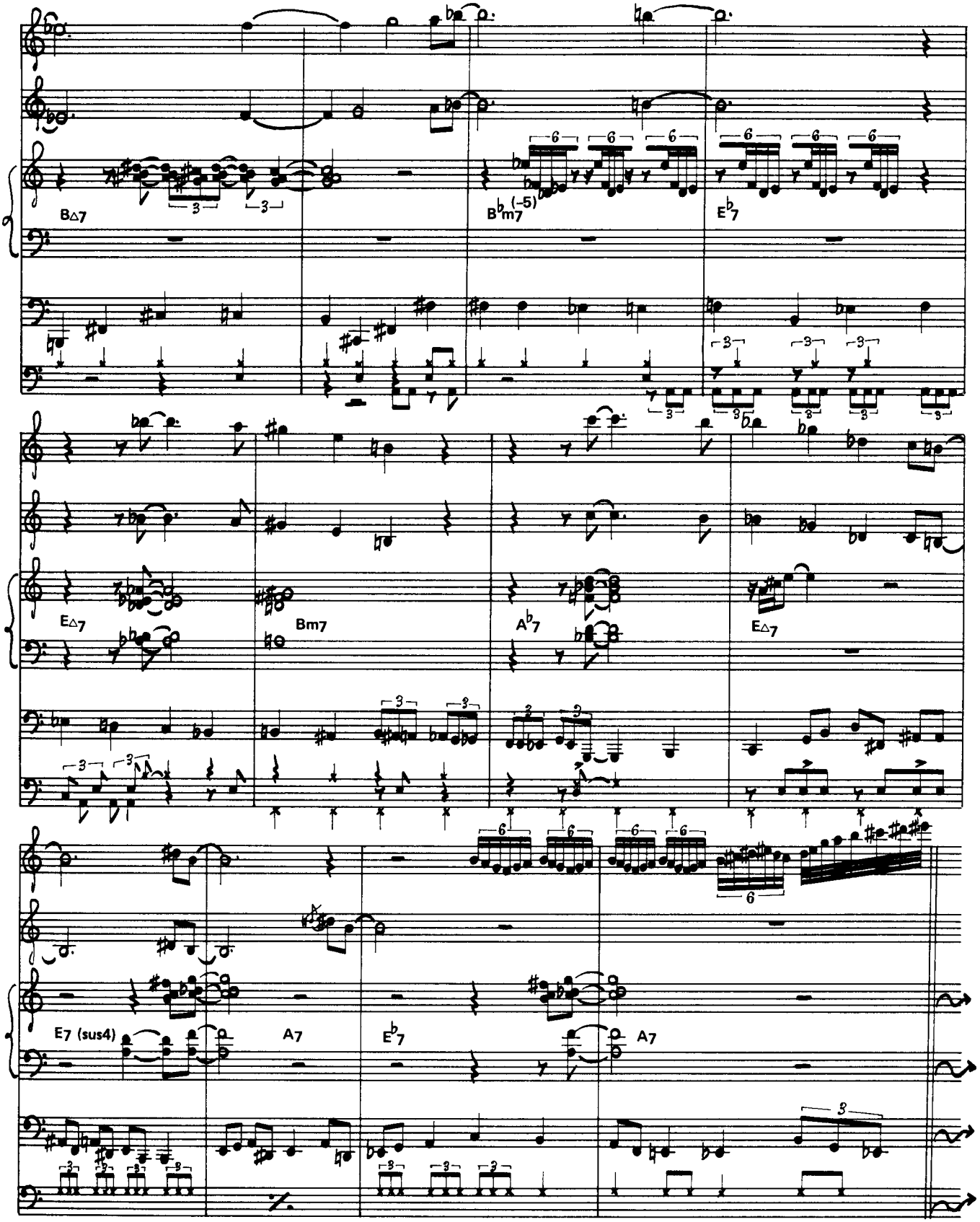
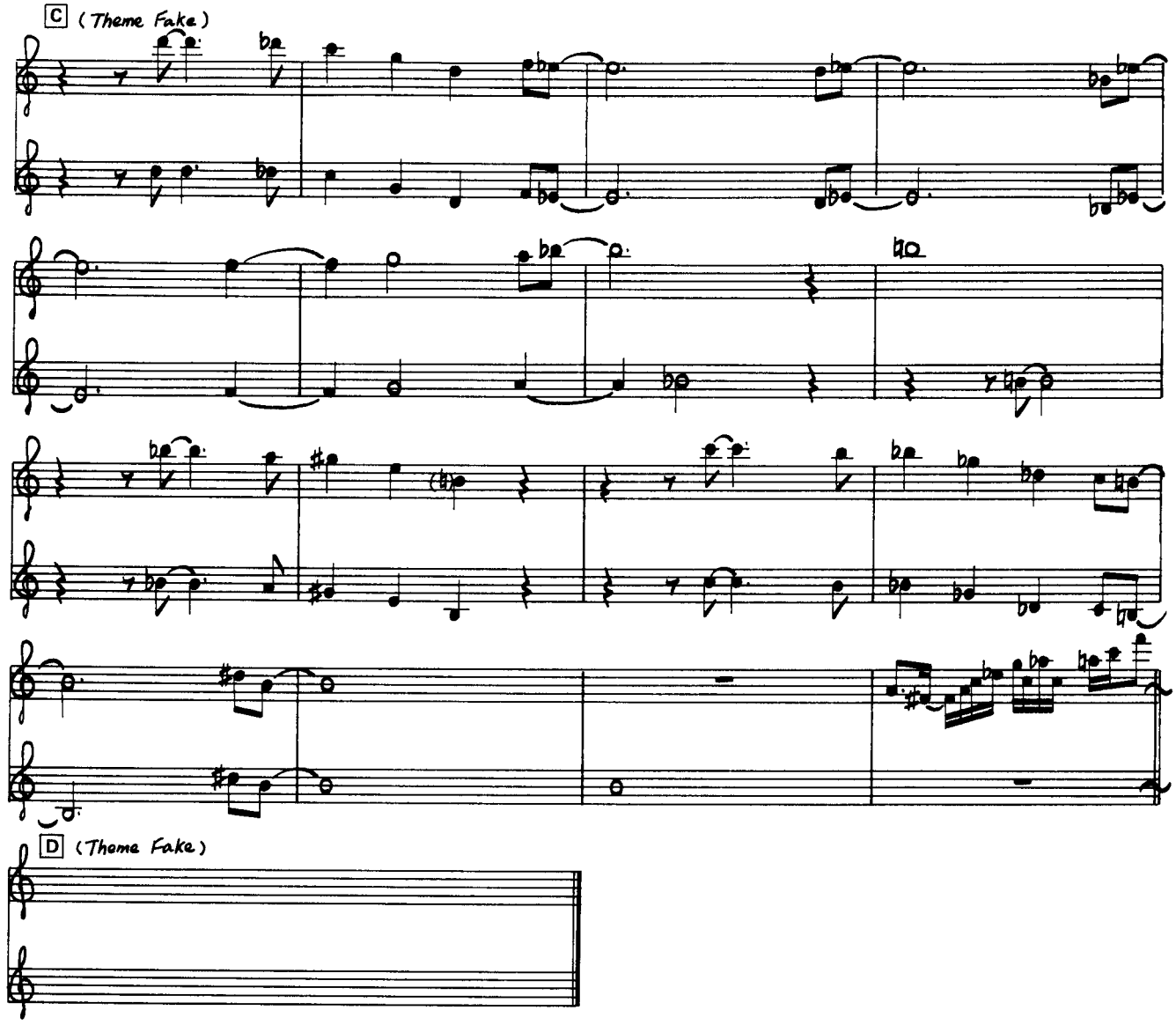
Ⓓ……テーマのフェイク（省略）

IMPROVISATION

ここでは、インプロヴィゼイションらしいものはほとんど行われておらず、メロディー・フェイクだけが何回も繰り返されている。

参考のためにIn Cでのメロディーを次に示しておく。

Copyright© by MIYAKO MUSIC
Rights For Japan Assigned to P.M.P. Co., Ltd.

NEFERTITI

by WAYNE SHORTER

Copyright©by MIYAKO MUSIC
Rights For Japan Assigned to P.M.P. Co., Ltd.

B△7
B♭m7(-5)
E♭7
E△7
Bm7
A♭7
E△7
E7 (sus4)
A7
E♭7
A7

C (Theme Fake)
D (Theme Fake)

DOLORES

ドロレス

Music by Wayne Shorter

アルバム『ライヴ・イン・U.S.A.』に収められているウェイン・ショーターの美しい曲。この曲はマイルス・デイヴィスのアルバム『マイルス・スマイルズ』にも収められている。

LAYOUT

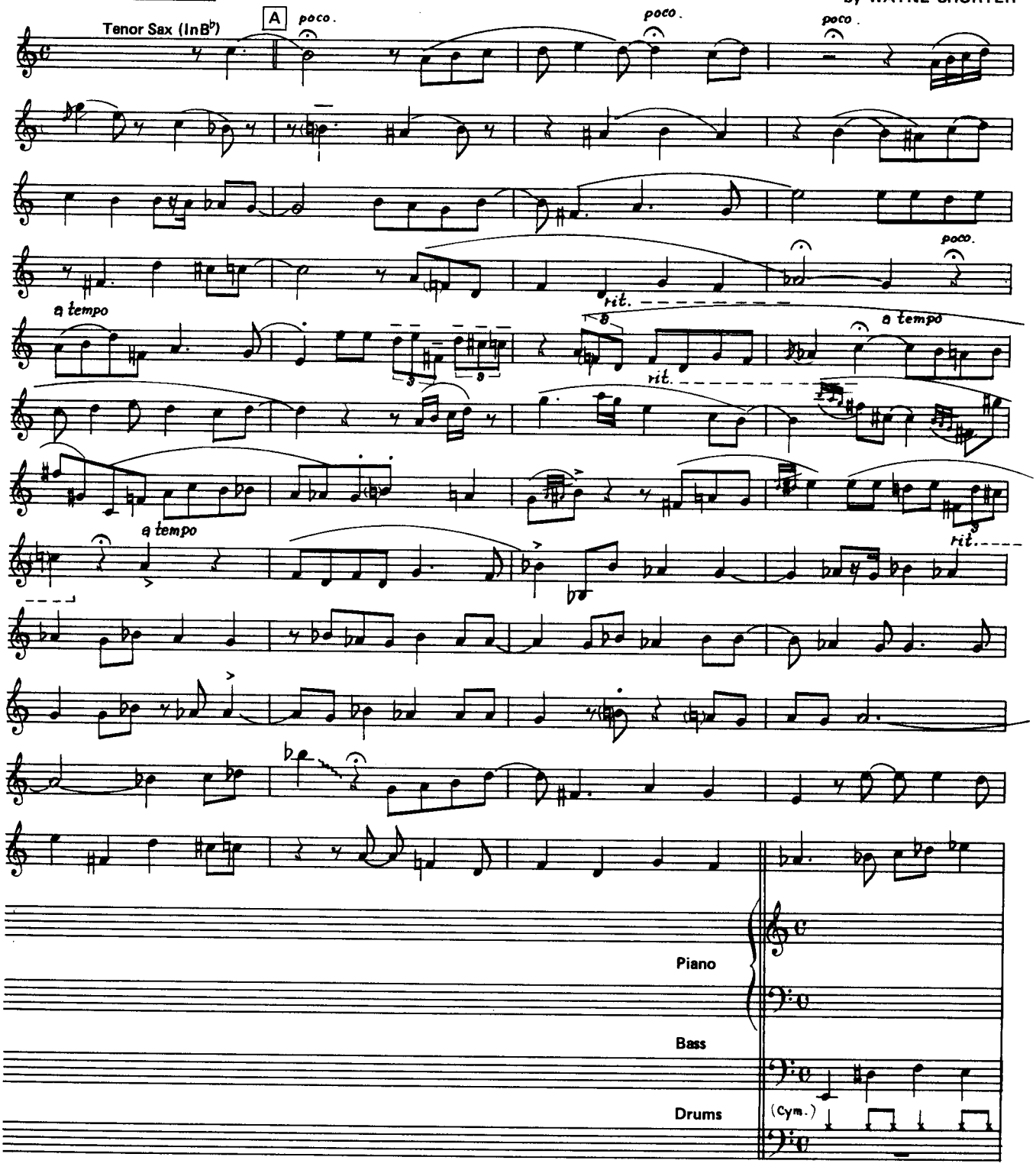
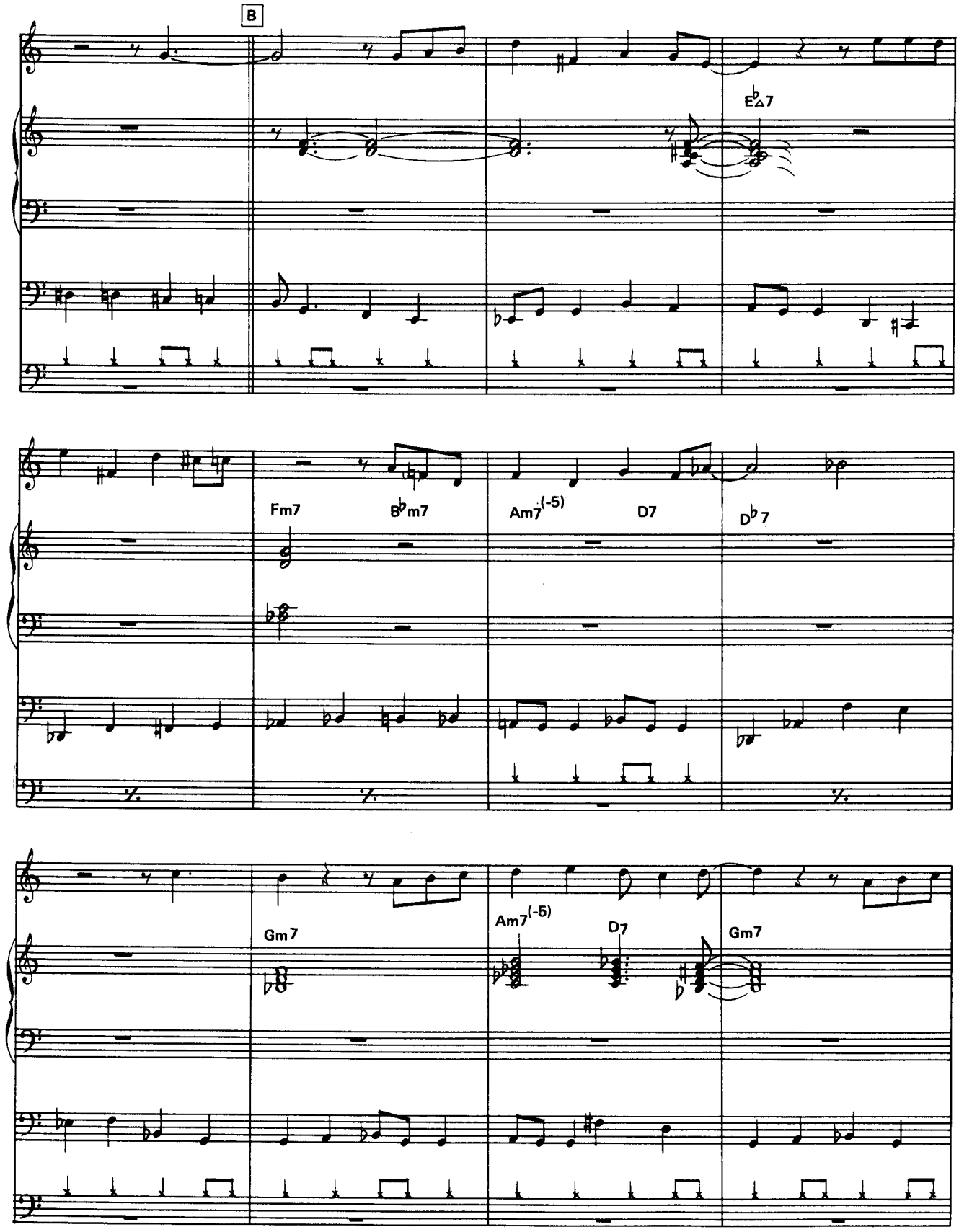
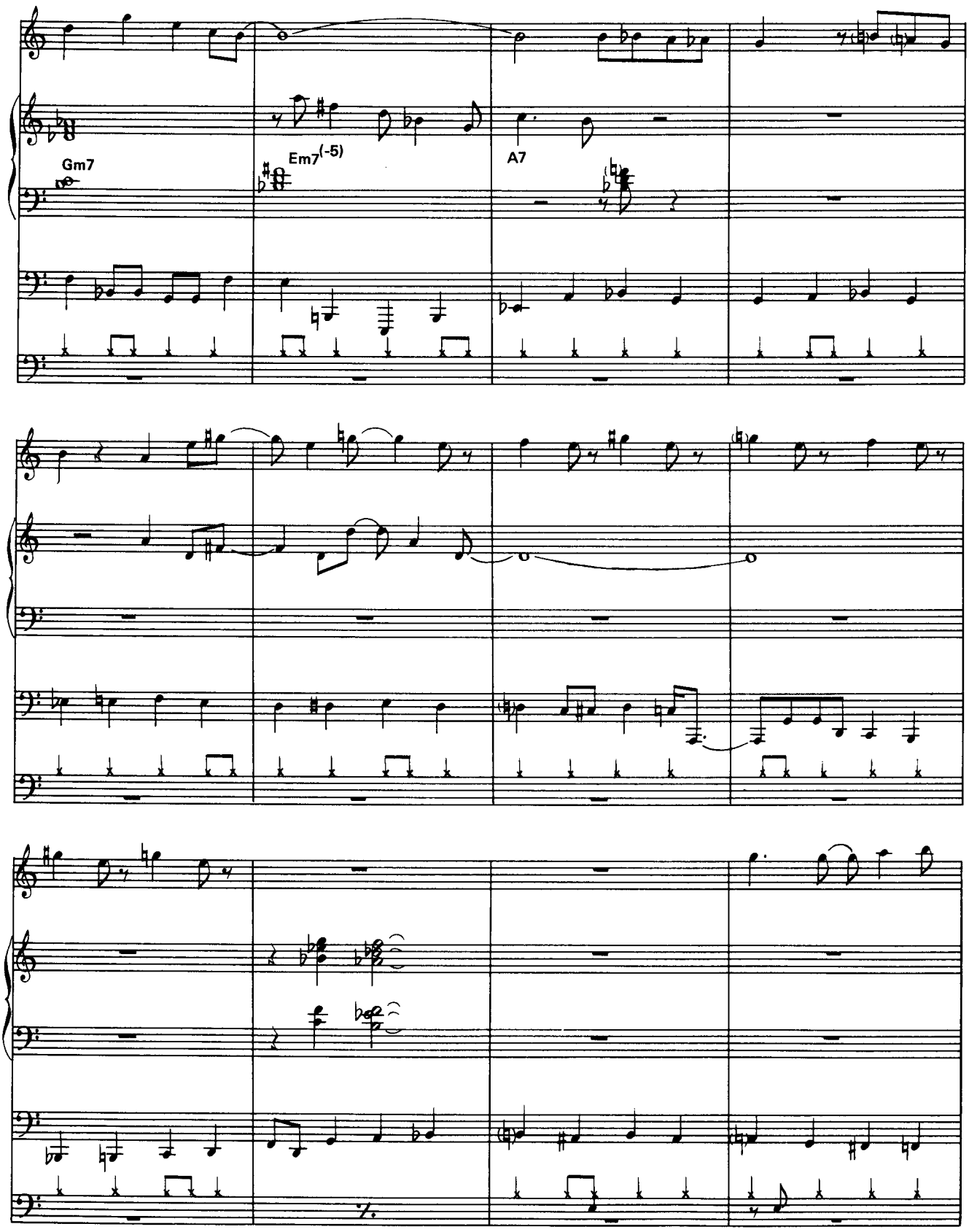
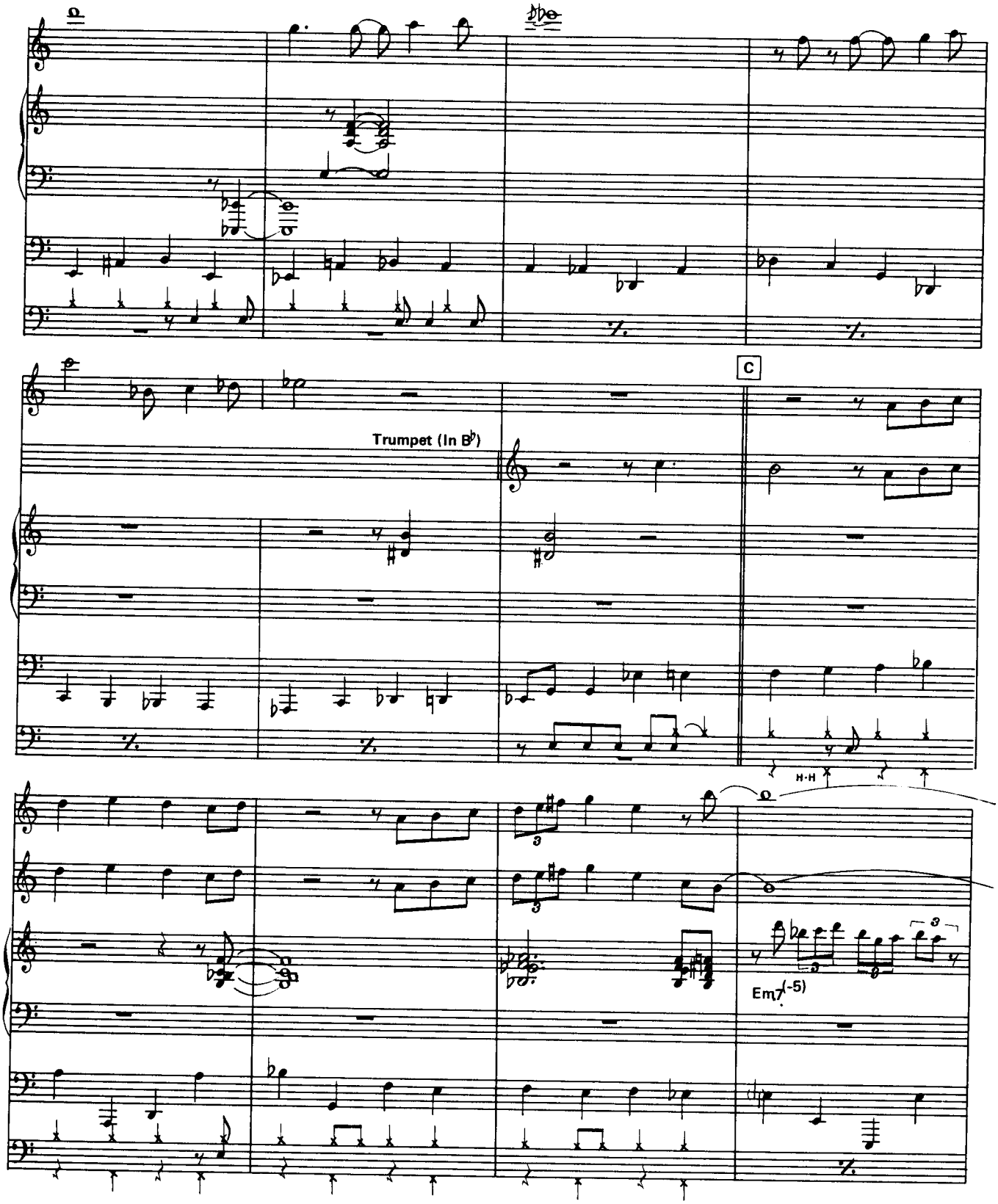
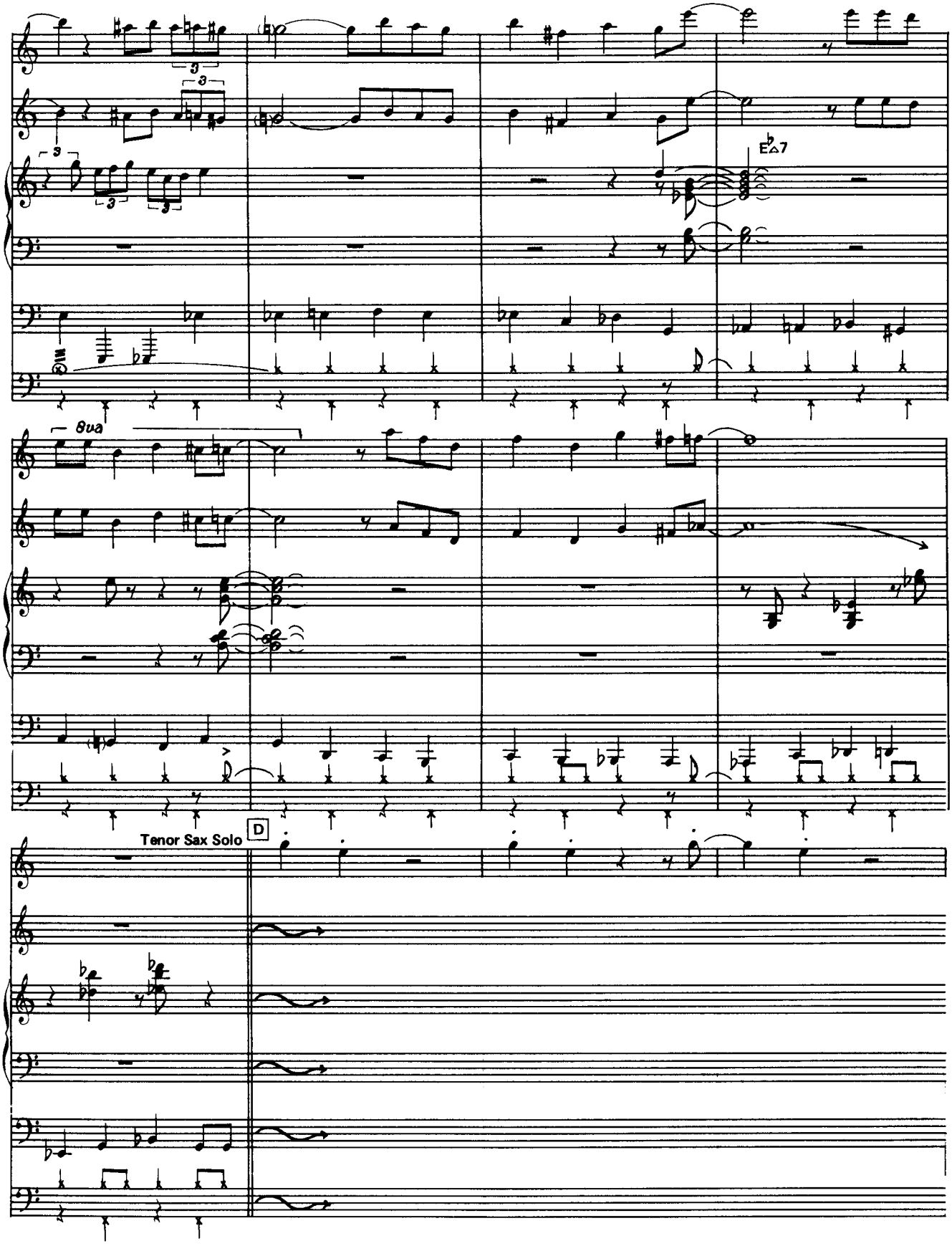
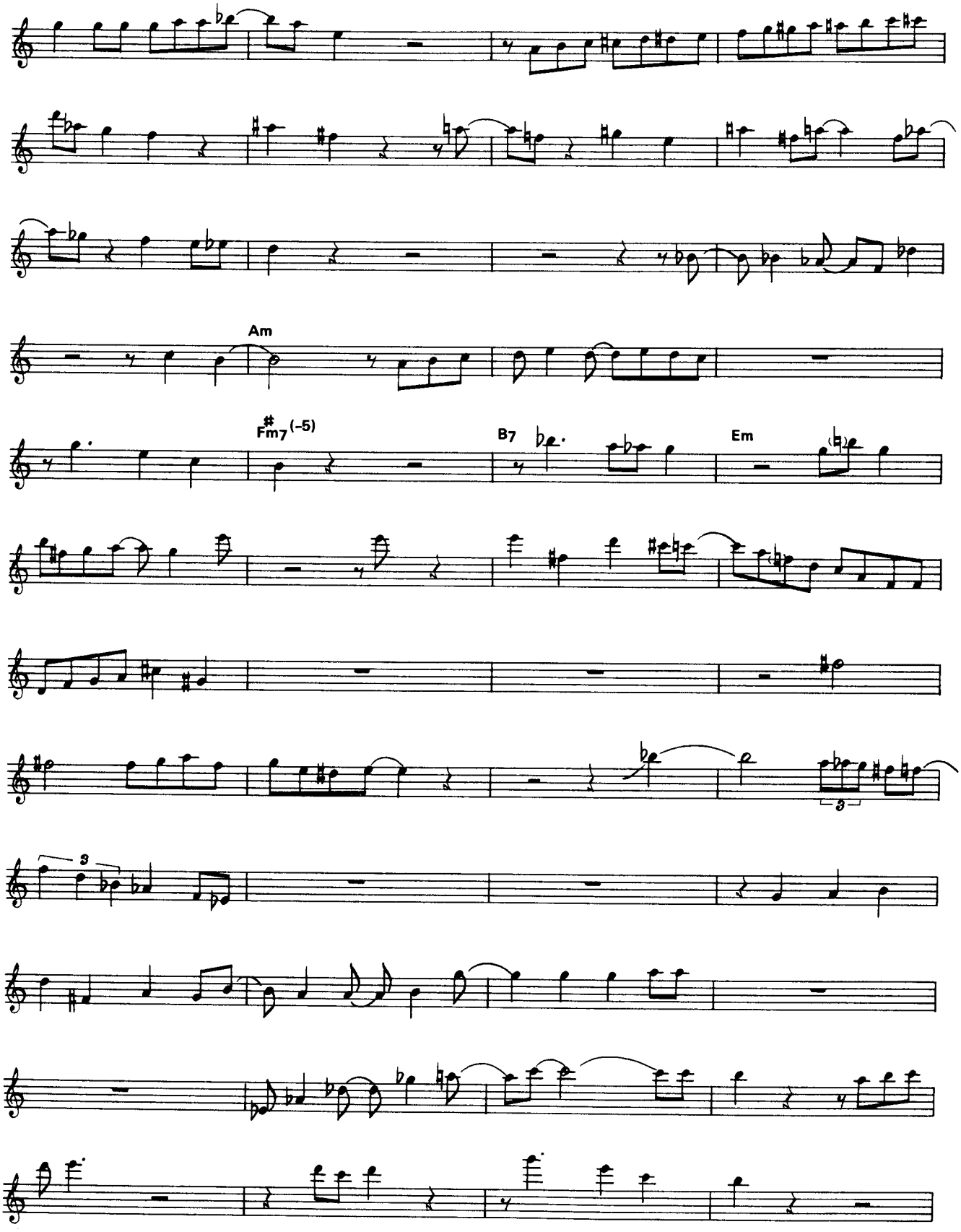
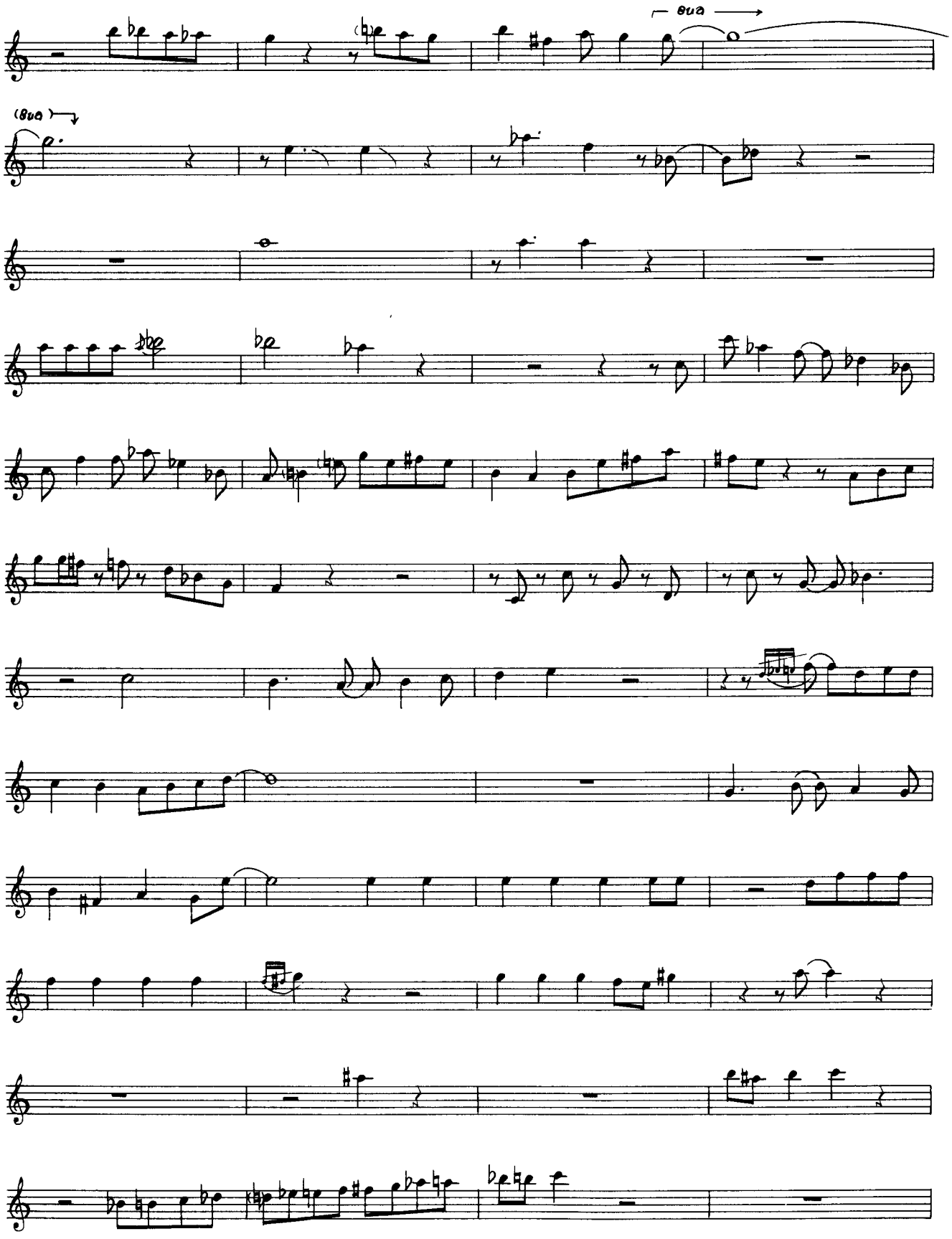
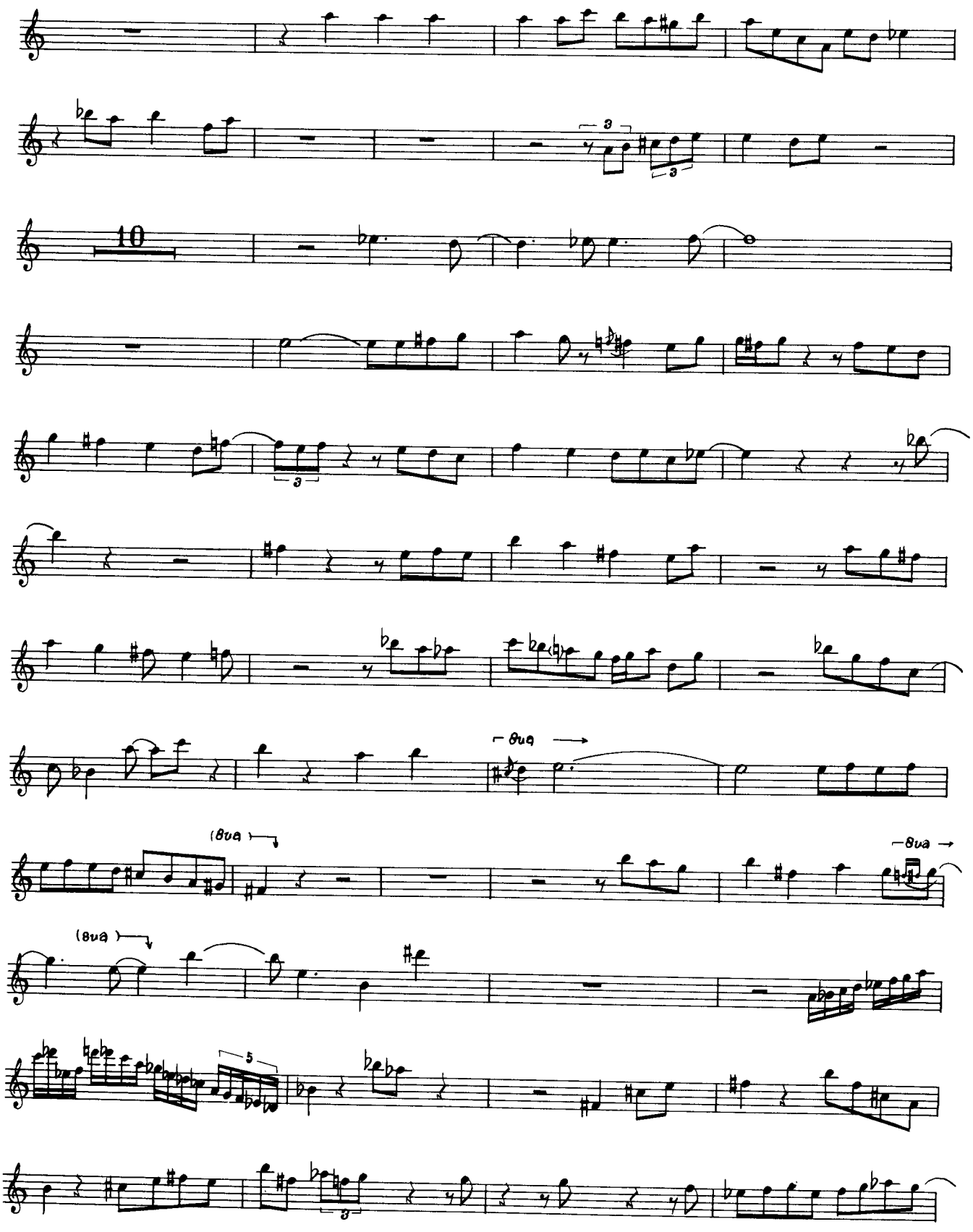
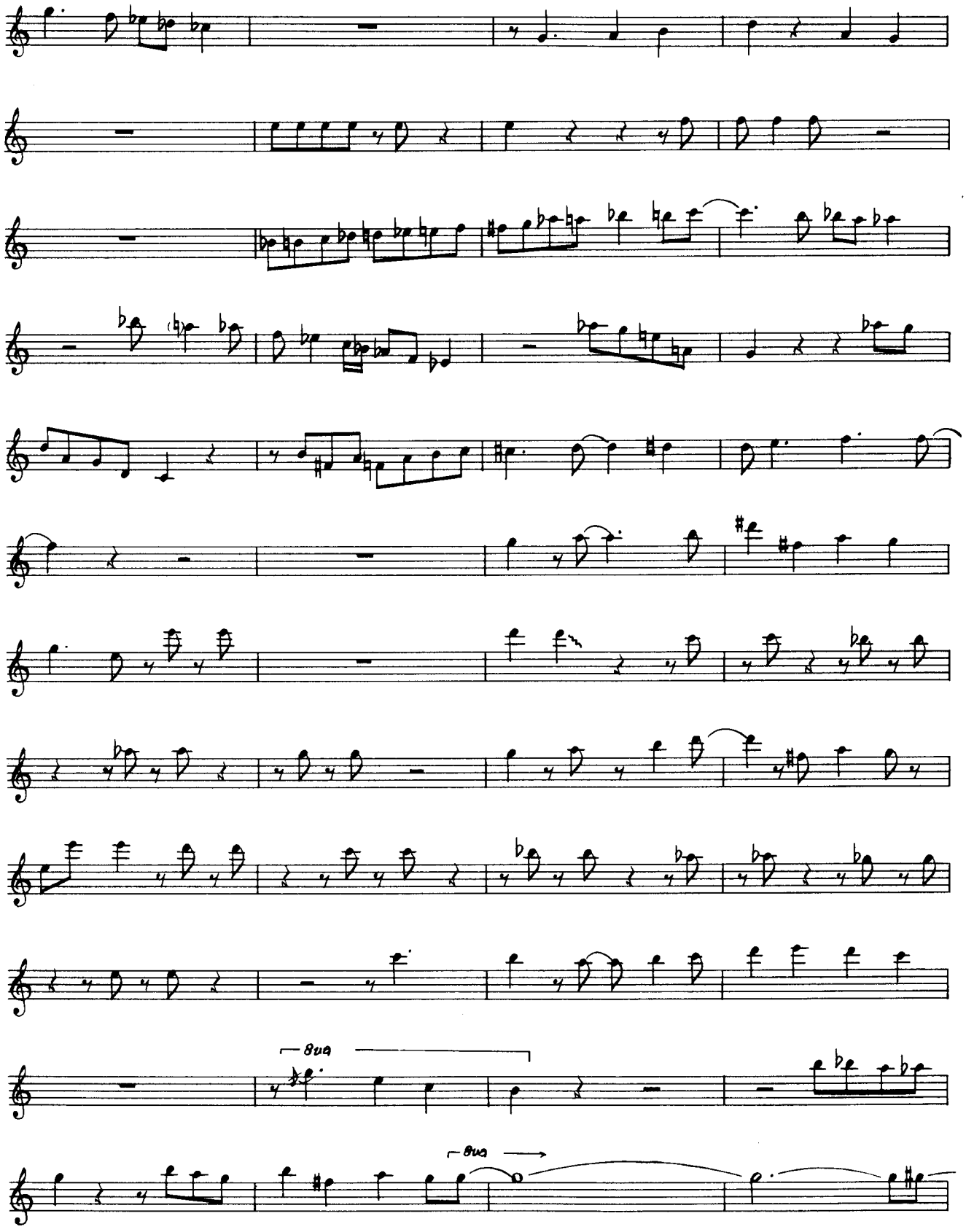
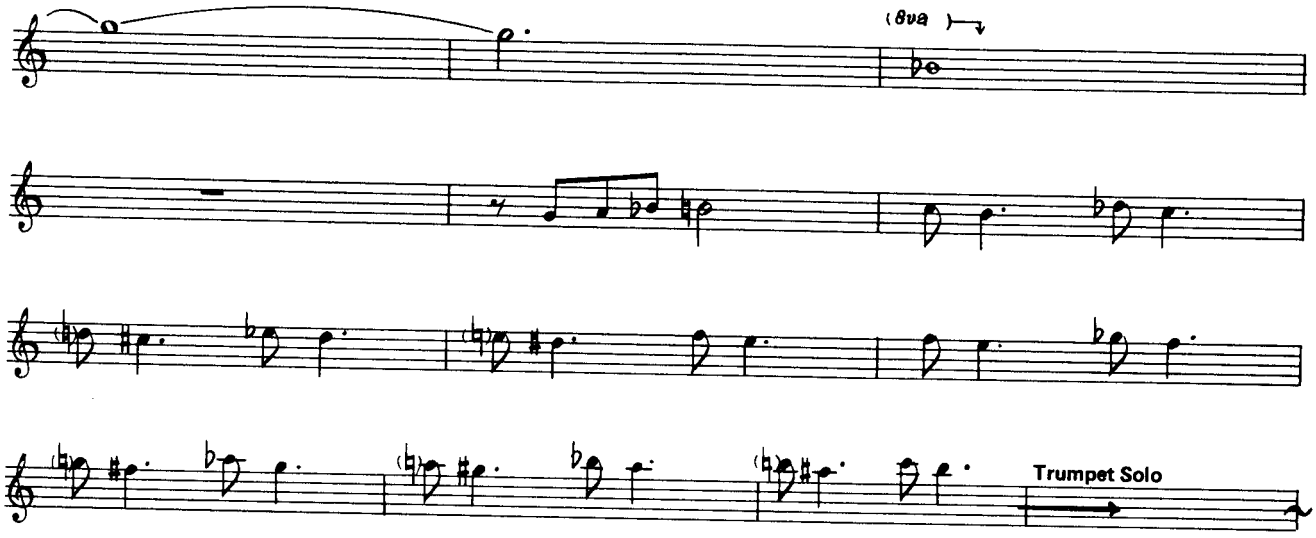
譜面での構成は次の通り。

A……テナー・サックス・イントロダクション

BC……テーマ

D……テナー・サックス・ソロ

DOLORES

by WAYNE SHORTER

Copyright © by MIYAKO MUSIC
Rights For Japan Assigned to P.M.P. Co., Ltd.

B
E♭△7
Fm7
B♭m7
Am7(-5)
D7
D♭7
Gm7
Am7(-5)
D7
Gm7

Gm7
Em7(-5)
A7

Trumpet (In B♭)
C
H-H
Em7(-5)

E♭△7
8va
D
Tenor Sax Solo

Am
#
Fm7(-5)
B7
Em

8va
(8va)

10
8va
(8va)
(8va)
8va

8va
8va

(8va)
Trumpet Solo

THIRD PLANE

サード・プレーン

Music by Ron Carter

V.S.O.P.のセカンド・アルバム『ライヴ・イン・U.S.A.』に収められている曲で、ロン・カーターの作曲。

テーマ部は、2ビートのボサノバと4ビートのリズムをうまく組み合わせた愉快な曲である。

LAYOUT

イントロは軽快なボサノバで始まっており、テーマ部では4小節ごとにボサノバ、4ビートと変っている。

コード進行は、テーマ部とアドリブ部では多少異っているので次に示す。

■テーマ部のコード進行

𝄆: B♭△7	𝄎	𝄎	𝄎	
E♭△7	F♯7/E	Gm9/F Gm	C7	Faug
(Am7 D7	Gm7)			
B△7	𝄎	𝄎	B△7 B♭7	
E♭ Edim	Gm7/F G7	C7 B7	B♭	𝄇

■アドリブ部のコード進行

𝄆: B♭△7	𝄎	𝄎	𝄎	
Am7(-5) D7	Gm	C7	Faug	
B△7	𝄎	𝄎	𝄎	
E♭ Edim	Gm7/F G7	C7 F7	B♭	𝄇

譜面での構成は次の通り。

Ⓐ……イントロダクション

ⒷⒸ……テーマ

Ⓓ……テナー・サックス・ソロ（省略）

Ⓔ……トランペット・ソロ

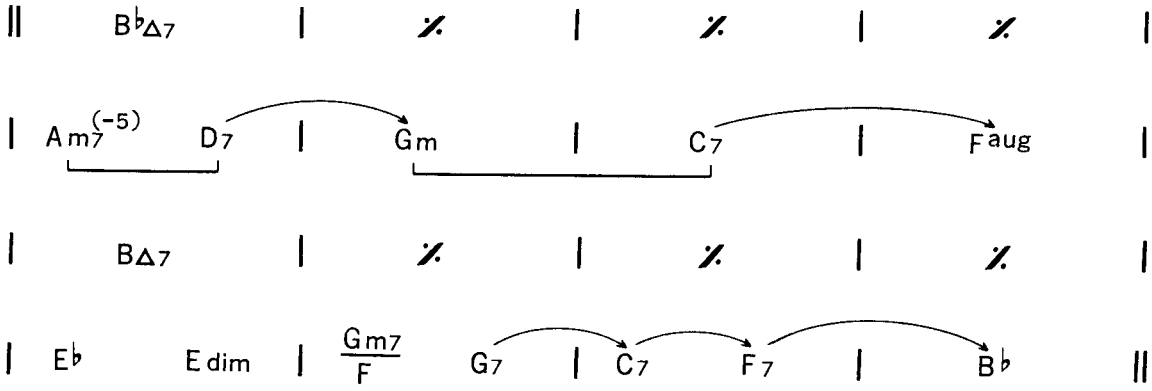
Ⓕ……ピアノ・ソロ（省略）

Ⓖ……テーマ

Ⓗ……エンディング

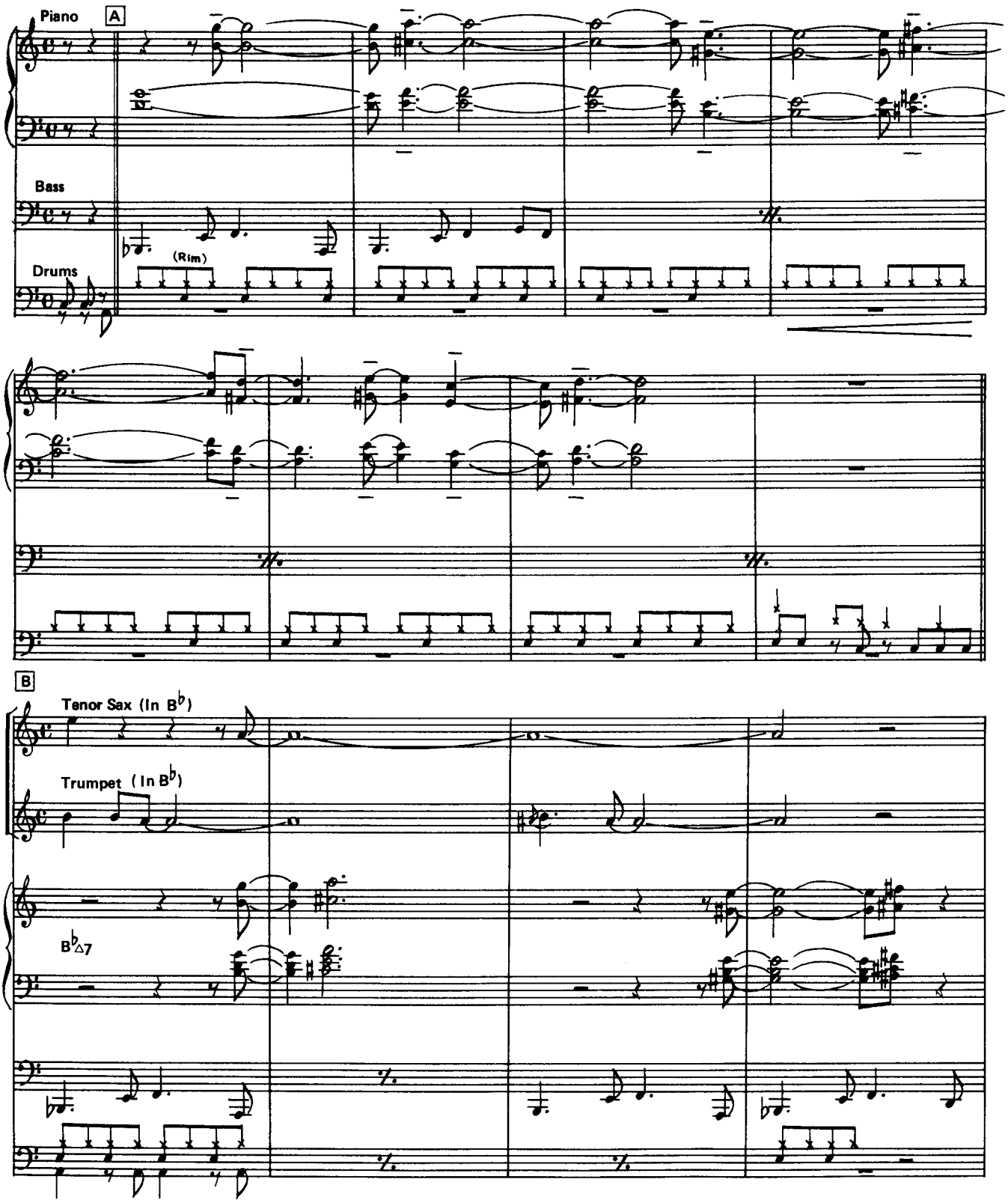
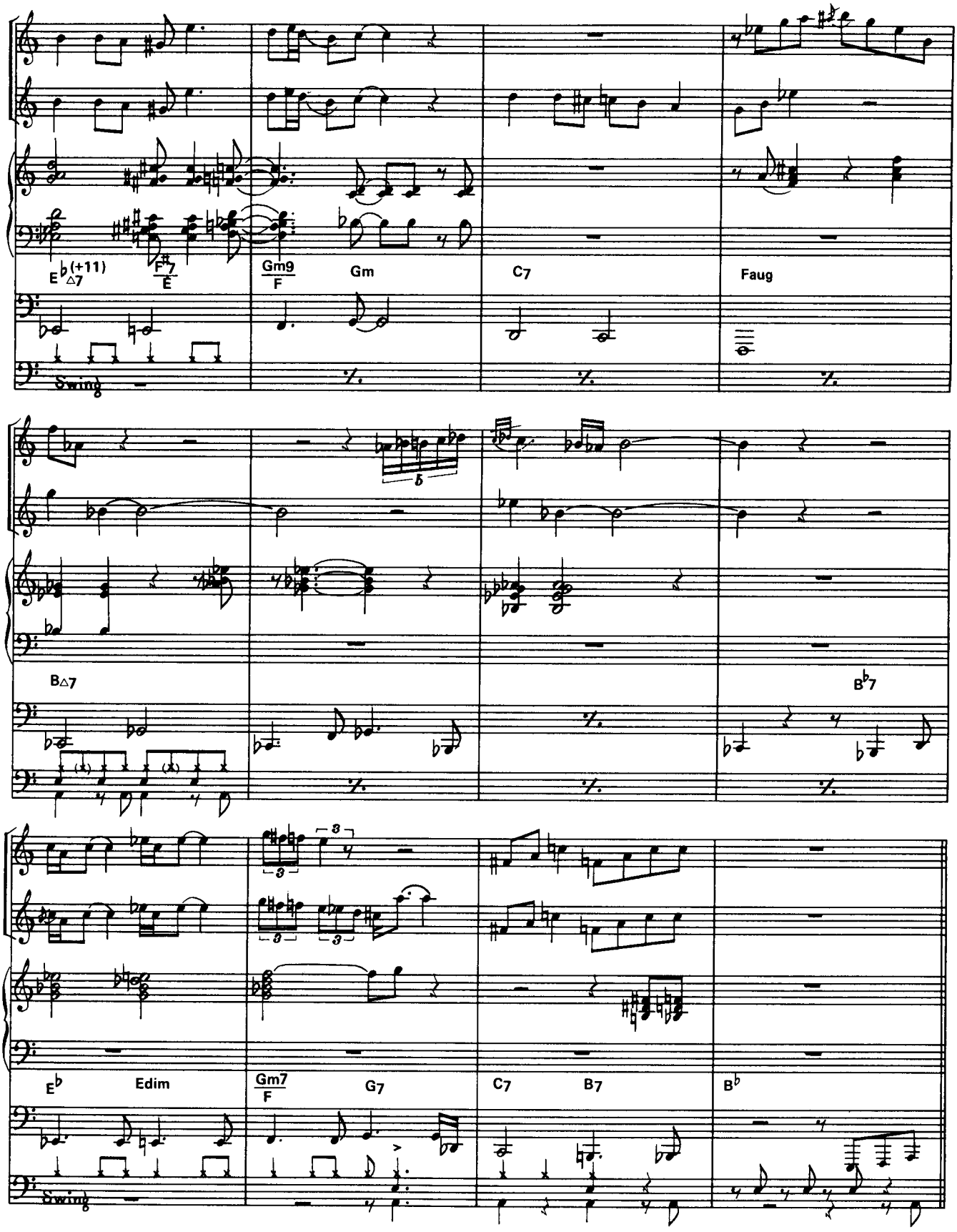
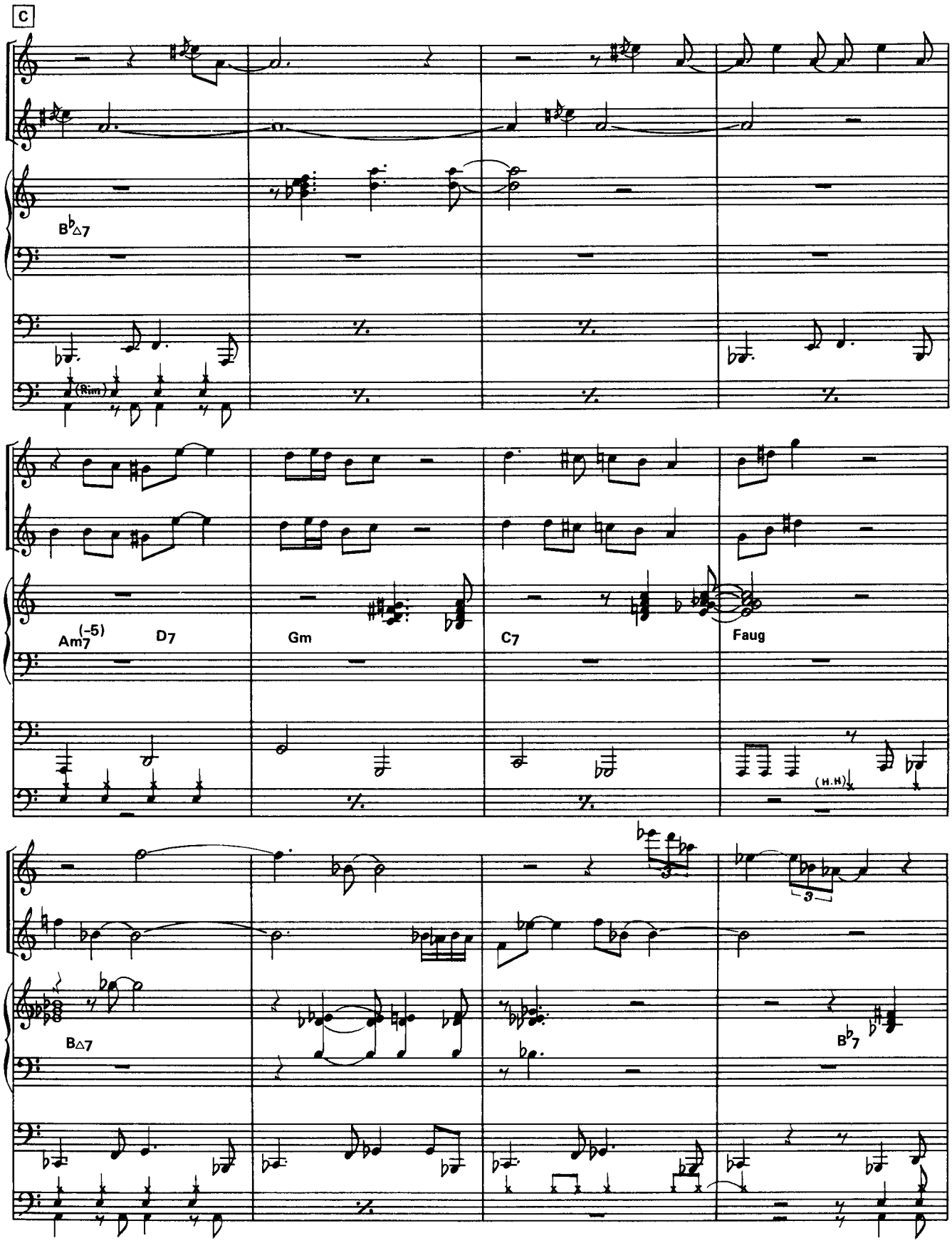
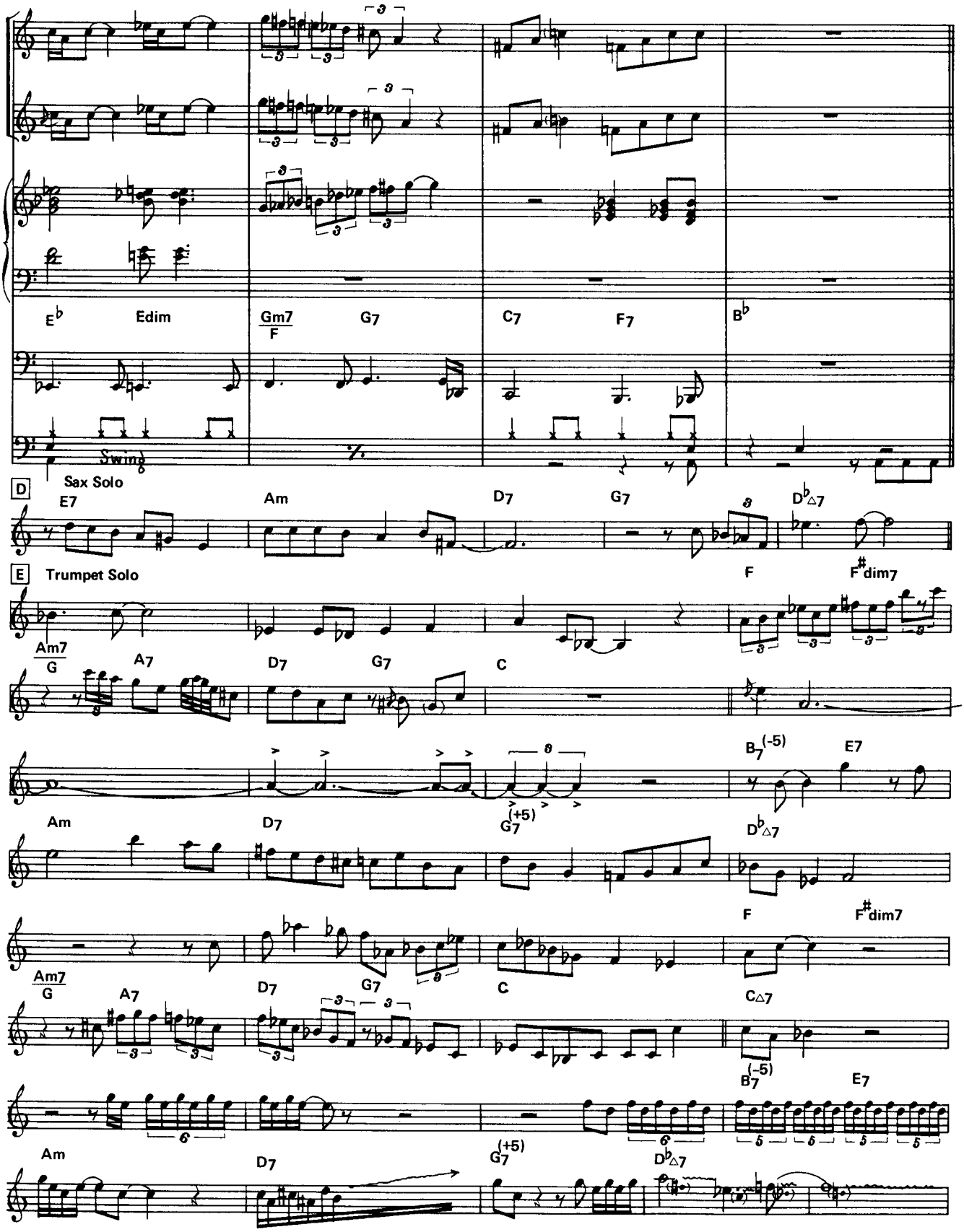
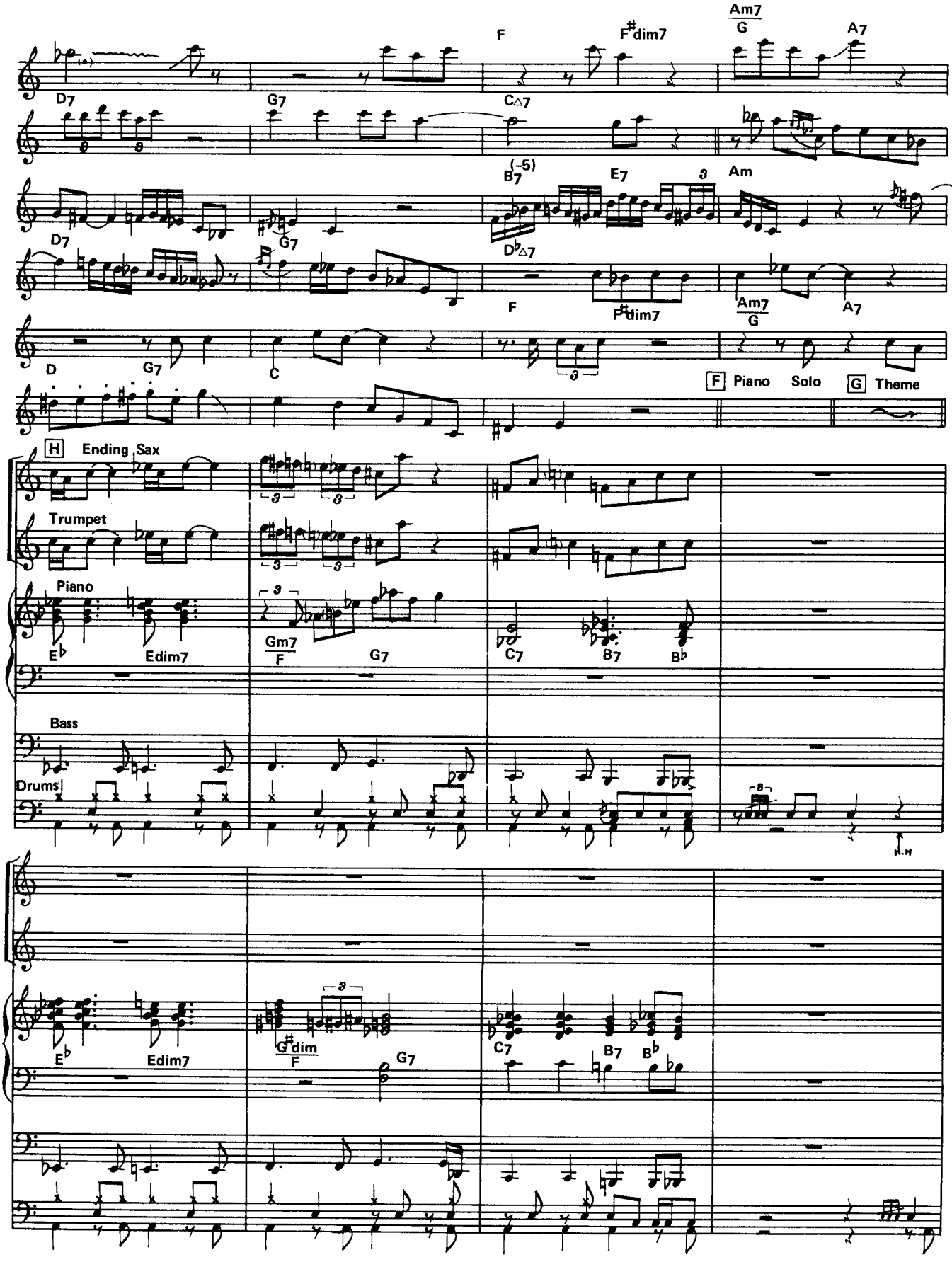
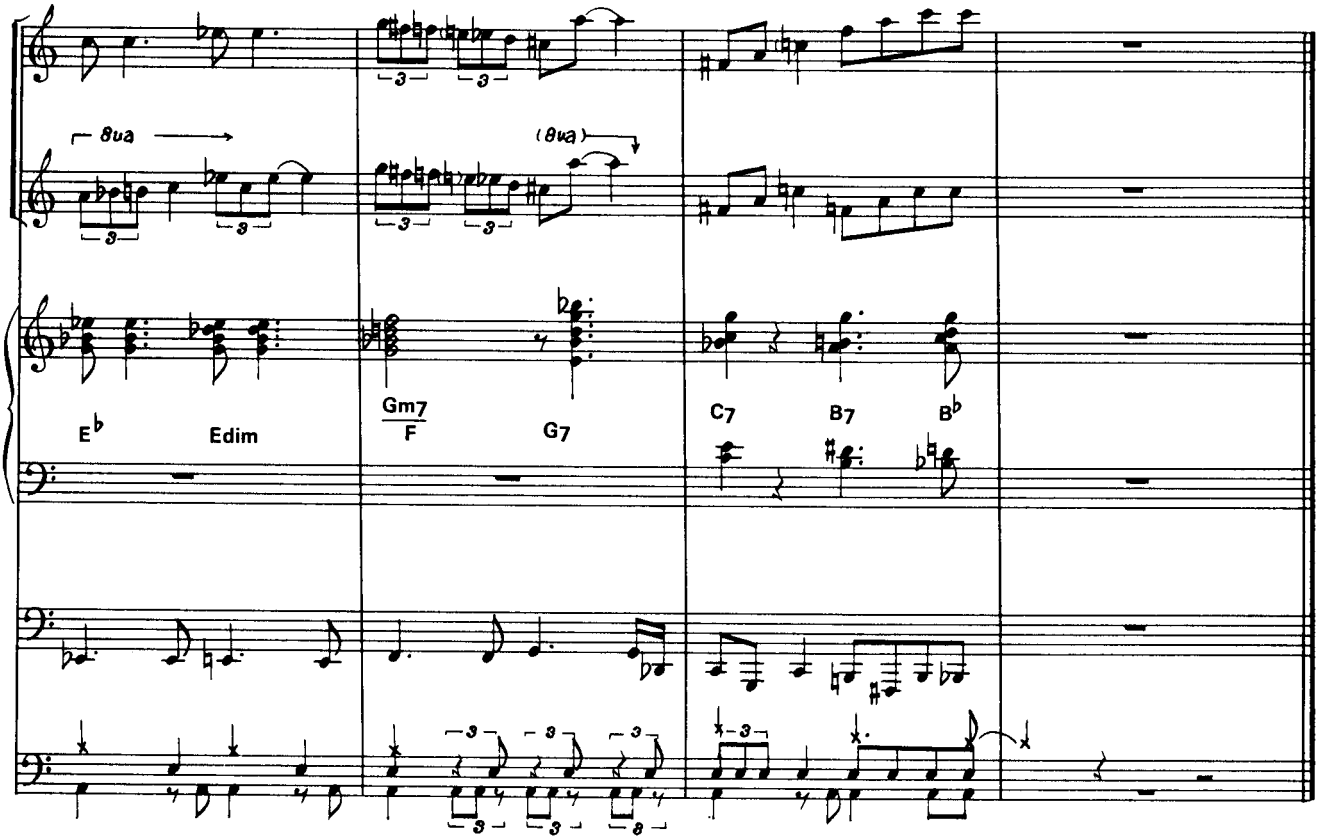
IMPROVISATION

アドリブ部のコード進行をアナライズすると次のようになる。



8小節目から9小節目は、FaugからB♭△に解決するように見せかけて、B♭△7の半音上のB△7に転調しているのである。

THIRD PLANE

by RON CARTER

Copyright ©1977 by RETRAC PRODUCTIONS., INC.
Rights For Japan Assigned to WATANABE MUSIC Publishing corp.

E♭△7(+11)
F♯7/E
Gm9/F
Gm
C7
Faug
Swing
B△7
B♭7
E♭
Edim
Gm7/F
G7
C7
B7
B♭
Swing

C
B♭△7
(Rim)
Am7(-5)
D7
Gm
C7
Faug
(H.H)
B△7
B♭7

E♭
Edim
Gm7
F
G7
C7
F7
B♭
Swing
Sax Solo
D
E7
Am
D7
G7
D♭△7
E
Trumpet Solo
F
F♯dim7
Am7
G
A7
D7
G7
C
B7(-5)
E7
Am
D7
G7(+5)
D♭△7
F
F♯dim7
Am7
G
A7
D7
G7
C
C△7
B7(-5)
E7
Am
D7
G7(+5)
D♭△7

D7
G7
F
C△7
F♯dim7
Am7
G
A7
B7(-5)
E7
Am
D♭△7
F
F♯dim7
Am7
G
A7
D
G7
C
F Piano Solo
G Theme
H Ending Sax
Trumpet
Piano
E♭
Edim7
Gm7
F
G7
C7
B7
B♭
Bass
Drums
H.H
G♯dim
F

8va
(8va)
E♭
Edim
Gm7
F
G7
C7
B7
B♭

EYE OF THE HURRICANE

アイ・オブ・ハリケーン

Music by Herbie Hancock

この曲はハービー・ハンコックの1965年のアルバム『処女航海』にも収められている。ここでは'78年の田園コロシアムでのライヴ・アルバム『熱狂のコロシアム』より採り上げた。作曲はハービー・ハンコック。

LAYOUT

アドリブは次のコードで行われている。

‖	F_7	|	𝄎	|	𝄎	|	𝄎	|			
|	$B\flat_7$	|	𝄎	|	F_7	|	𝄎	|			
|	$D\flat_7$	|	C_7	|	F_7	|	𝄎	‖			

この場合、取り敢えずはメジャー・ブルースの変形であるが、アドリブやバッキングはマイナー・ブルースの進行に近い。

譜面での構成は次の通り。

Ⓐ Ⓑ……テーマ

Ⓒ……トランペット・ソロ（省略）

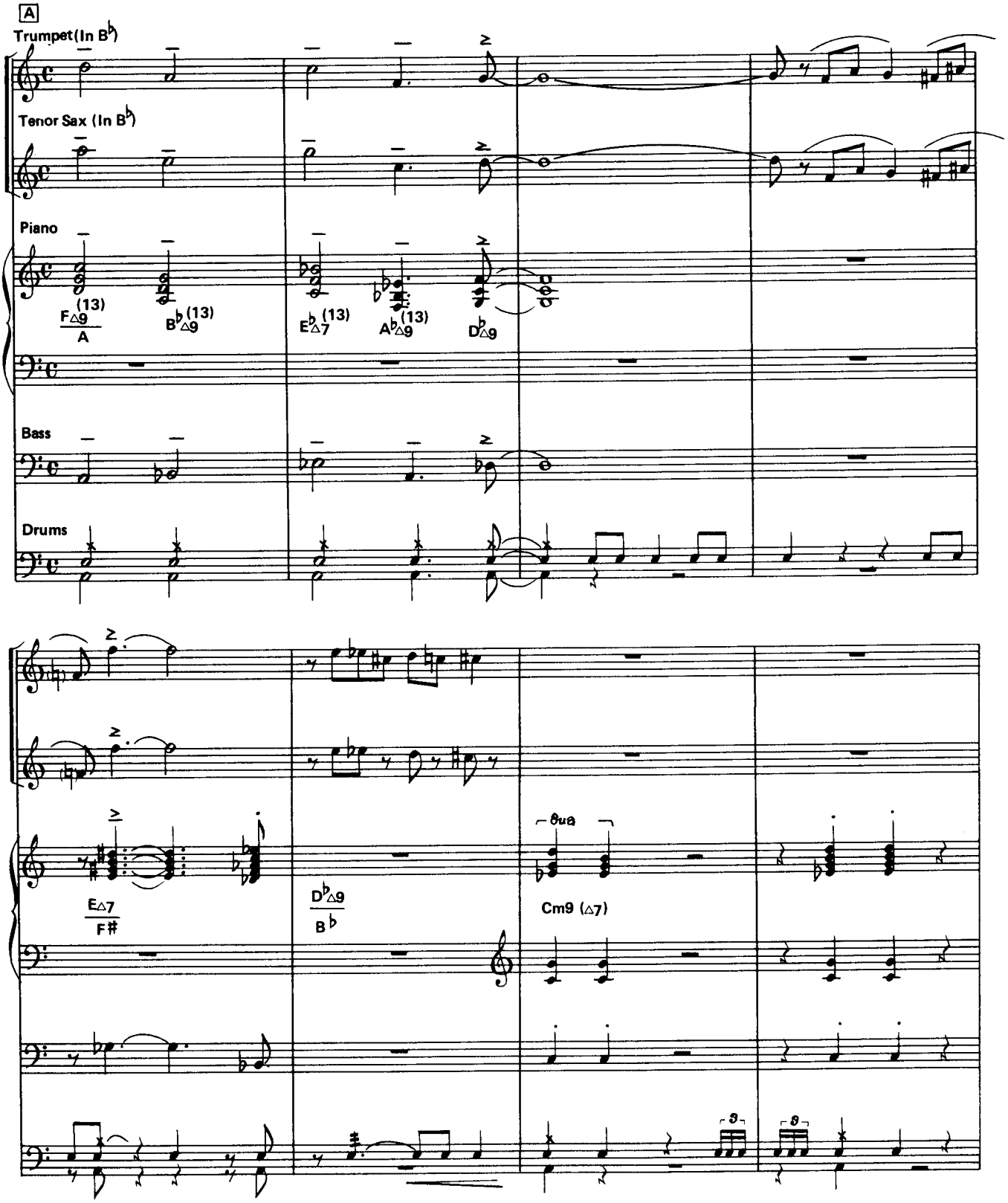
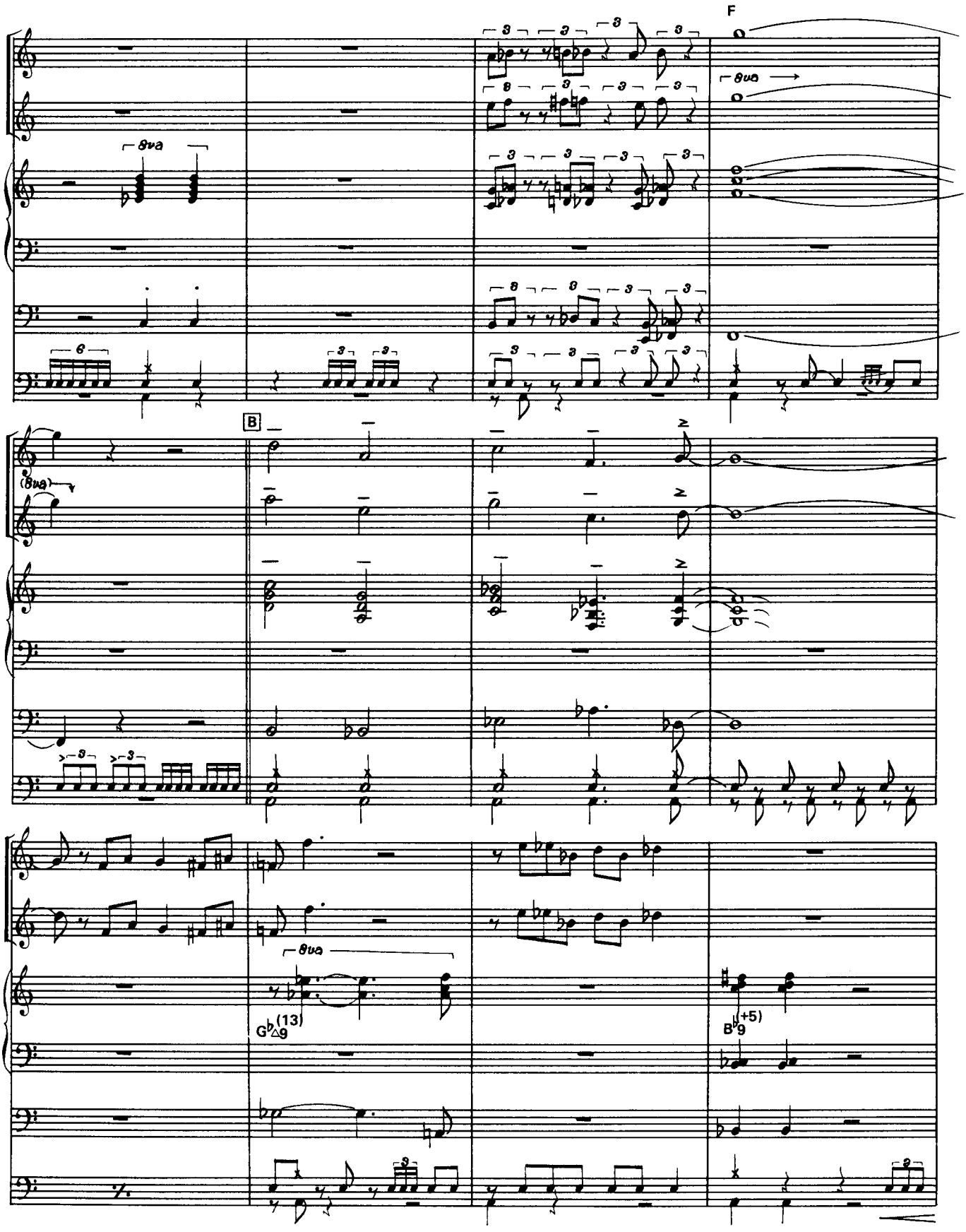
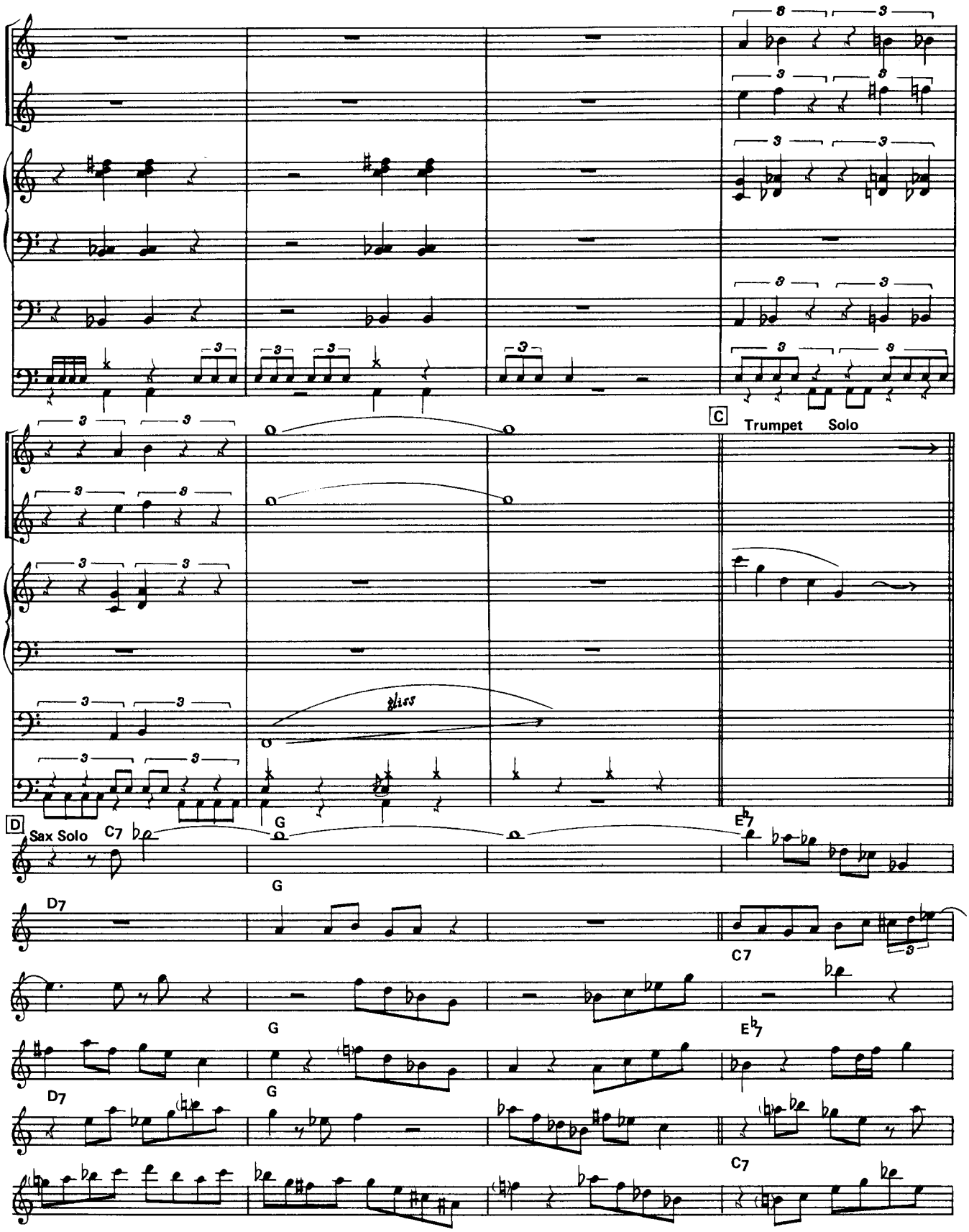
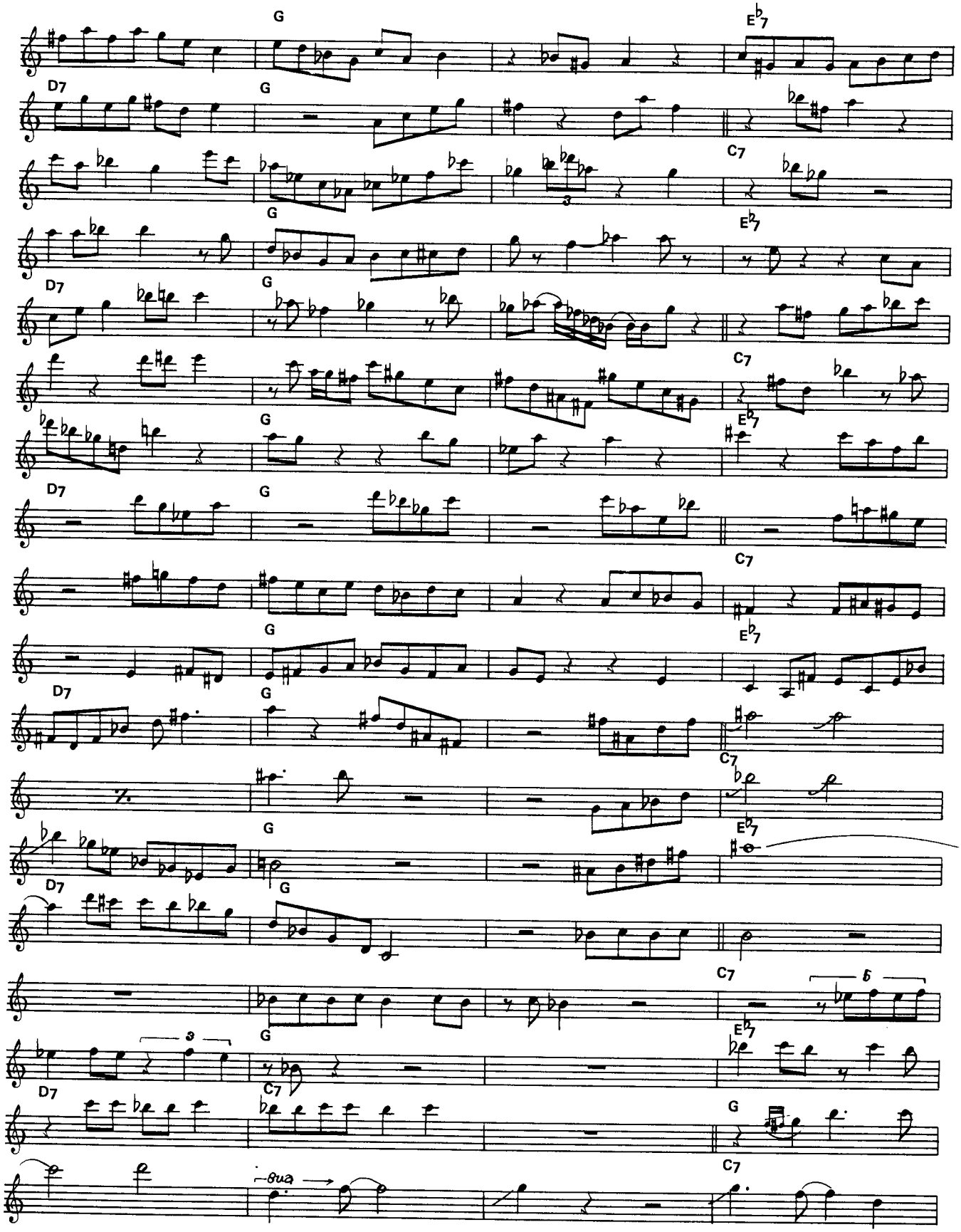
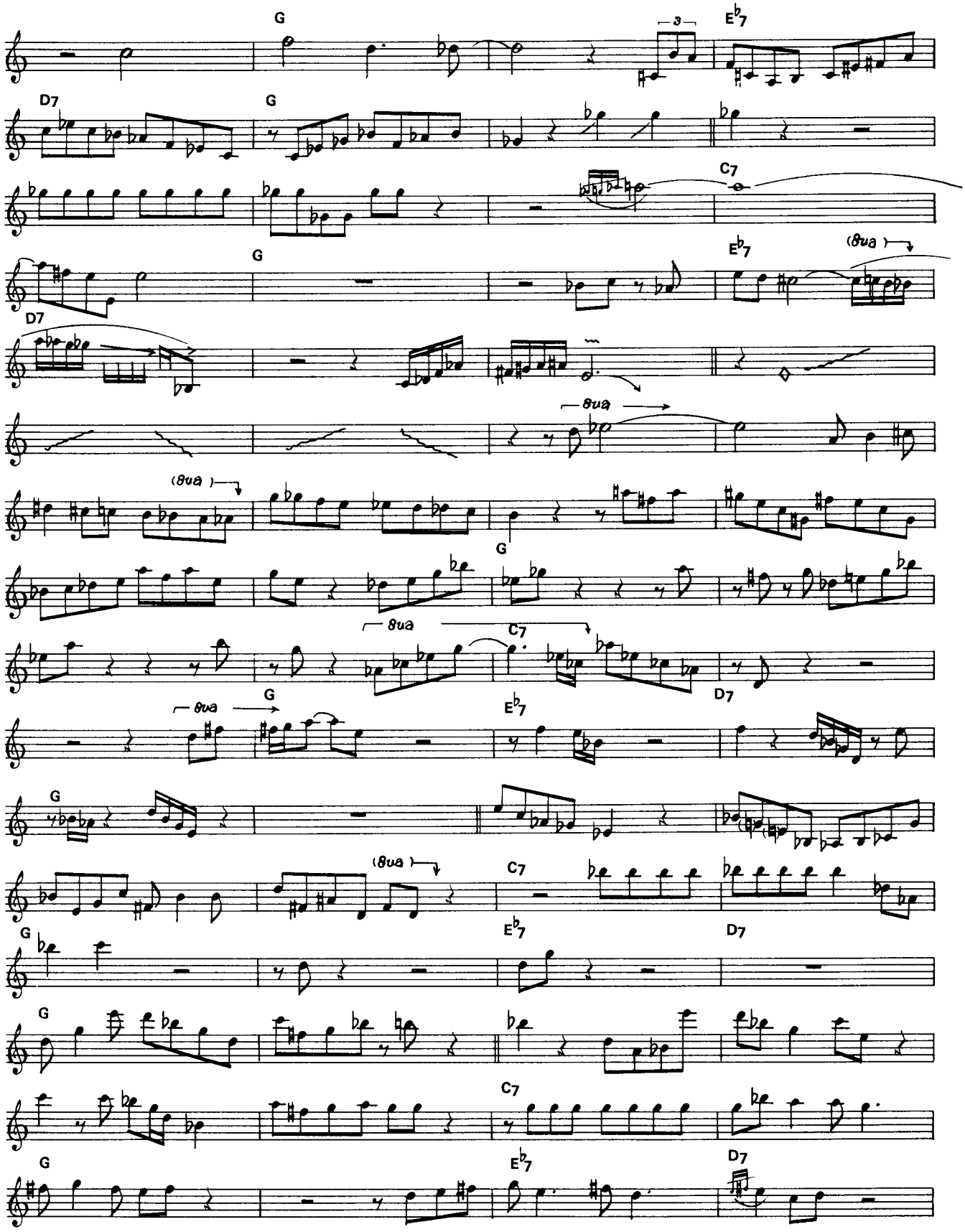
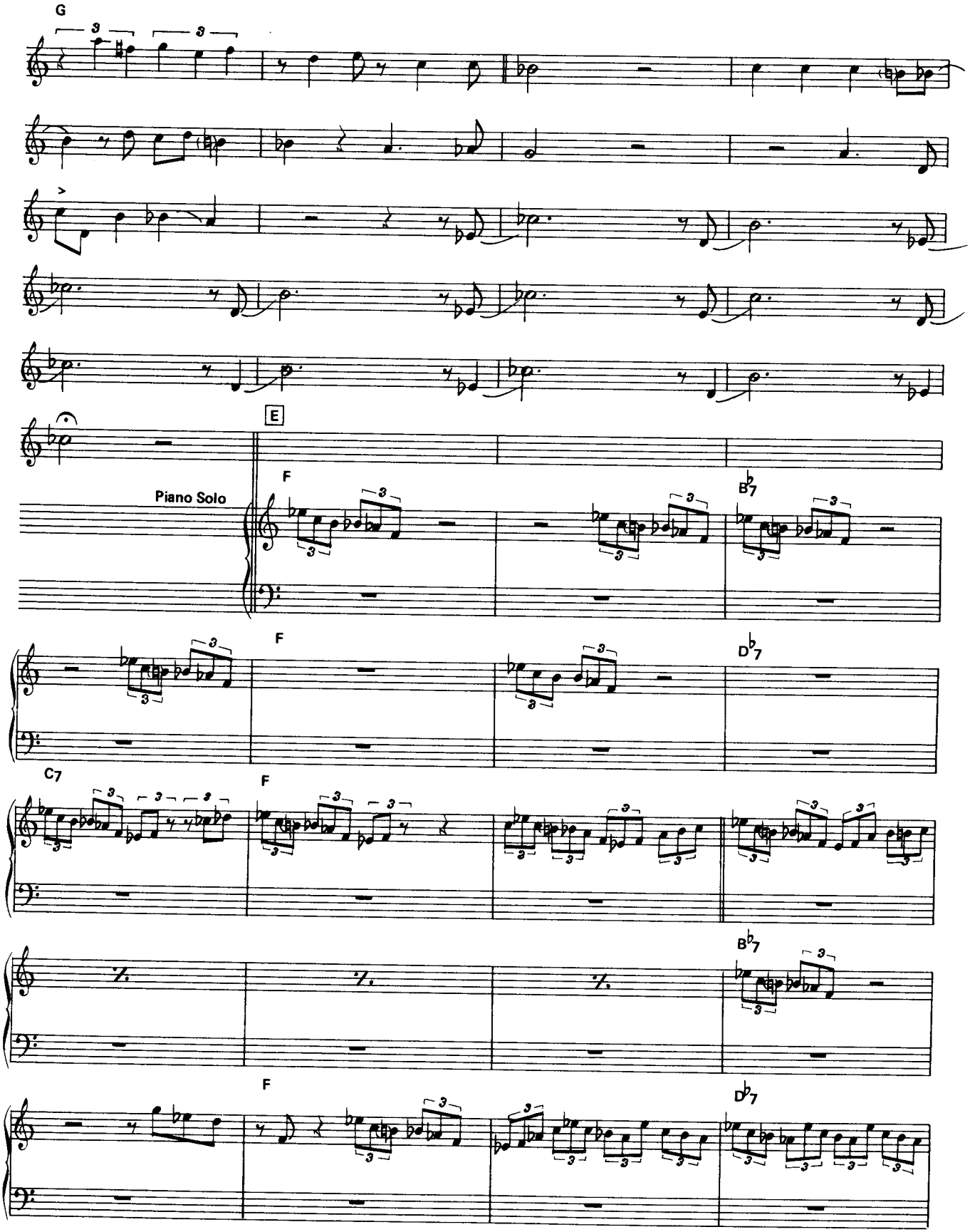
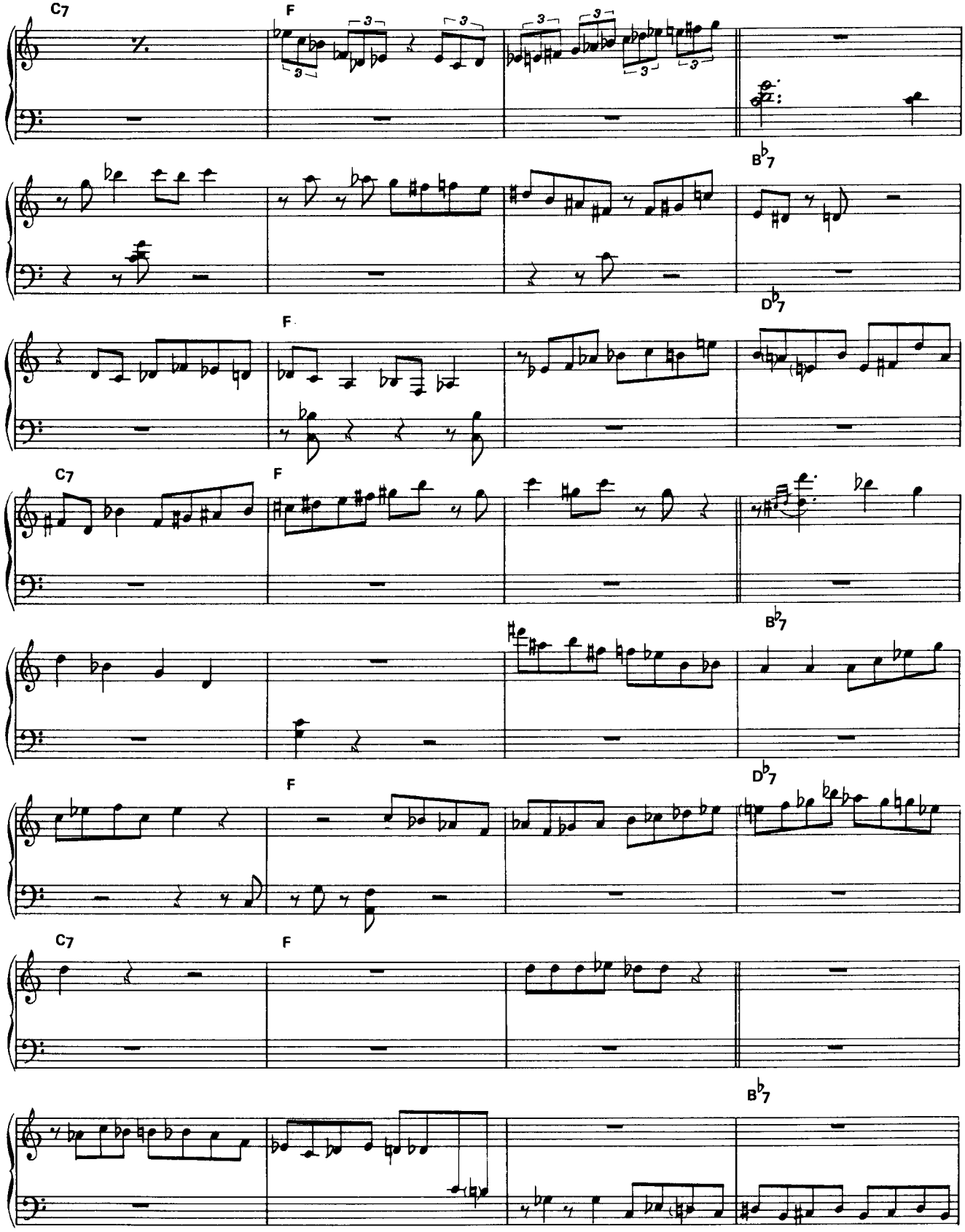
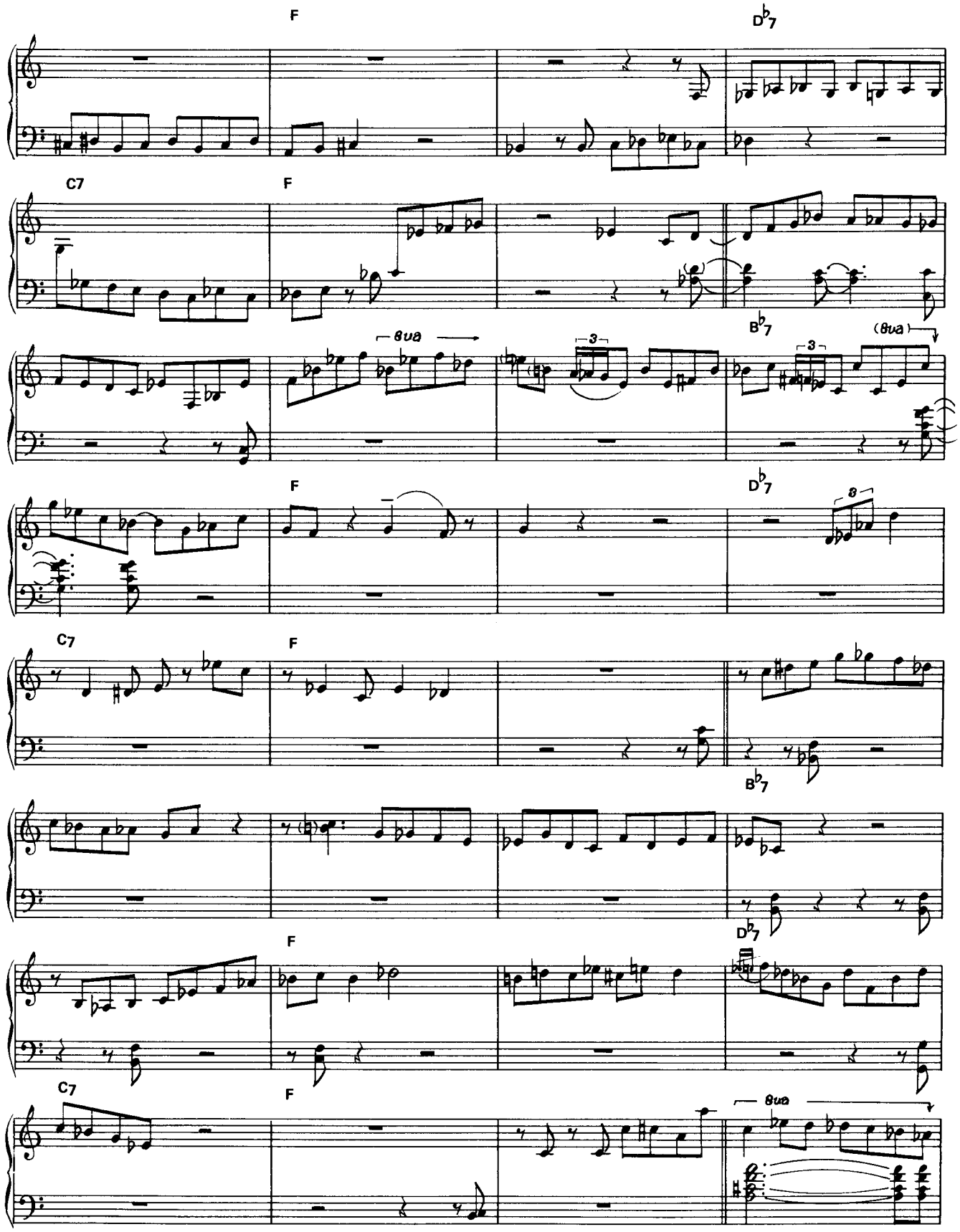
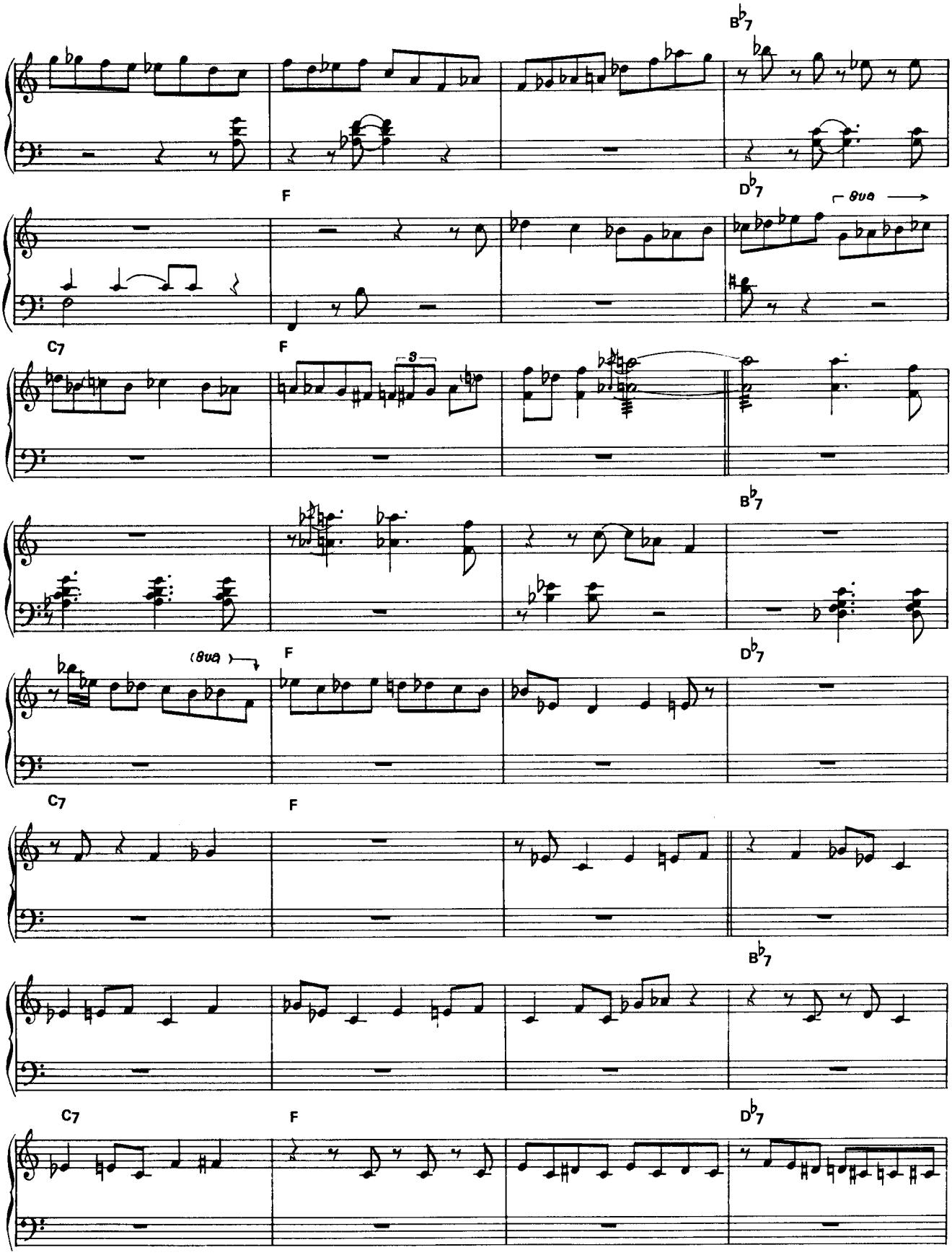
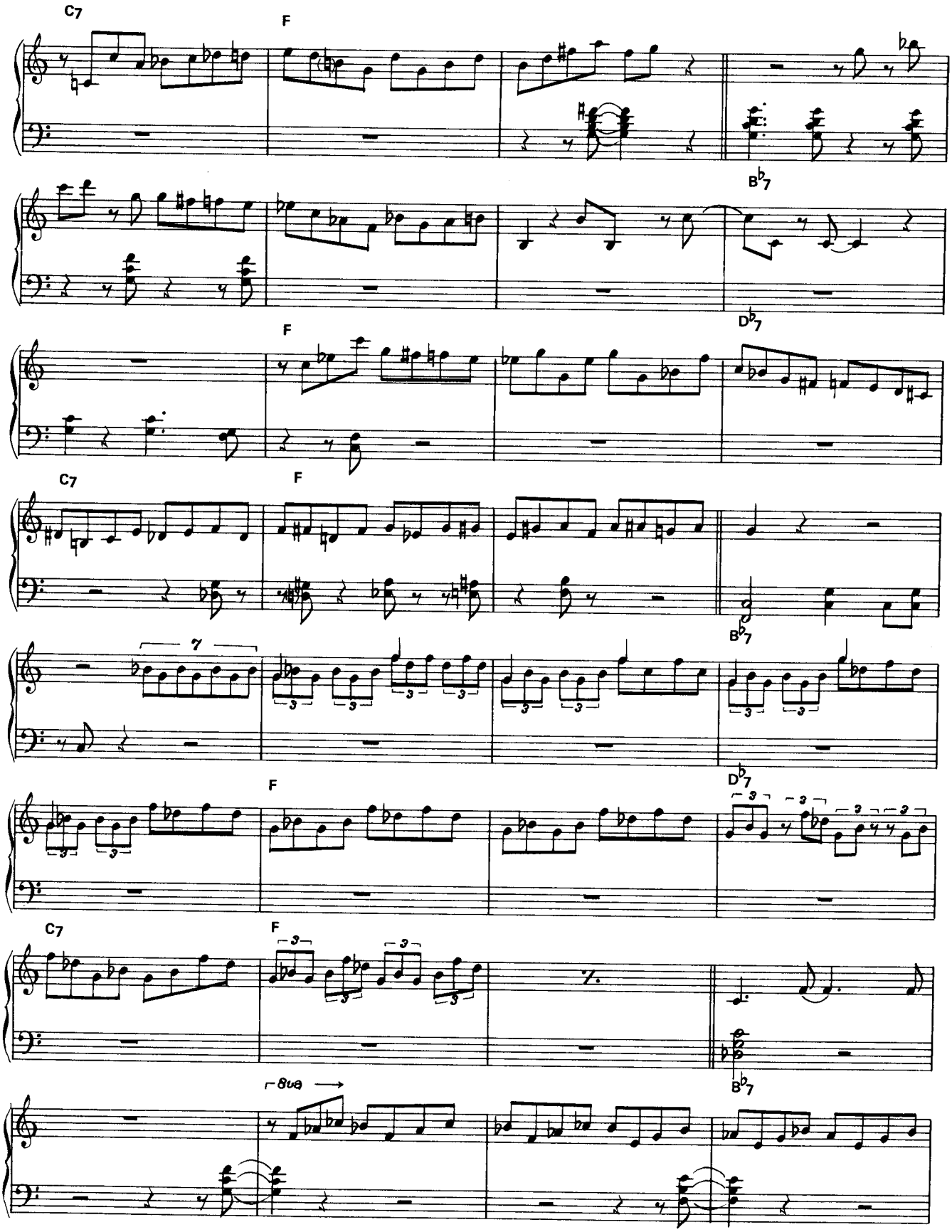
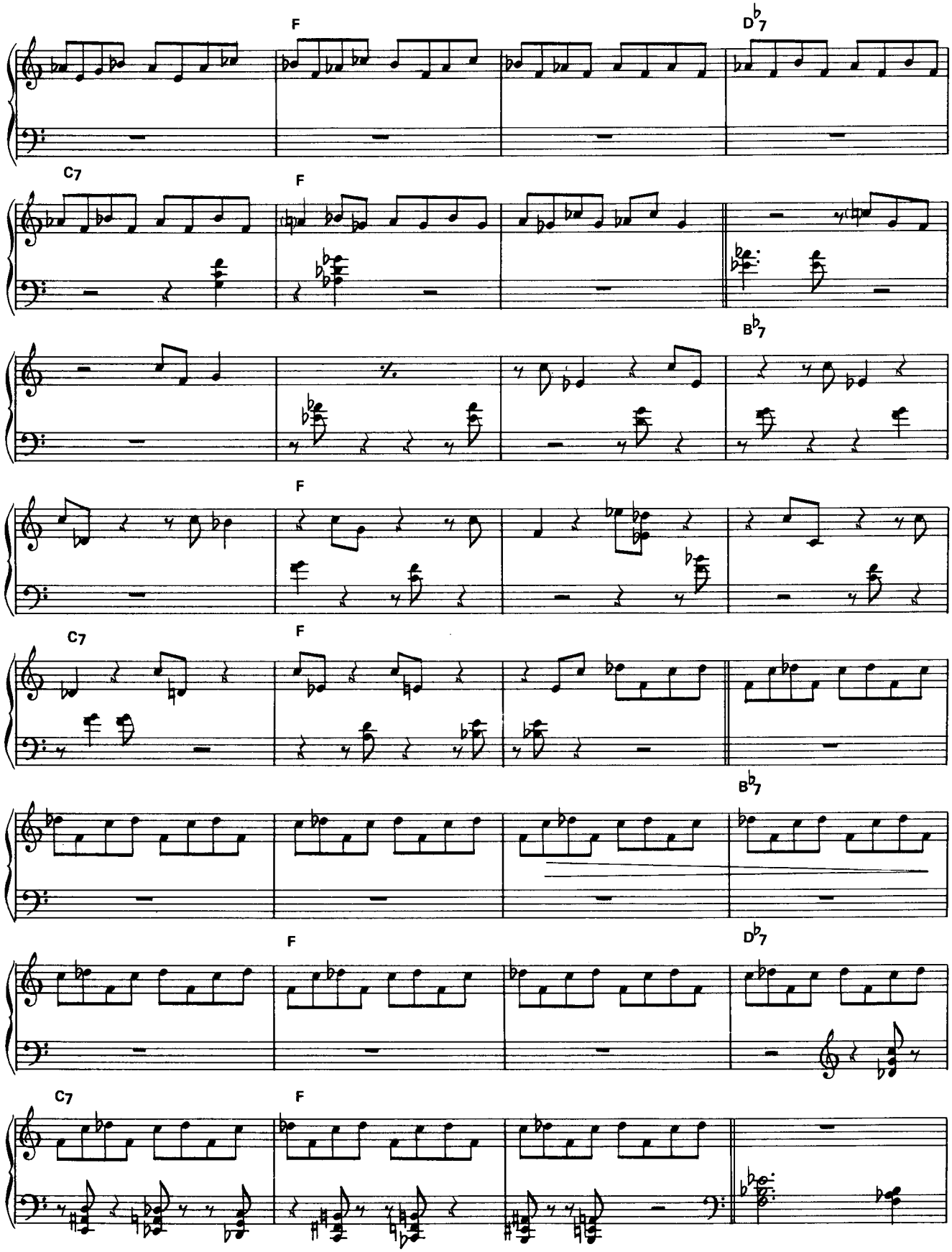
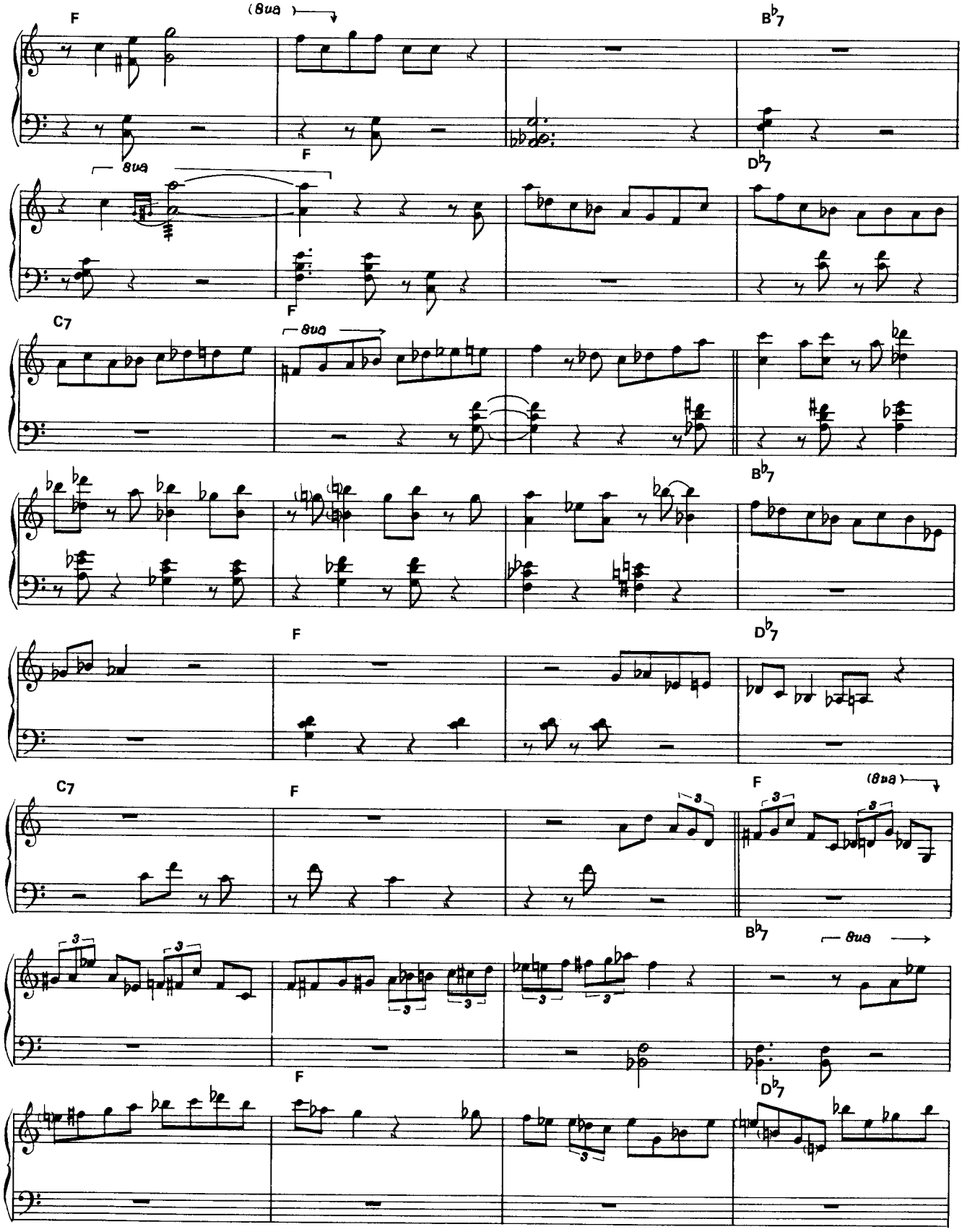
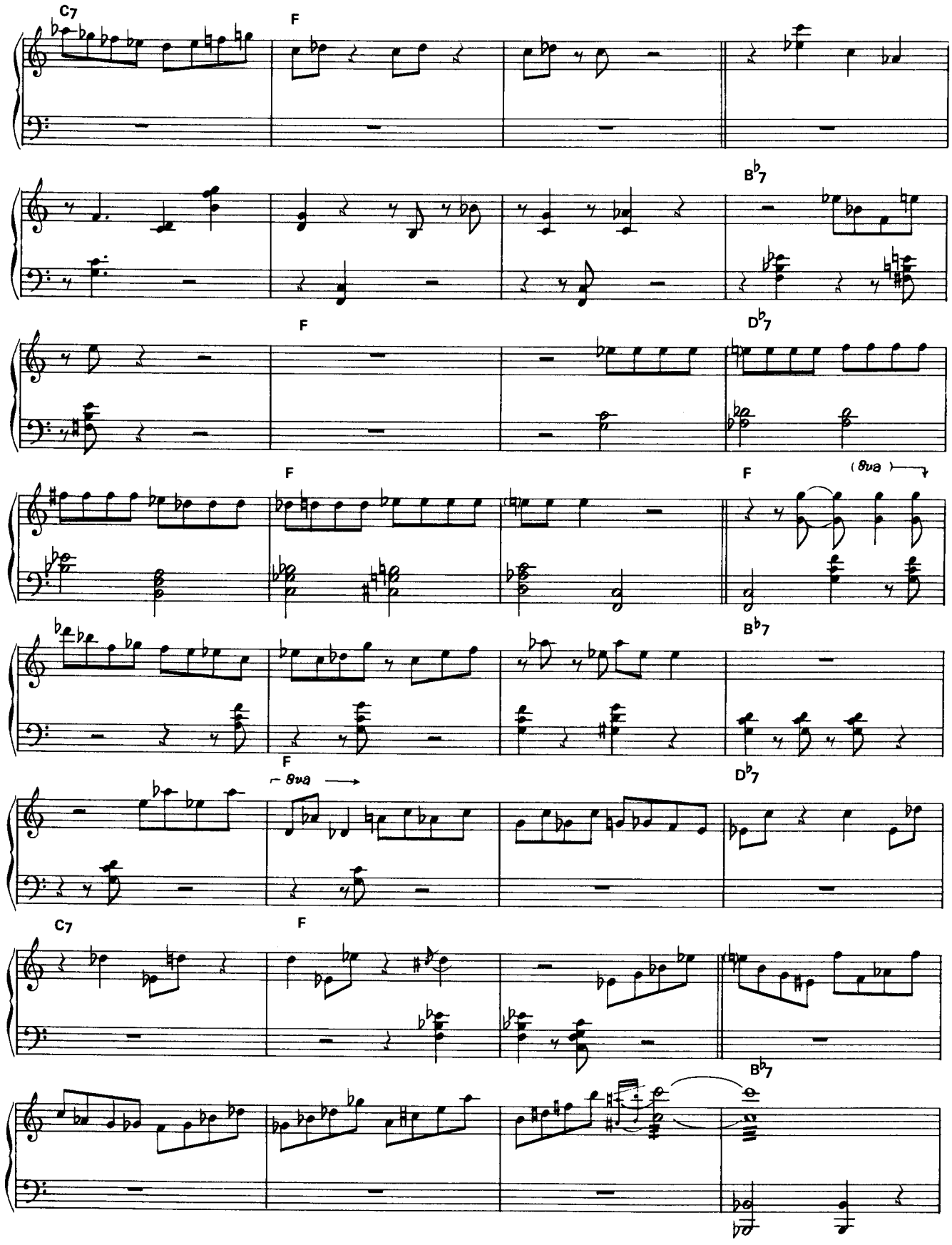
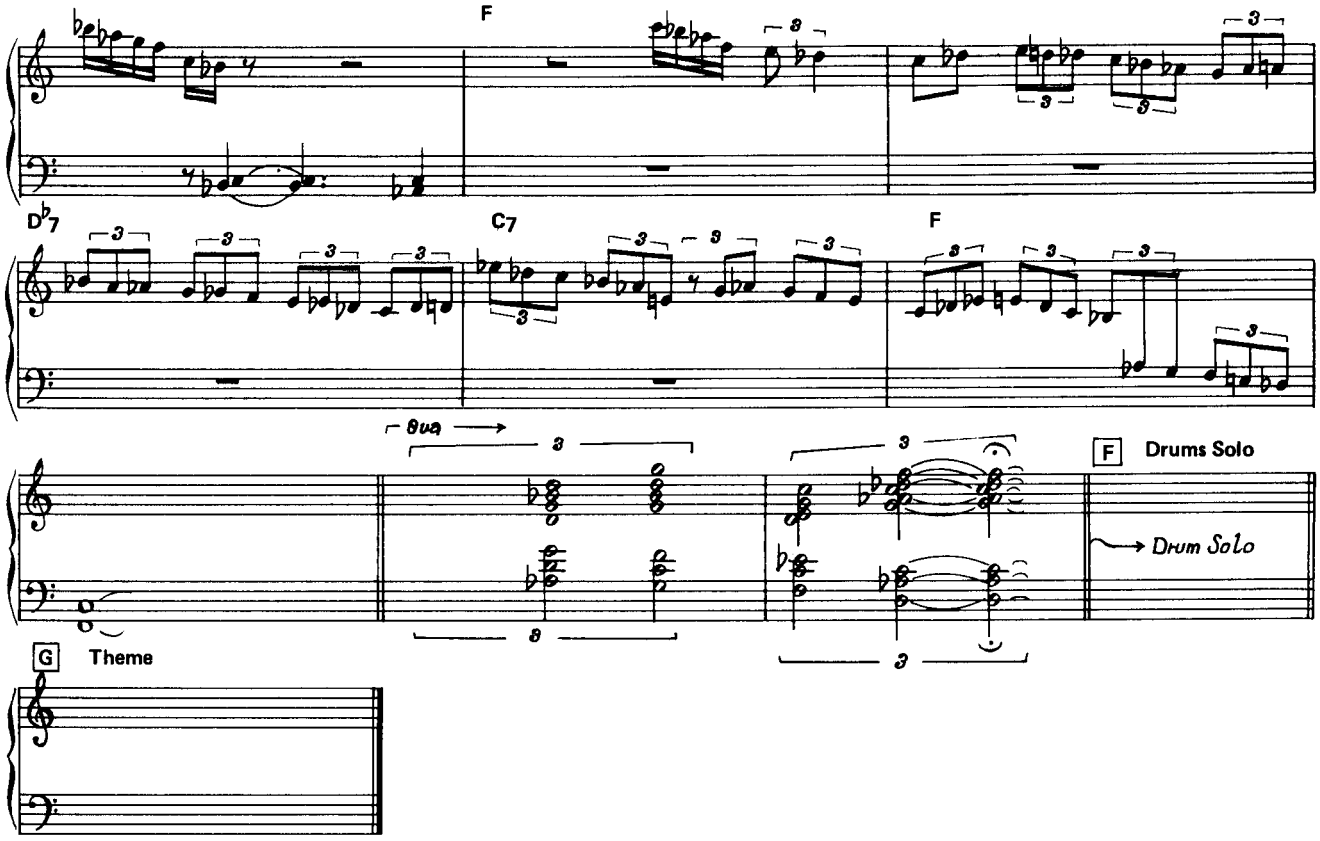
Ⓓ……テナー・サックス・ソロ

Ⓔ……ピアノ・ソロ

Ⓕ……ドラム・ソロ（省略）

Ⓖ……テーマ（省略）

EYE OF THE HURRICANE

by HERBIE HANCOCK

Copyright ©1965 by HANCOCK MUSIC CO.
Rights For Japan Assigned To TOSHIBA - EMI MUSIC Publishing Co., Ltd.

F
8va
B
(8va)
8va
G♭△9(13)
B♭9(♭5)

C
Trumpet Solo
gliss
D
Sax Solo
C7
G
E♭7
D7
G
C7
G
E♭7
D7
G
C7

G
E♭7
D7
G
C7
G
E♭7
D7
G
C7
G
E♭7
D7
G
C7
G
E♭7
D7
G
C7
G
E♭7
D7
G
C7
G
E♭7
D7
C7
G
C7
8va

G
E♭7
D7
G
C7
G
E♭7
8va
D7
8va
8va
G
8va
C7
D7
8va
G
E♭7
G
8va
C7
G
E♭7
D7
G
C7
G
E♭7
D7

G
E
Piano Solo
F
B♭7
F
D♭7
C7
F
B♭7
F
D♭7

C7
F
B♭7
D♭7
F
C7
F
B♭7
D♭7
F
C7
F
B♭7

F
D♭7
C7
F
8va
3
B♭7
(8va)
F
D♭7
8
C7
F
B♭7
D♭7
F
C7
F
8va

B♭7
F
D♭7
8va
C7
F
3
B♭7
(8va)
F
D♭7
C7
F
B♭7
C7
F
D♭7

C7
F
B♭7
D♭7
F
C7
F
B♭7
7
F
D♭7
C7
F
8va
B♭7

F
D♭7
C7
F
B♭7
F
C7
F
B♭7
F
D♭7
C7
F

F
(8va)
B♭7
8va
F
D♭7
C7
8va
B♭7
F
D♭7
C7
F
F
(8va)
B♭7
8va
F
D♭7

C7
F
B♭7
F
D♭7
F
8va
F
B♭7
F
8va
D♭7
C7
F
B♭7

F
D♭7
C7
F
8va
F Drums Solo
Drum Solo
G Theme

ONE OF ANOTHER KIND

ワン・オブ・アナザー・カインド

Music by Freddie Hubbard

'79年の田園コロシアムでのライヴ・アルバム『ライヴ・アンダー・ザ・スカイ』よりの採譜で、フレディー・ハバードの曲である。

LAYOUT

曲の構成としては、25小節ワン・コーラスのテーマが2回繰り返された後、8小節のヴァンプがありアドリブへとつながっている。テーマ部のコード進行とアドリブ部のコード進行は全く違う。

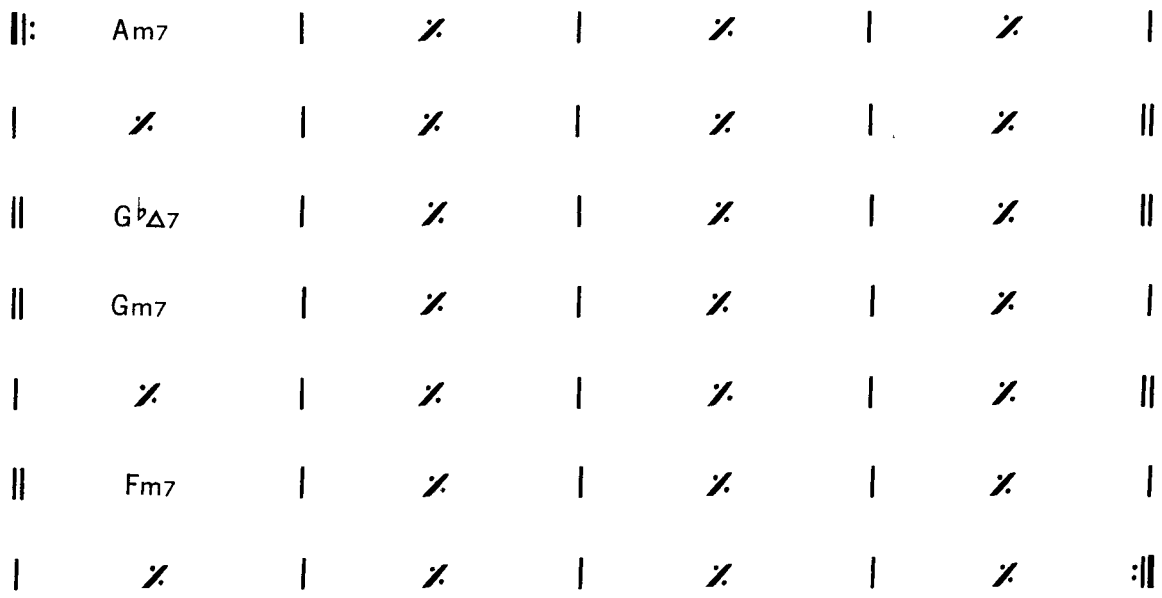
■テーマ部分のコード進行

‖:	$F\triangle_7^{(+11)}$	𝄎	Am7	𝄎
	Dm7	𝄎	$B\flat\triangle_7$	𝄎
	$\frac{A\flat_7}{G\flat}$	𝄎	𝄎	$\frac{Dm7}{G}$ 𝄎
	Am7	𝄎	$A\flat\triangle_7$	G7
	Fm7	𝄎	𝄎	𝄎
	𝄎	𝄎	Dm7	𝄎 :‖

Vamp

‖	Dm7	𝄎	Am7	𝄎
	Dm7	𝄎	$B\flat\triangle_7$	𝄎 ‖

■アドリブ部のコード進行



譜面での構成は次の通り。

Ⓐ……ピアノによるイントロダクション
Ⓑ……リズム・セクションによるイントロダクション
ⓒⒹ……テーマ
Ⓔ……ヴァンプ
Ⓕ～Ⓟ…トランペット・ソロ
Ⓠ……ヴァンプ
Ⓡ……ソプラノ・サックス・ソロ（省略）
Ⓢ……ピアノ・ソロ（省略）
Ⓣ……ドラム・ソロ（省略）
Ⓤ……テーマ（省略）

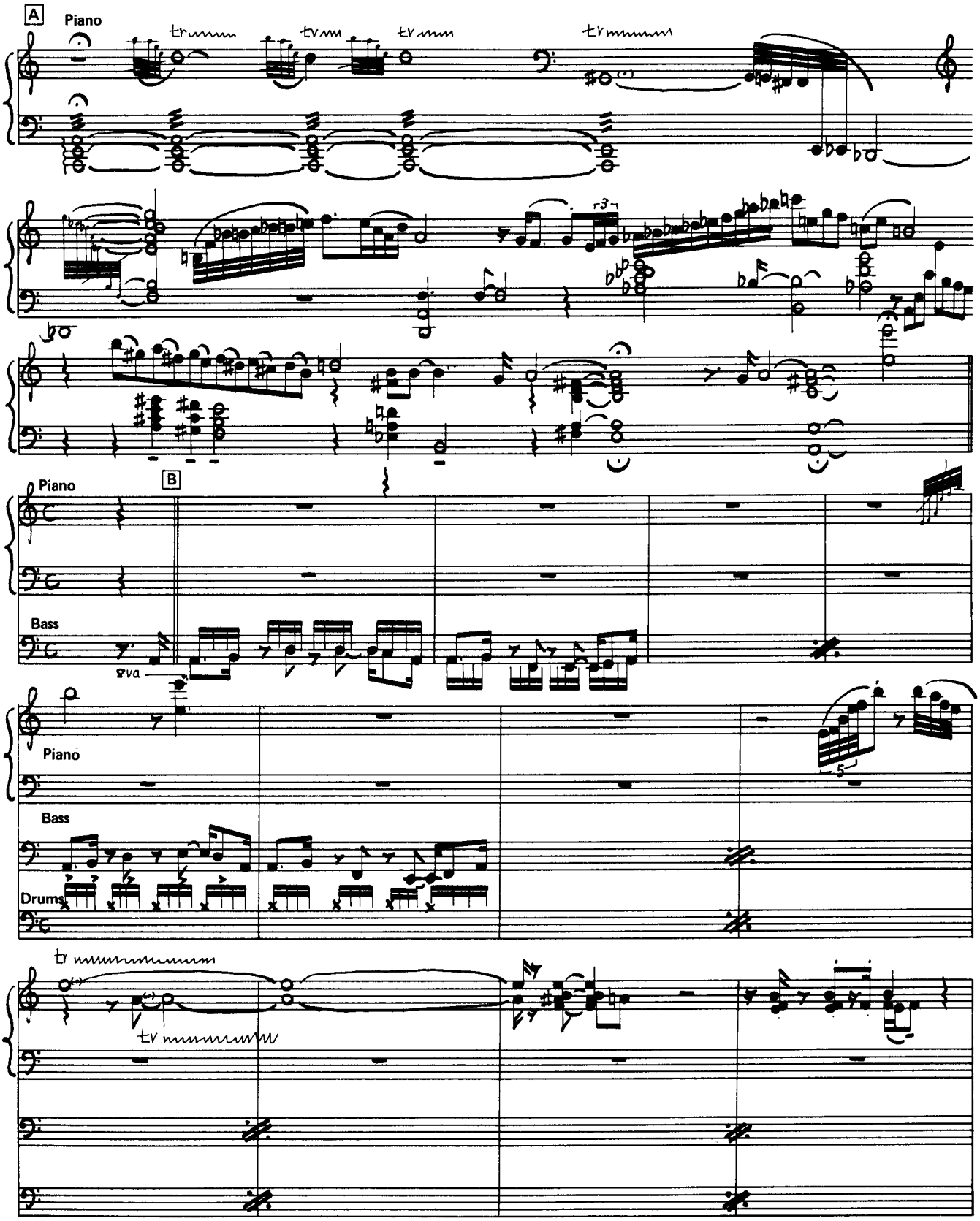
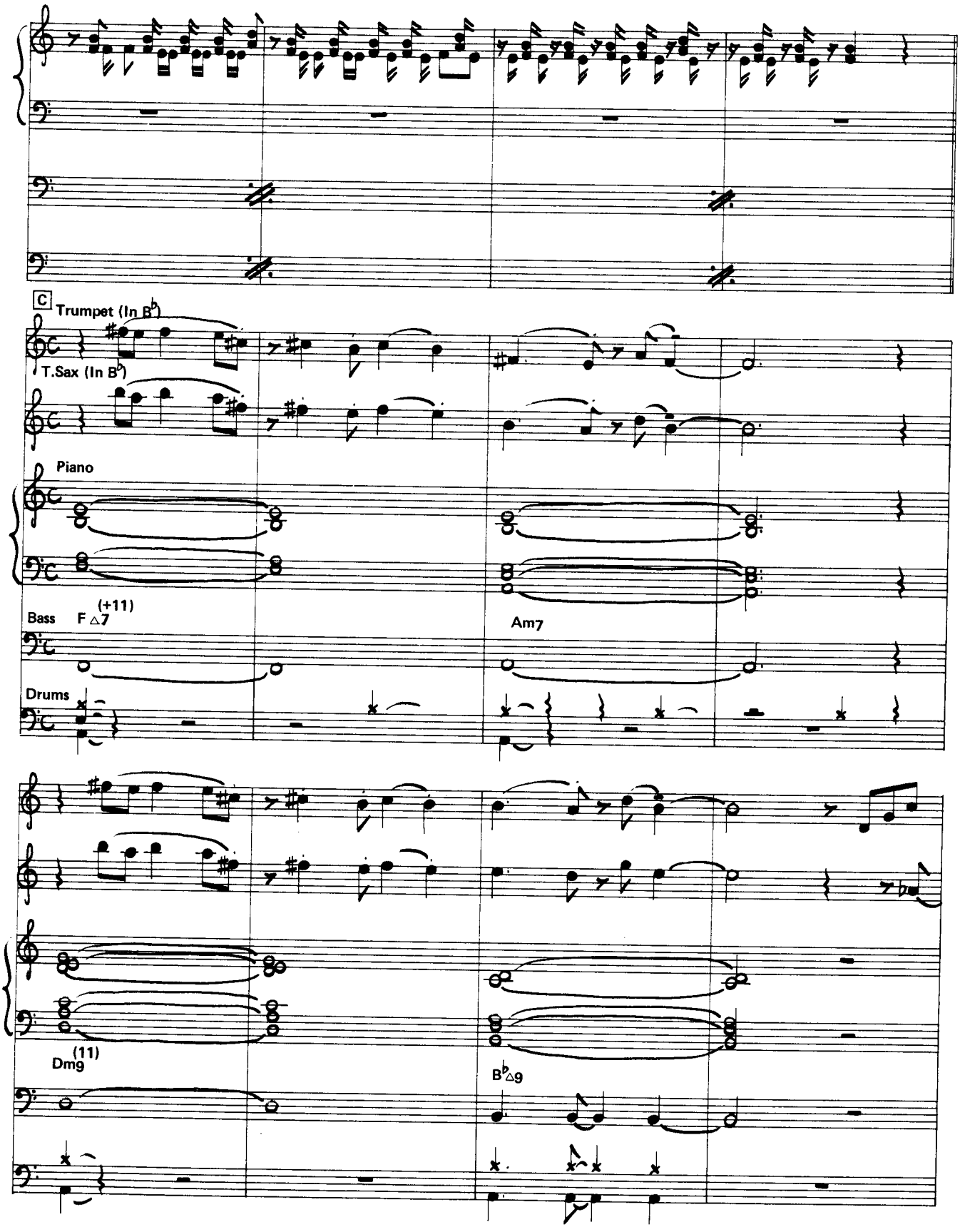
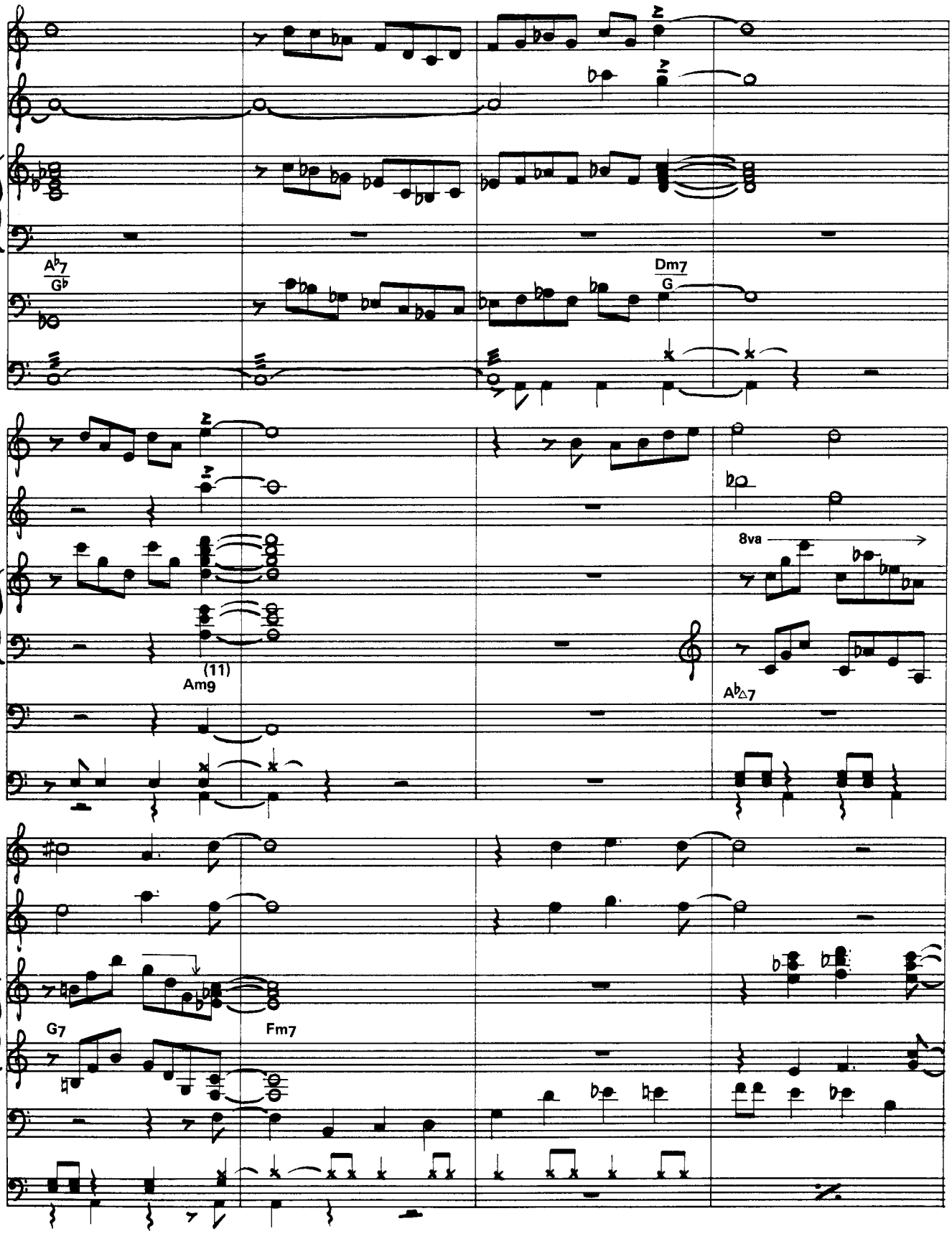
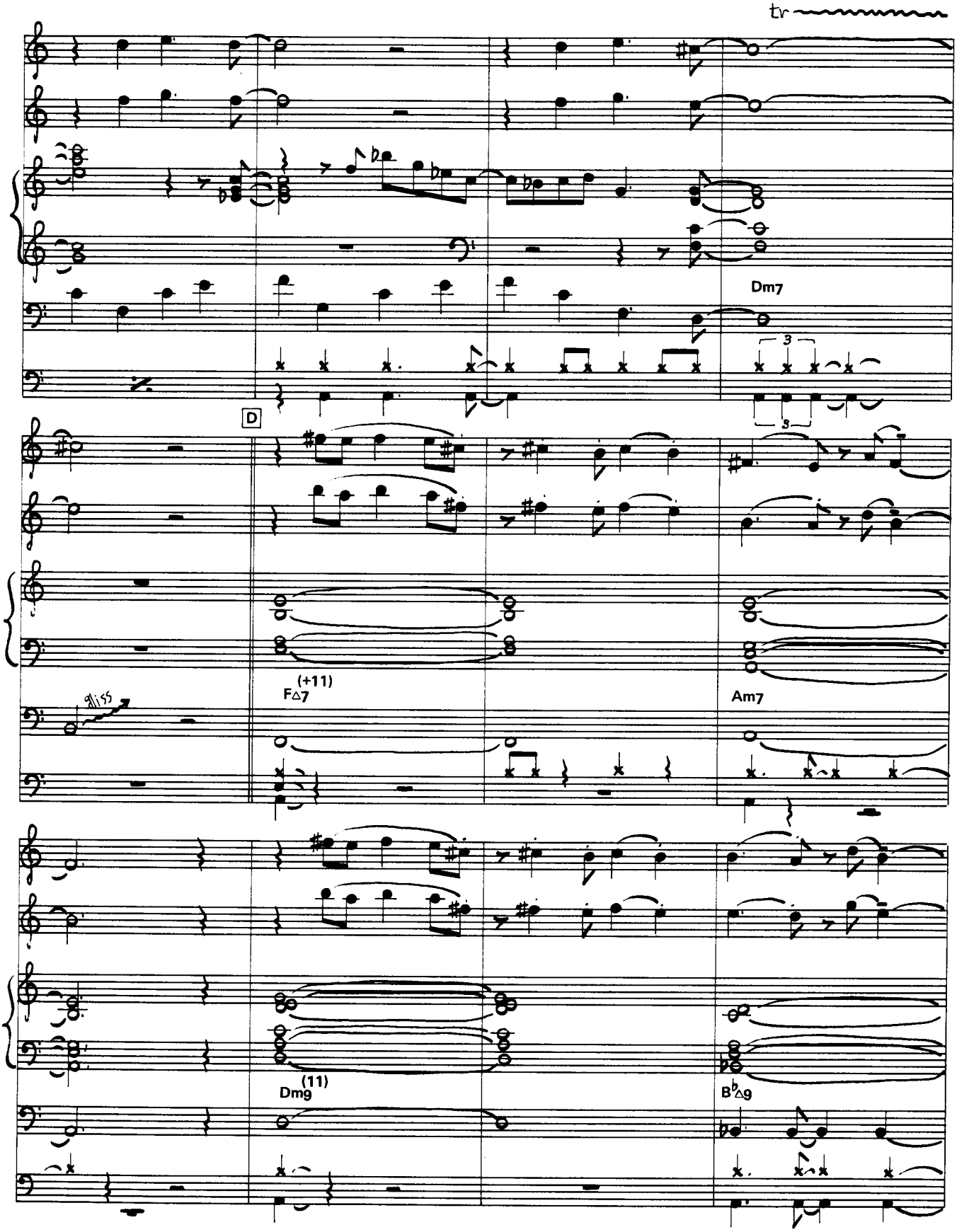
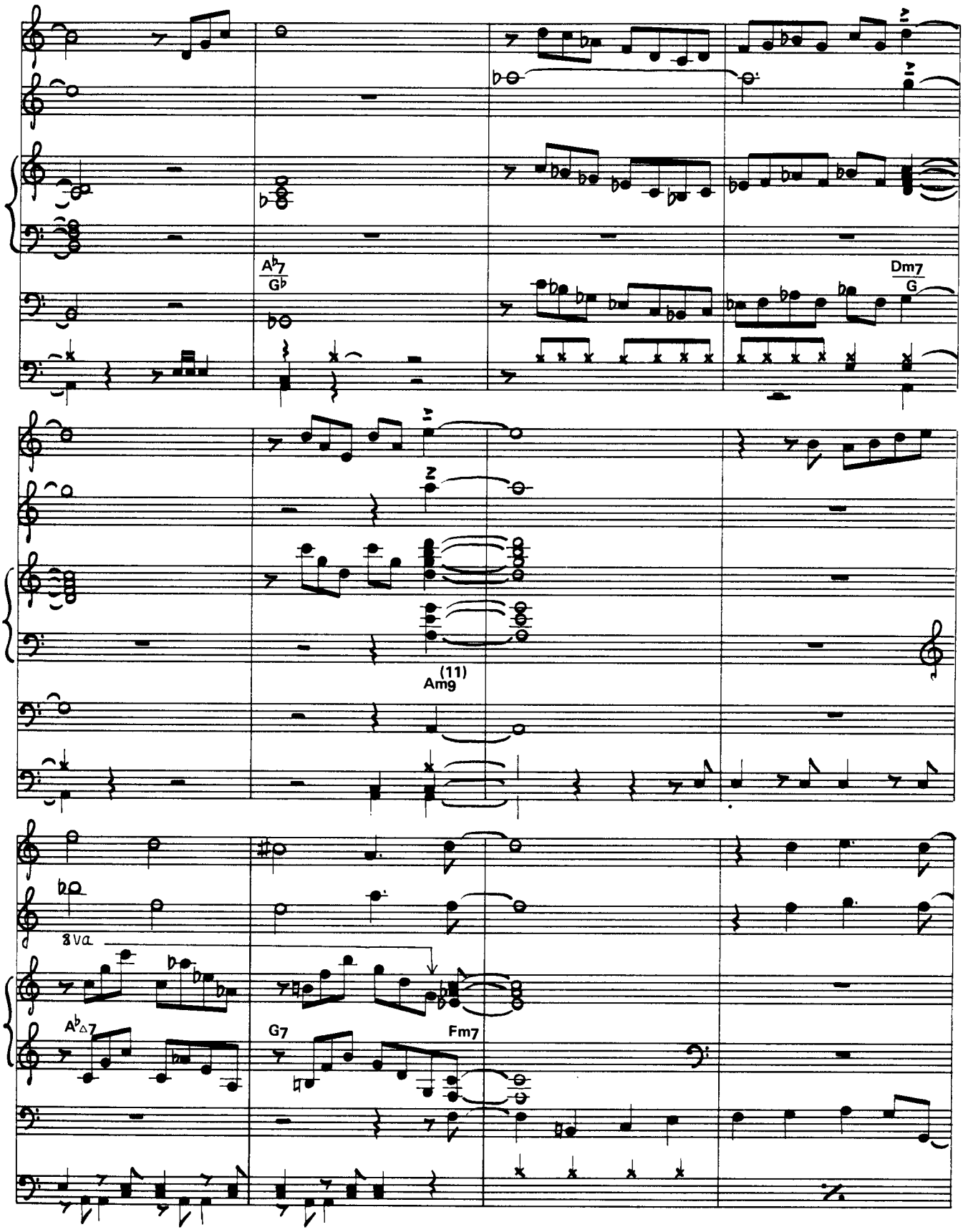
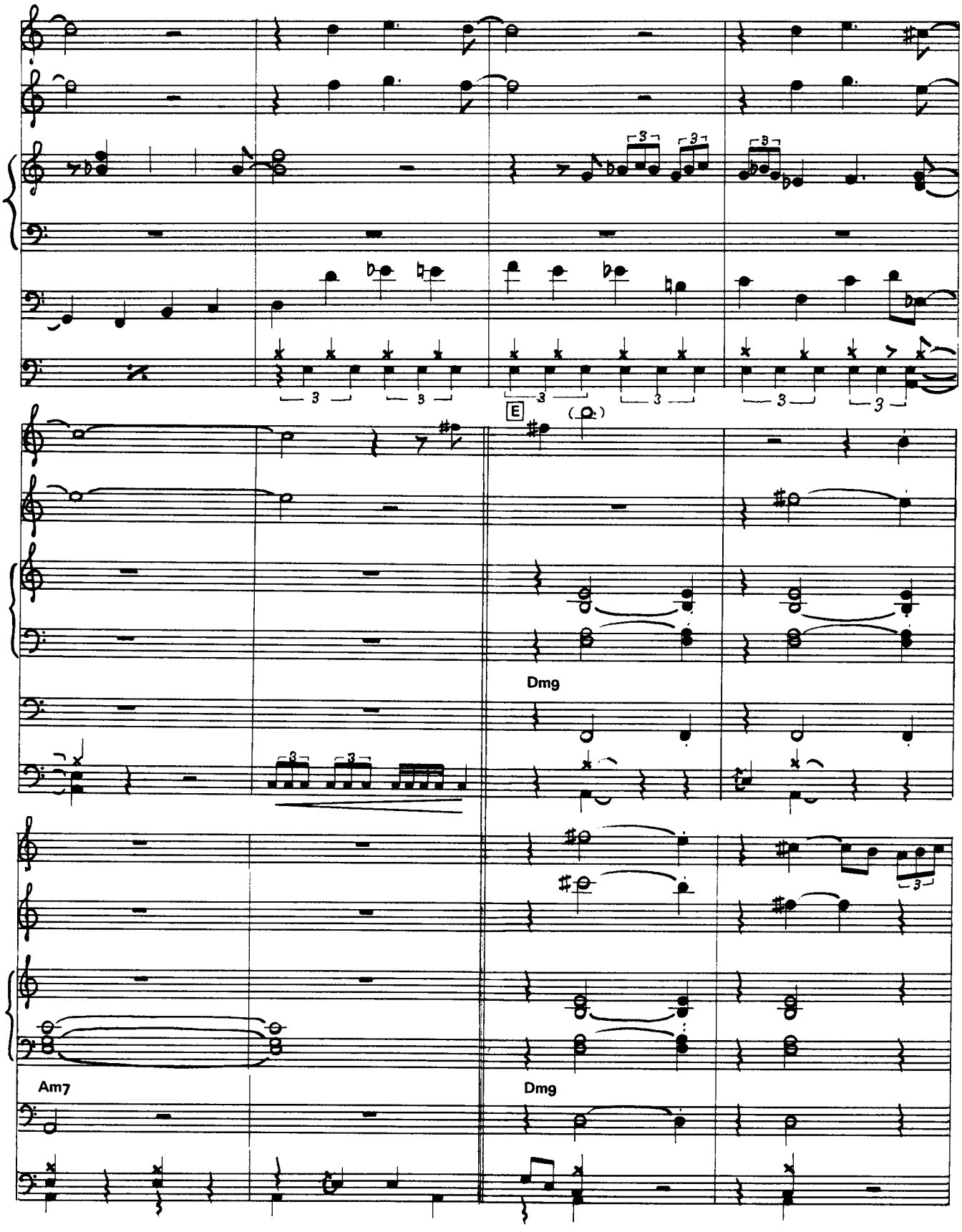
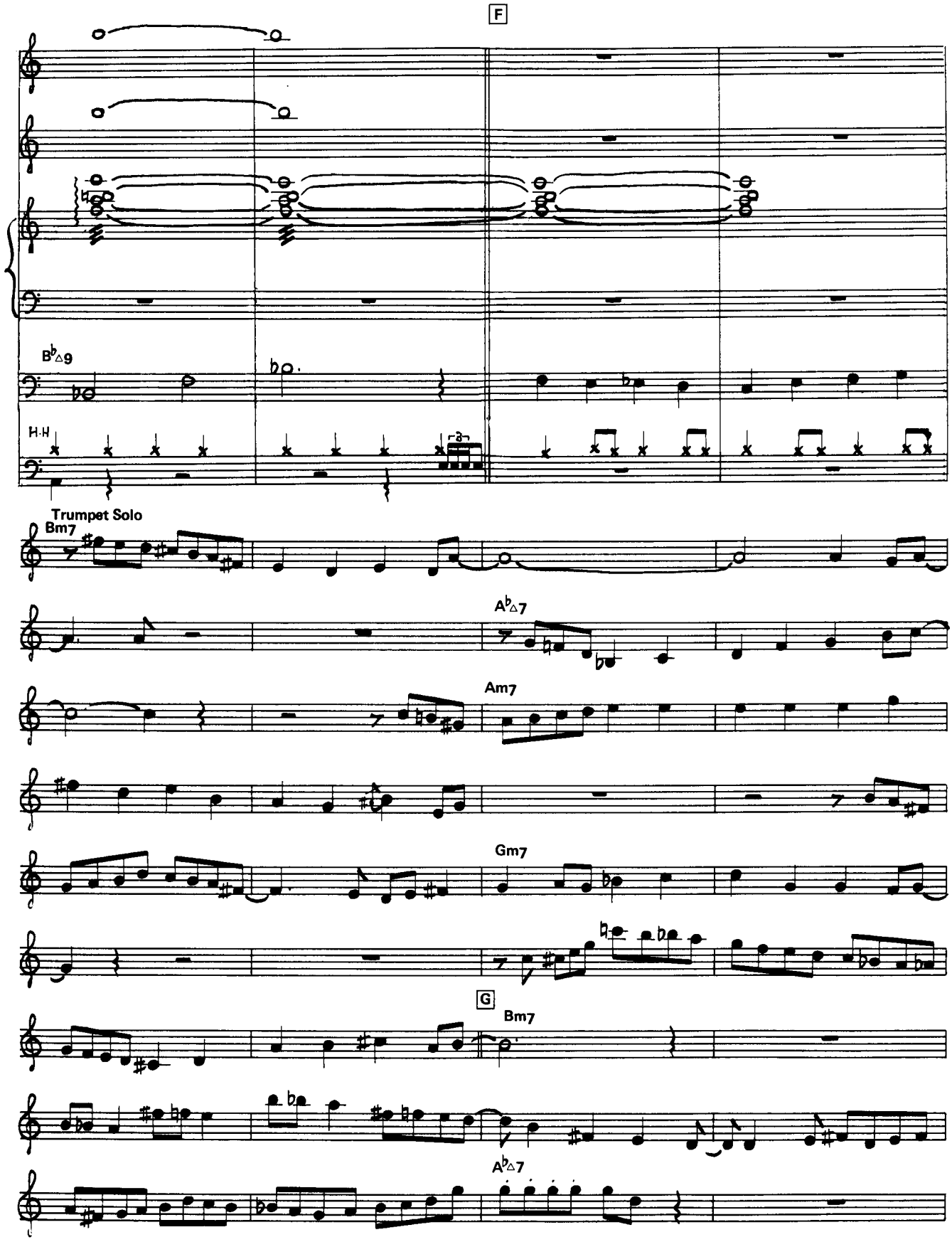
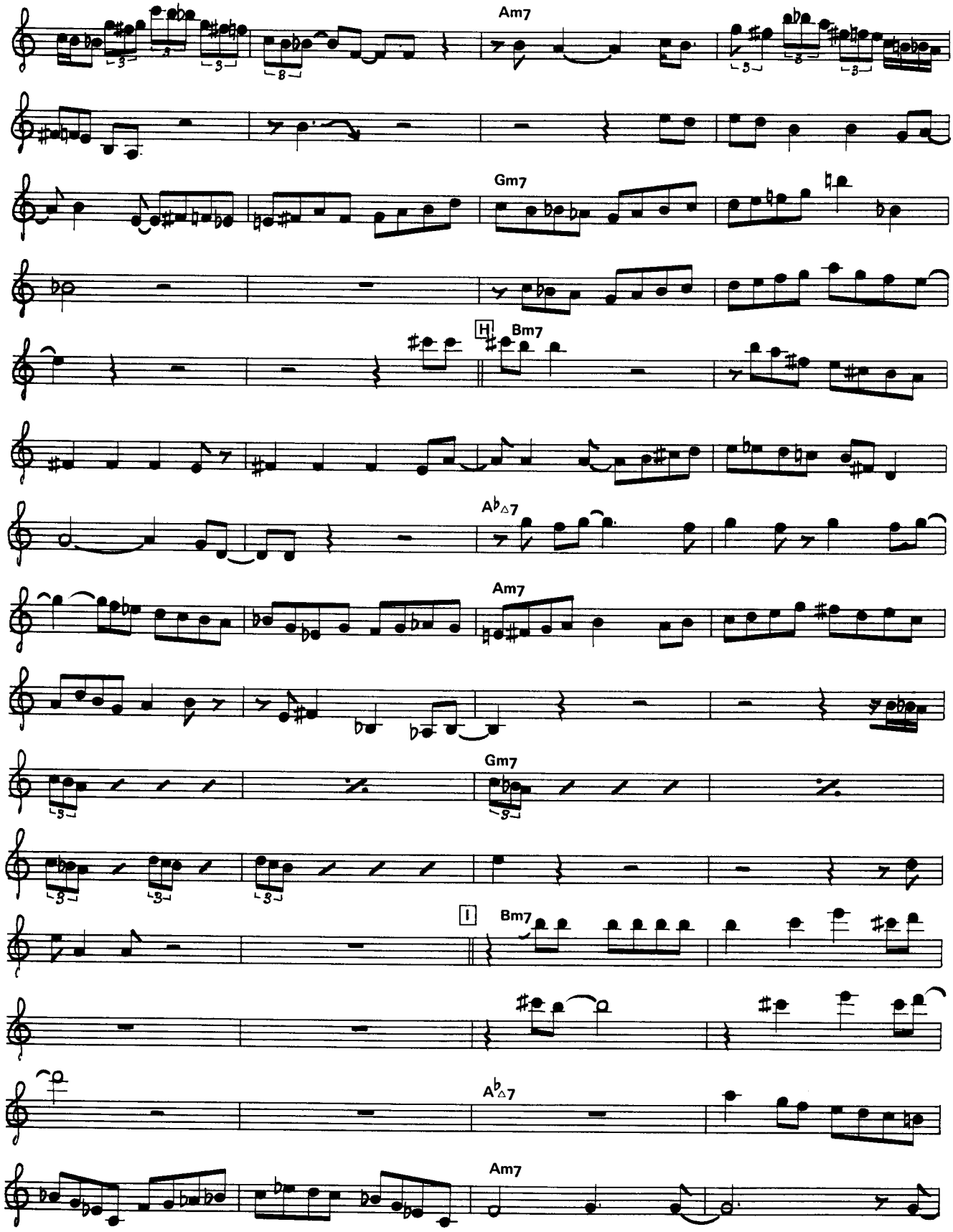
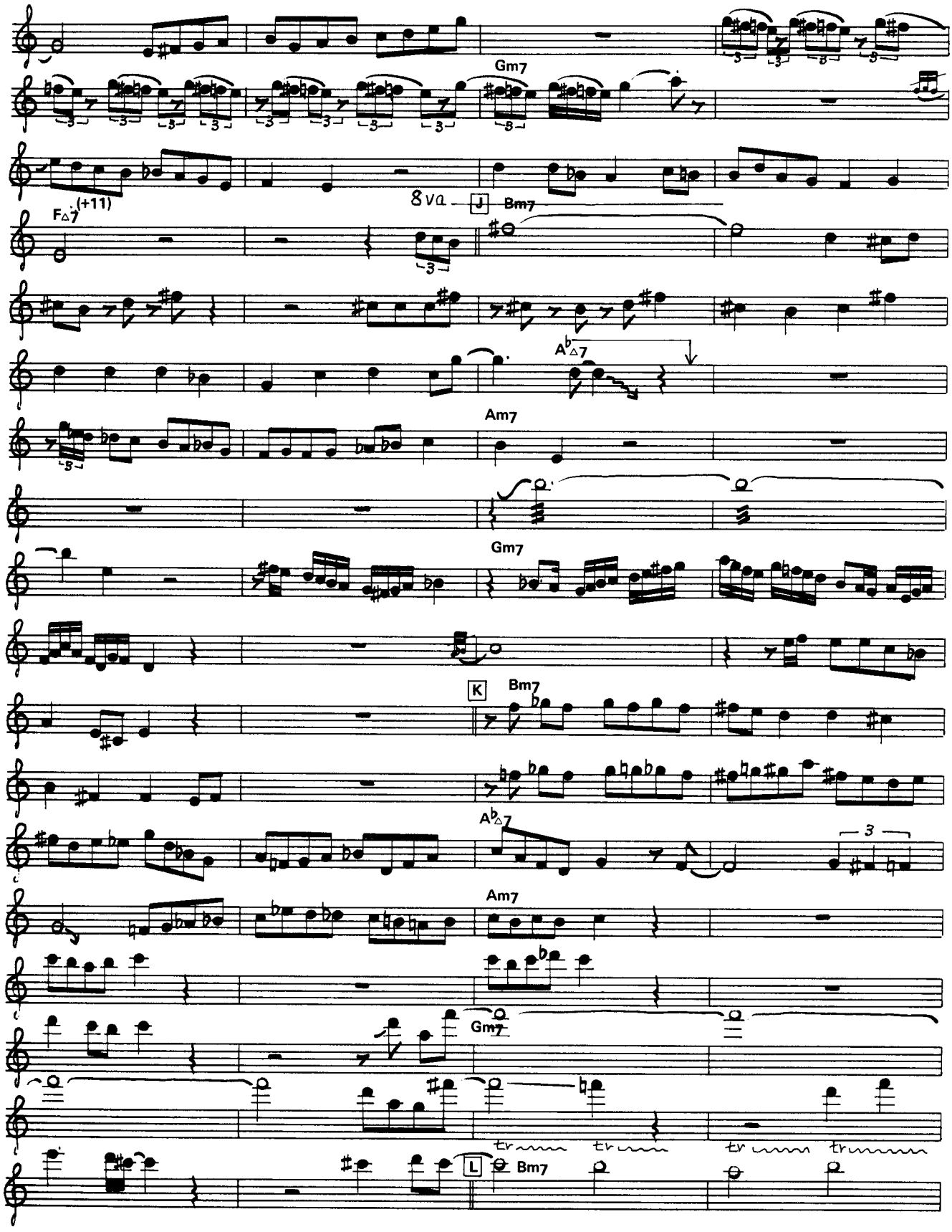
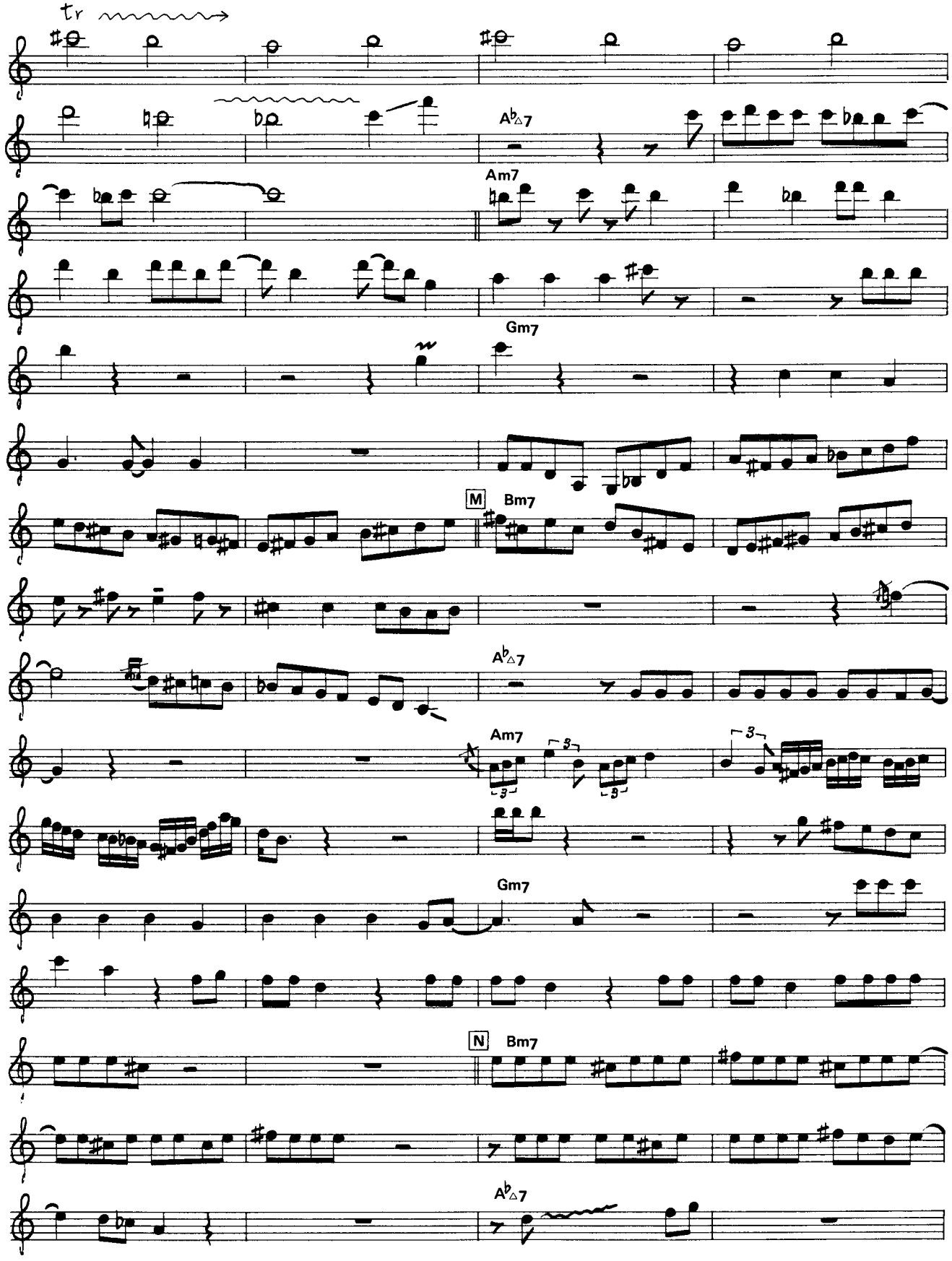
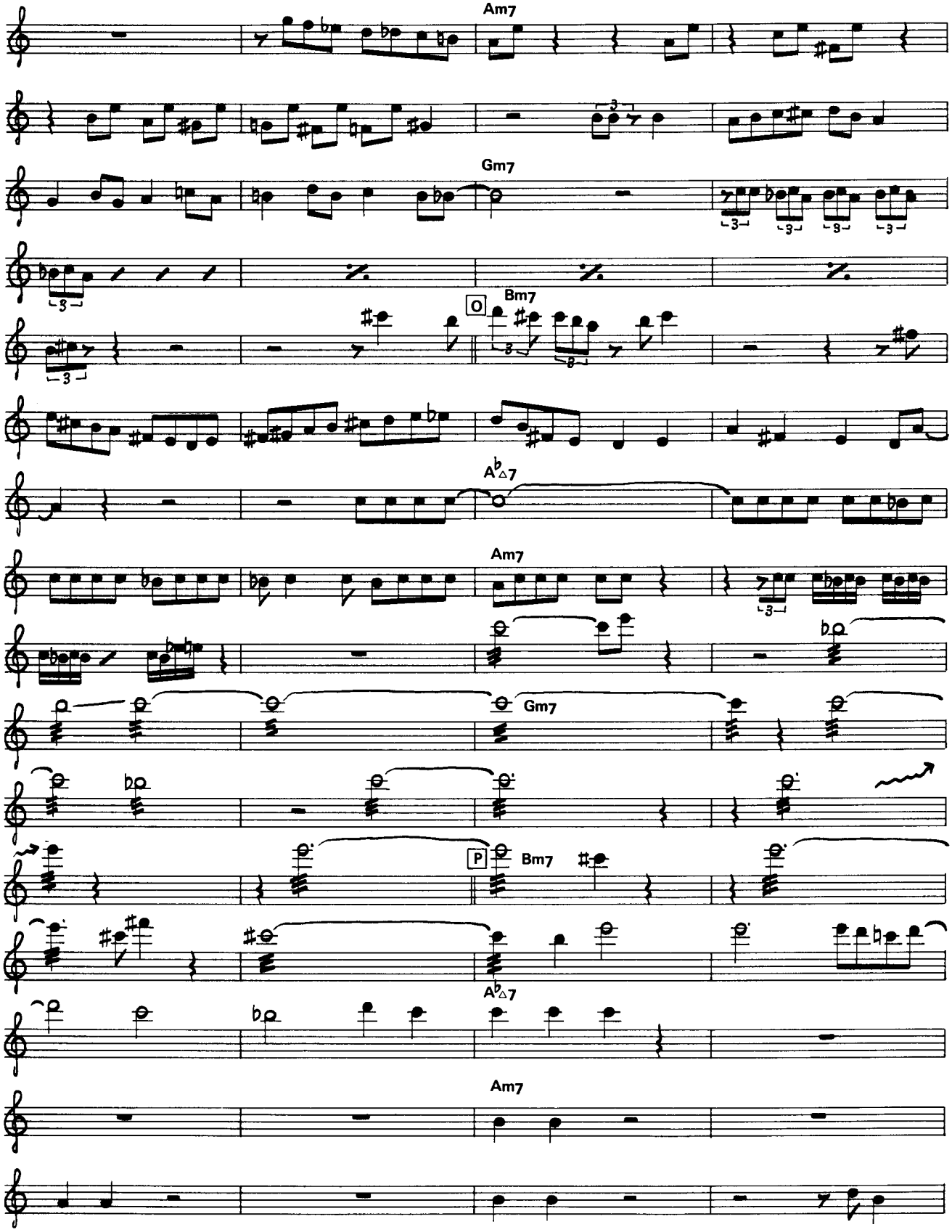
IMPROVISATION

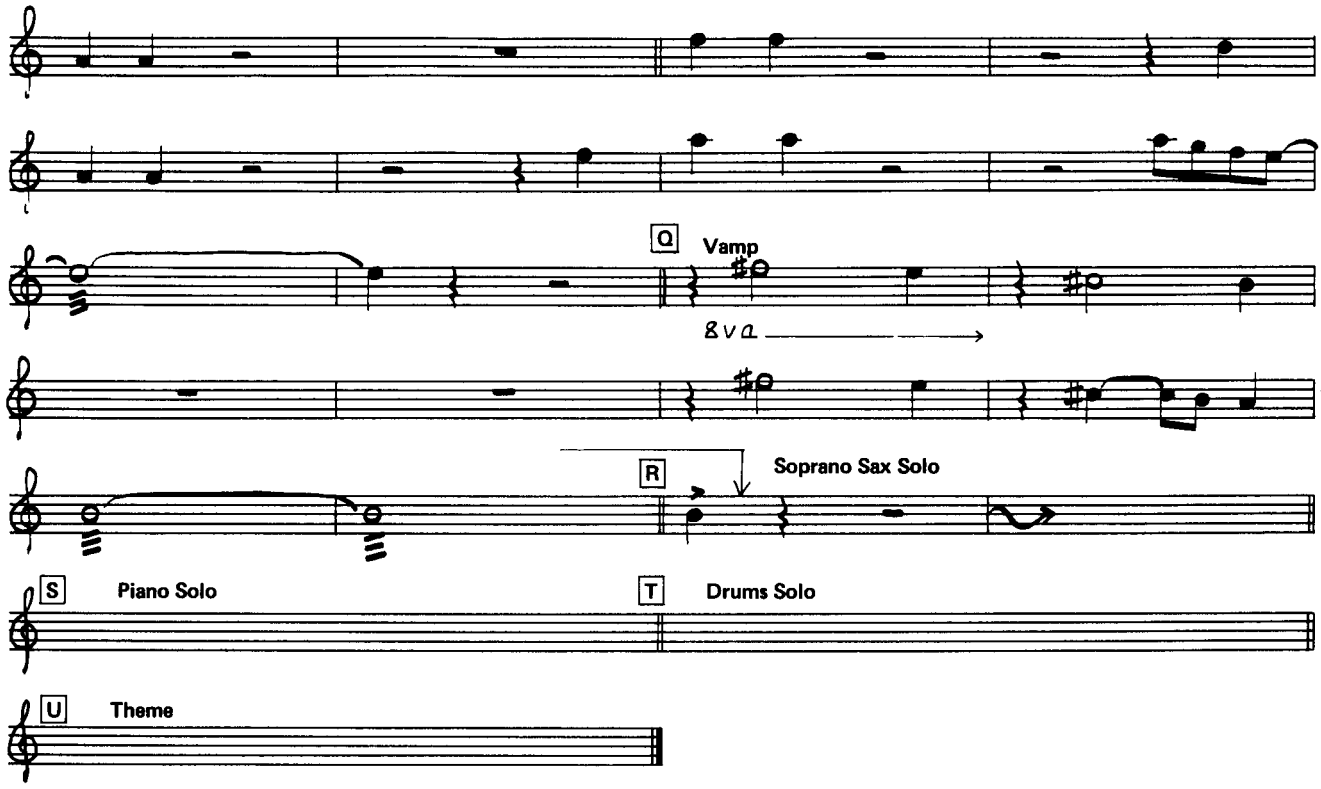
アドリブ部のそれぞれのコードにおけるアヴェイラブル・ノート・スケールは次の通り。

Am7……A Dorian
G♭△7……G♭ Lydian
Gm7……G Dorian
Fm7……F Dorian

しかし、この演奏では、臨機応変にコード・チェンジをしたり、コード・アウトをしたり、クロマチック・ラインを作ったりしているので各自研究してほしい。

ONE OF ANOTHER KIND

by FREDDIE HUBBARD

Copyright © by HUBTONES MUSIC CO.

C
Trumpet (In B♭)
T.Sax (In B♭)
Piano
Bass
F △7 (+11)
Am7
Drums
Dm9 (11)
B♭△9

A♭7
G♭
Dm7
G
8va
(11)
Amg
A♭△7
G7
Fm7

tr
Dm7
3
3
D
(+11)
F△7
Am7
Dm9
(11)
B♭△9

A♭7
G♭
Dm7
G
(11)
Amg
8va
A♭△7
G7
Fm7

E
Dmg
Am7
Dmg

F
B♭△9
H-H
Trumpet Solo
Bm7
A♭△7
Am7
Gm7
G
Bm7
A♭△7

Am7
Gm7
H
Bm7
A♭△7
Am7
Gm7
I
Bm7
A♭△7
Am7

Gm7
F△7(+11)
8va
J
Bm7
A♭△7
Am7
Gm7
K
Bm7
A♭△7
3
Am7
Gm7
tr
tr
tr
tr
L
Bm7

tr
A♭△7
Am7
Gm7
M
Bm7
A♭△7
Am7
Gm7
N
Bm7
A♭△7

Am7
Gm7
O
Bm7
A♭△7
Am7
Gm7
P
Bm7
A♭△7
Am7


Q
Vamp
8va
R
Soprano Sax Solo
S
Piano Solo
T
Drums Solo
U
Theme

EIGHTY ONE

エイティ・ワン

Music by Ron Carter & Miles Davis

ロン・カーターの作曲によるもので、マイルス・デイヴィスのアルバム『E.S.P.』にも収められており、フレディー・ハバード以外全てこのV.S.O.P.のメンバーであるから興味深い。'78年の田園コロシアムのライヴ・アルバム『熱狂のコロシアム』からの採譜。

LAYOUT

曲の形式としては、テーマ部がA(12小節) A(12小節) の変形ブルースで、テーマ以降のアドリブは普通のブルース・コード進行になっている。

■テーマ部のコード進行

‖:	F		𝄎		𝄎		𝄎			
	$B\flat_7$		𝄎		F		𝄎			
	$\frac{Gm7}{C}$		$\frac{Fm7}{B\flat}$		$G\flat_{\triangle 7}^{(+11)}$		𝄎			:‖

■アドリブ部のコード進行

‖:	F		$B\flat_7$		F		F_7			
	$B\flat_7$		𝄎		F		Am_7	D_7		
	Gm_7		C_7		F		𝄎			:‖

リズムはテーマ部とアドリブ部とでは異っており、テーマ部では16ビート・アドリブ部ではミディアムの4ビートとなっている。

譜面での構成は次の通り。

Ⓐ……テーマ

Ⓑ……トランペット・ソロ

Ⓒ……トランペット・ソロ（倍テンポ）

Ⓓ……ソプラノ・サックス・ソロ

Ⓔ……ベース・ソロ

Ⓕ……ピアノ・ソロ

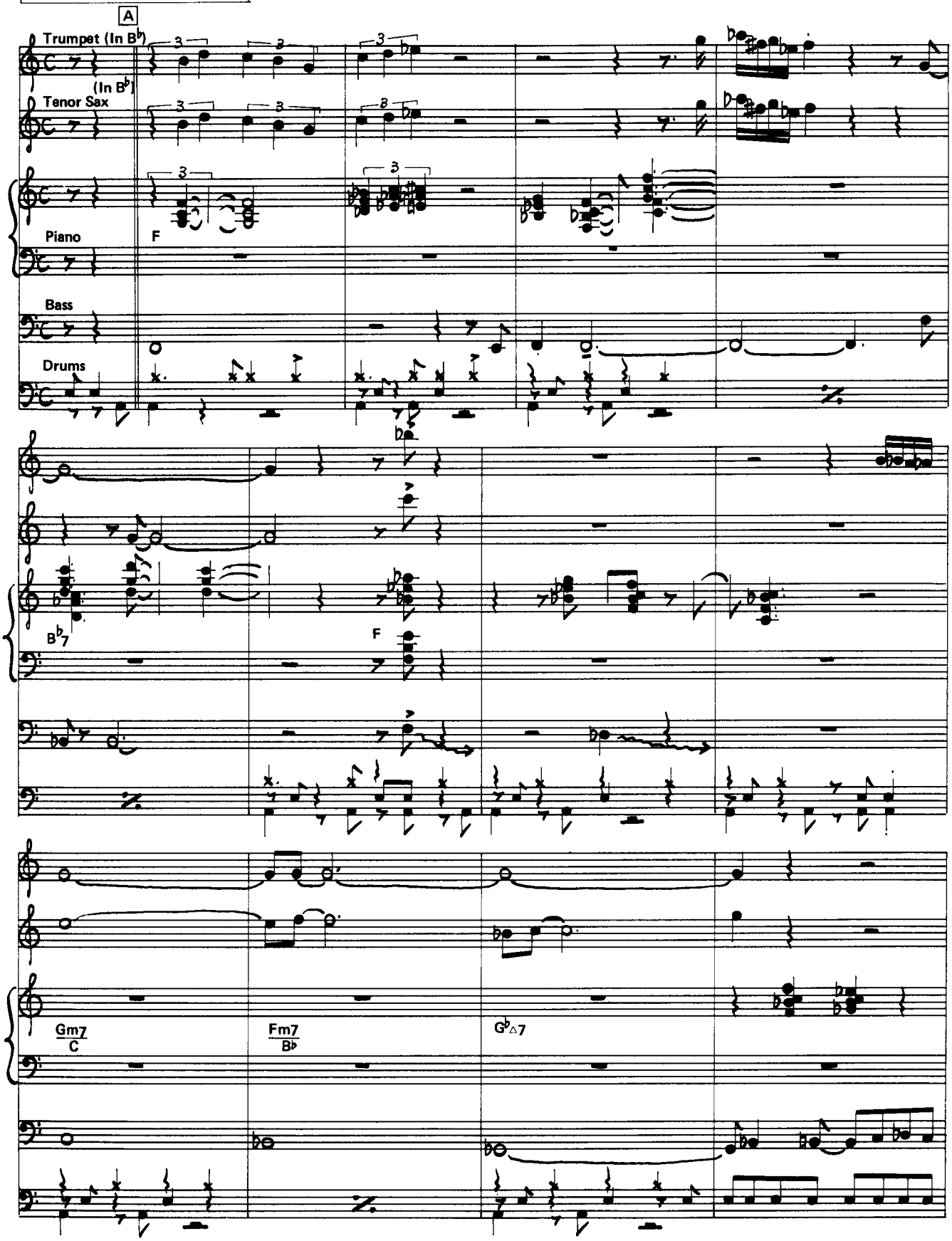
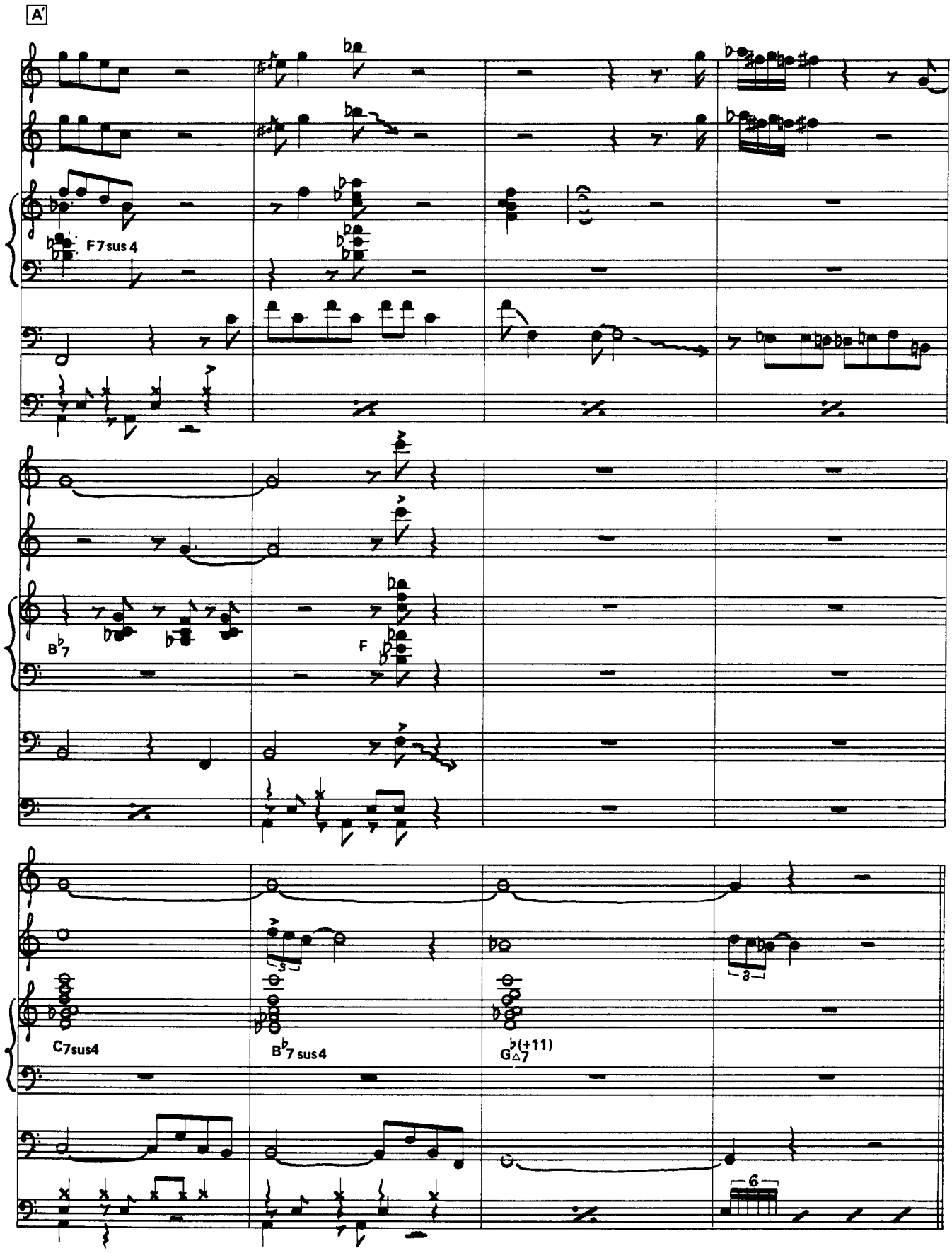
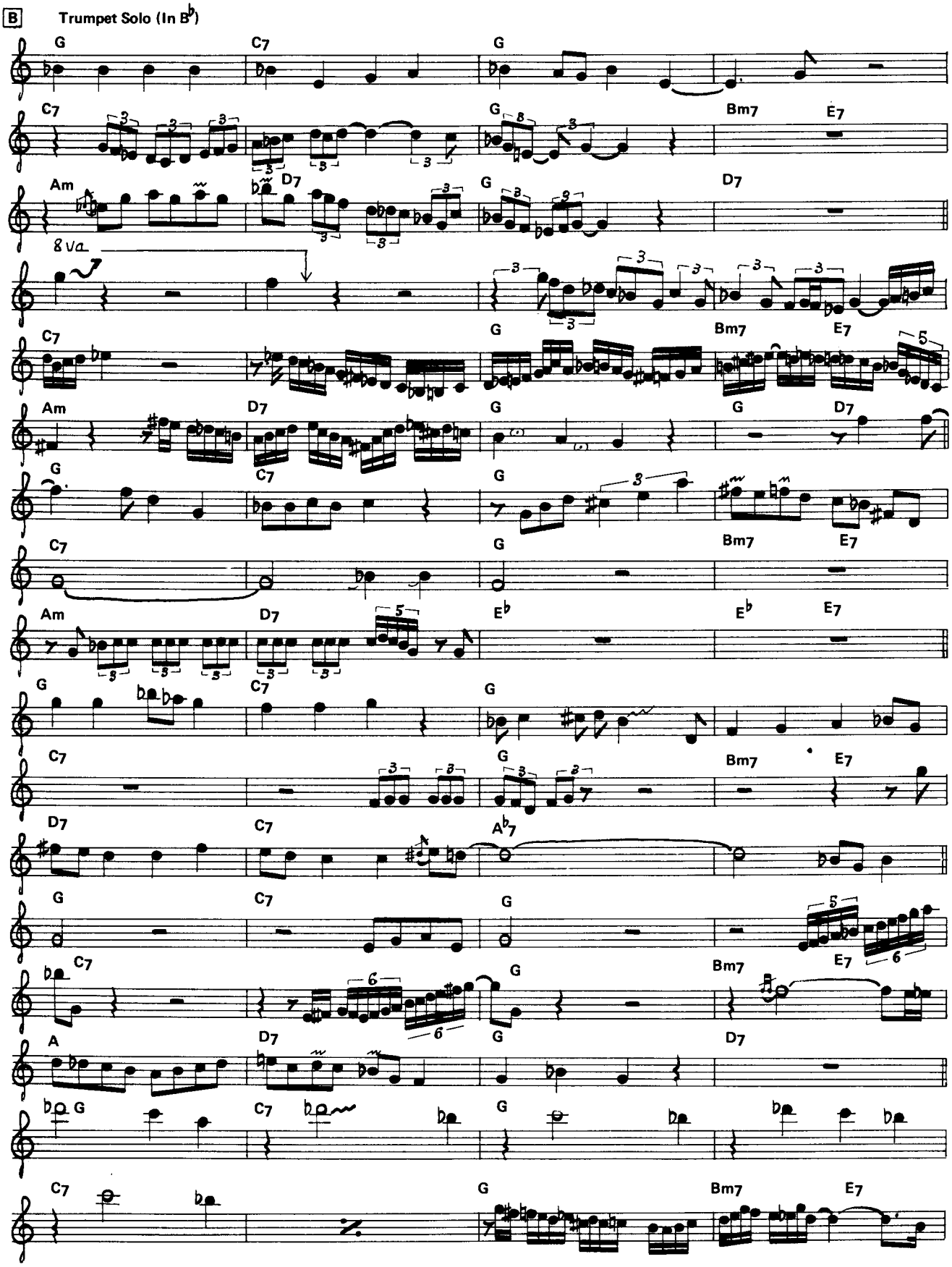
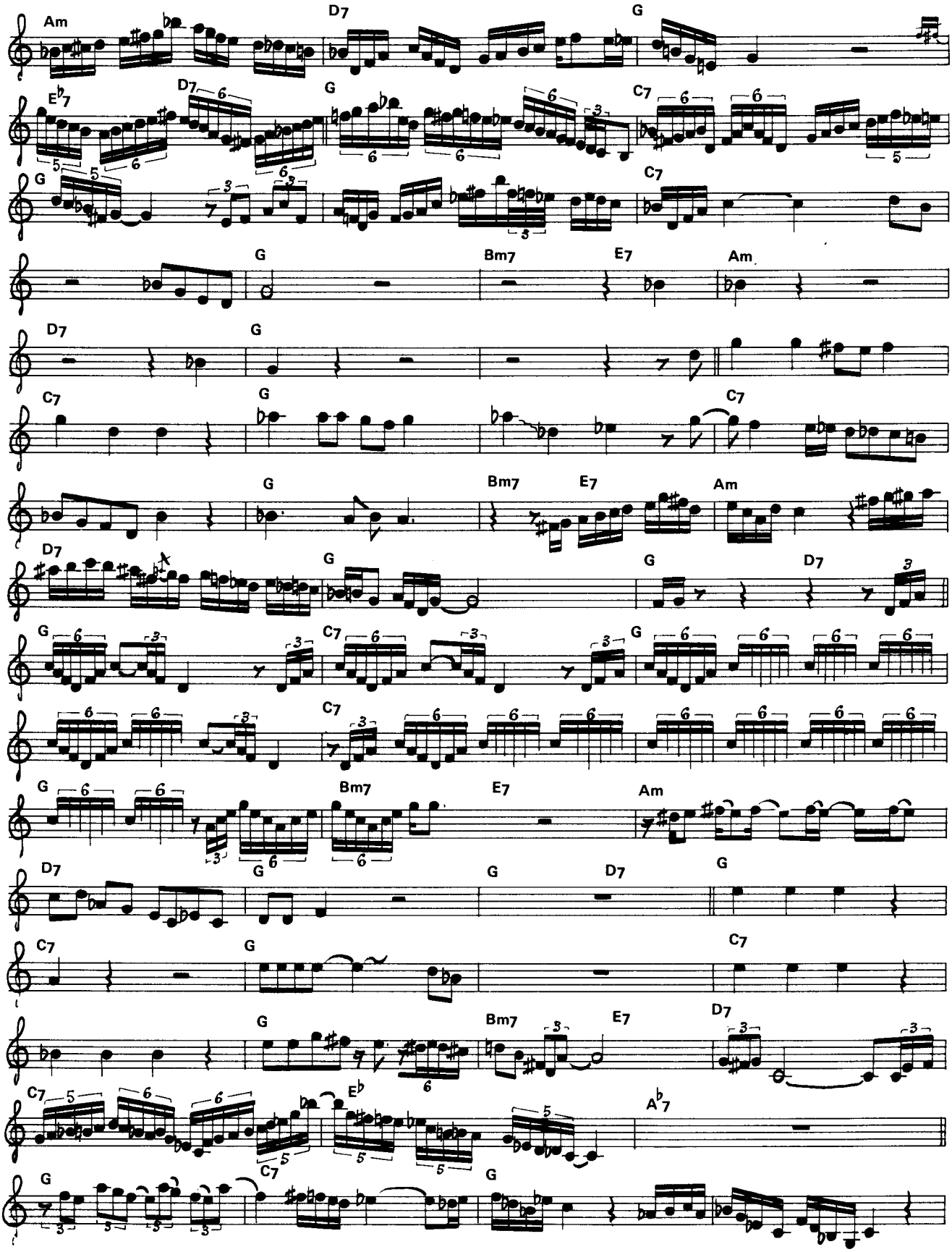
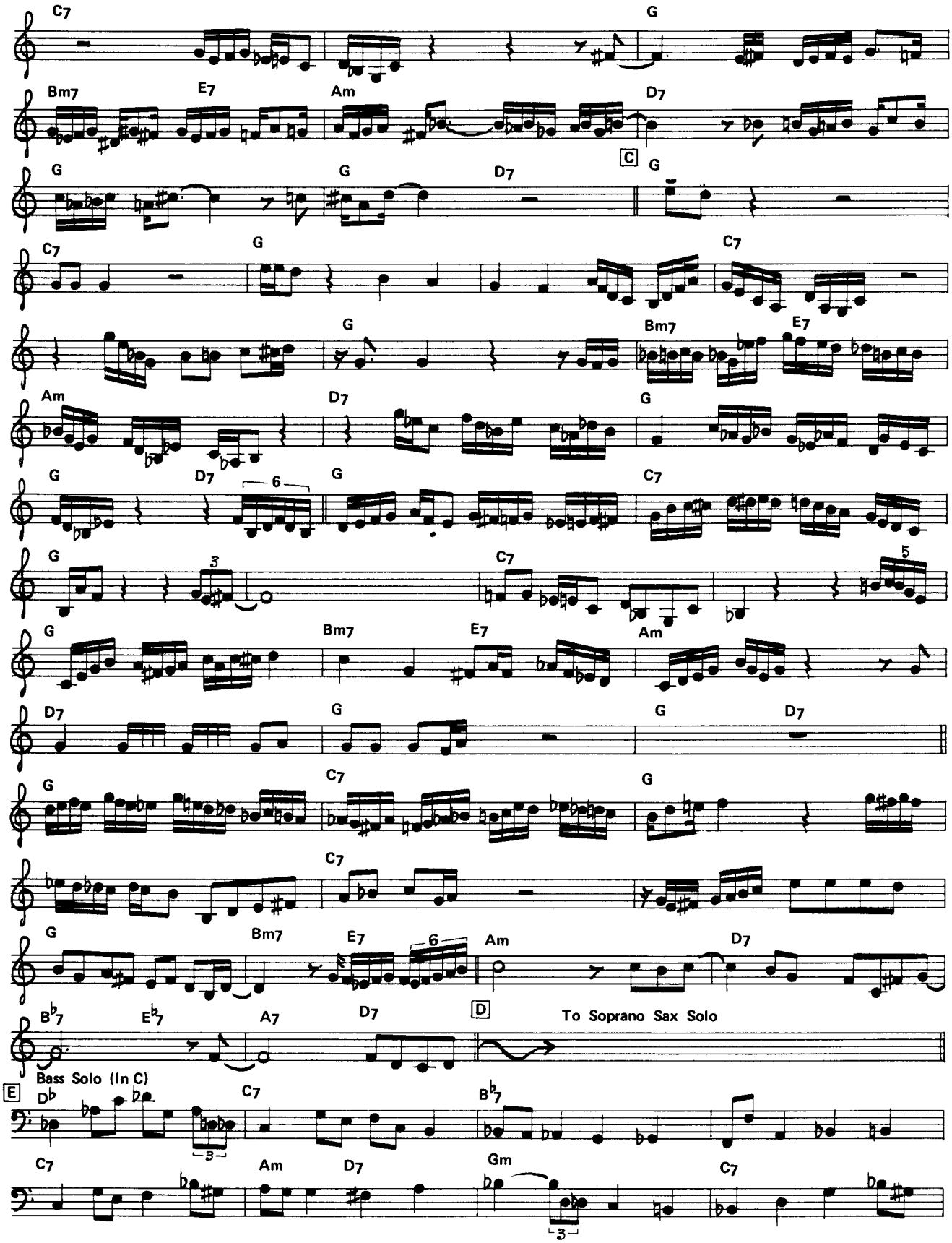
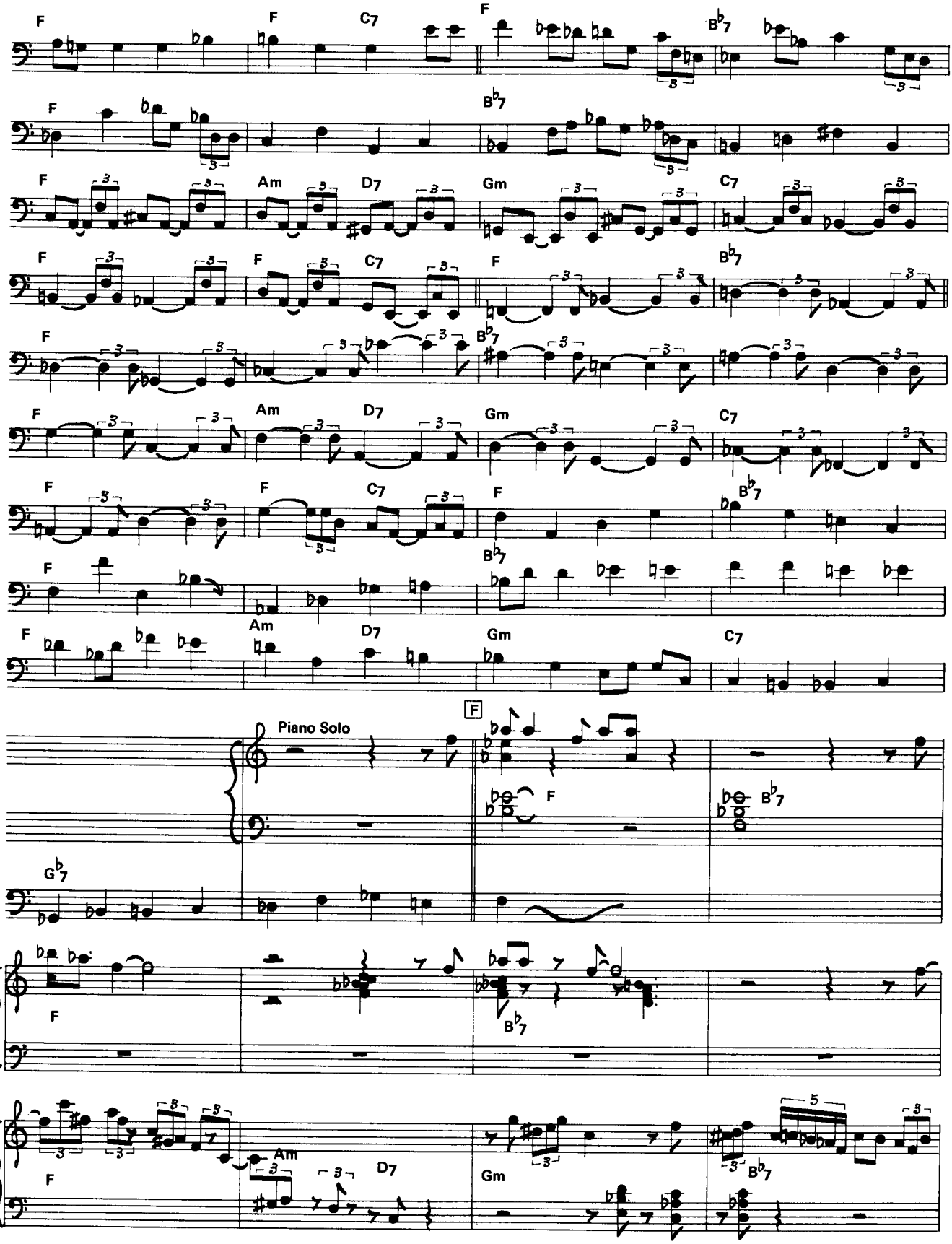
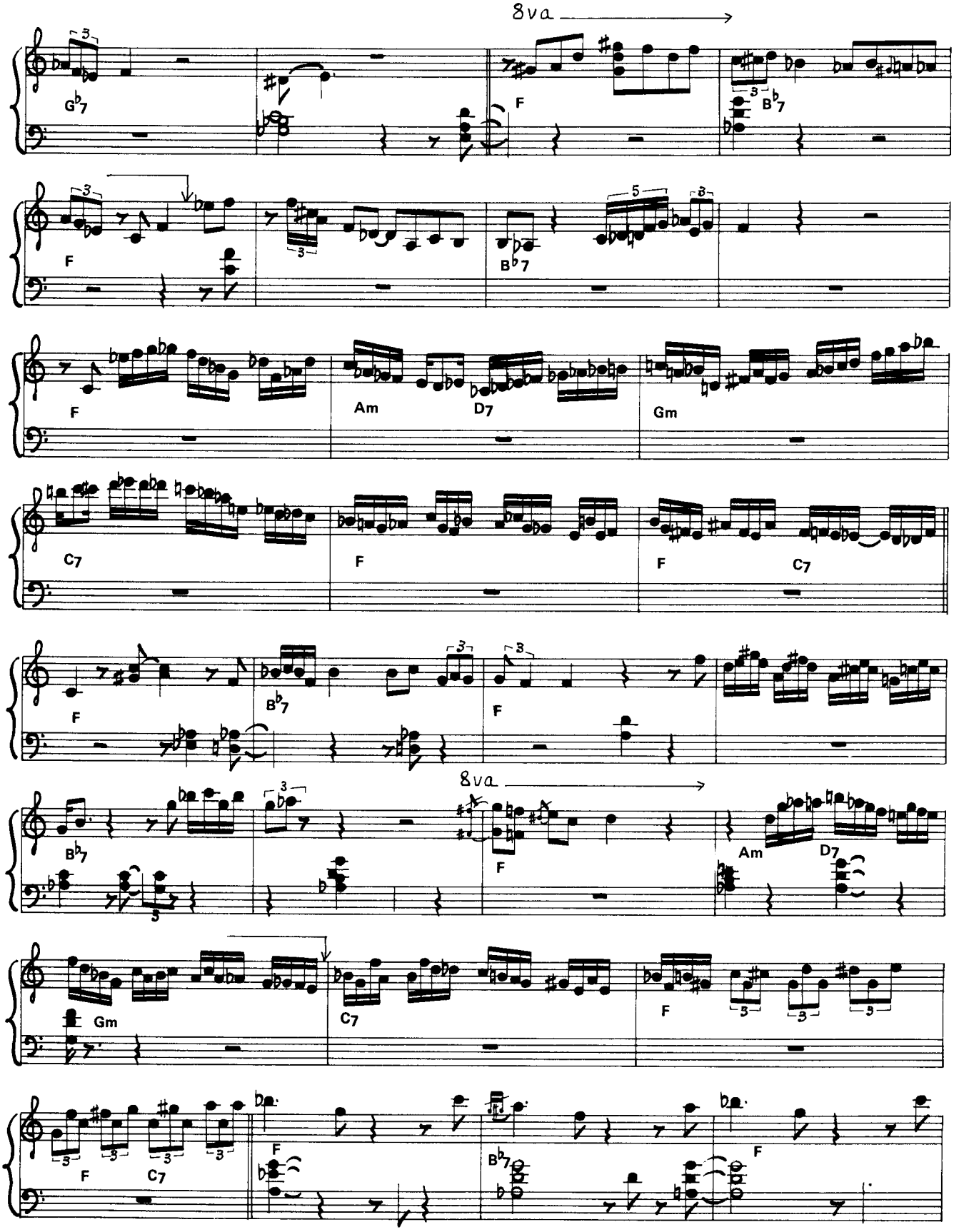
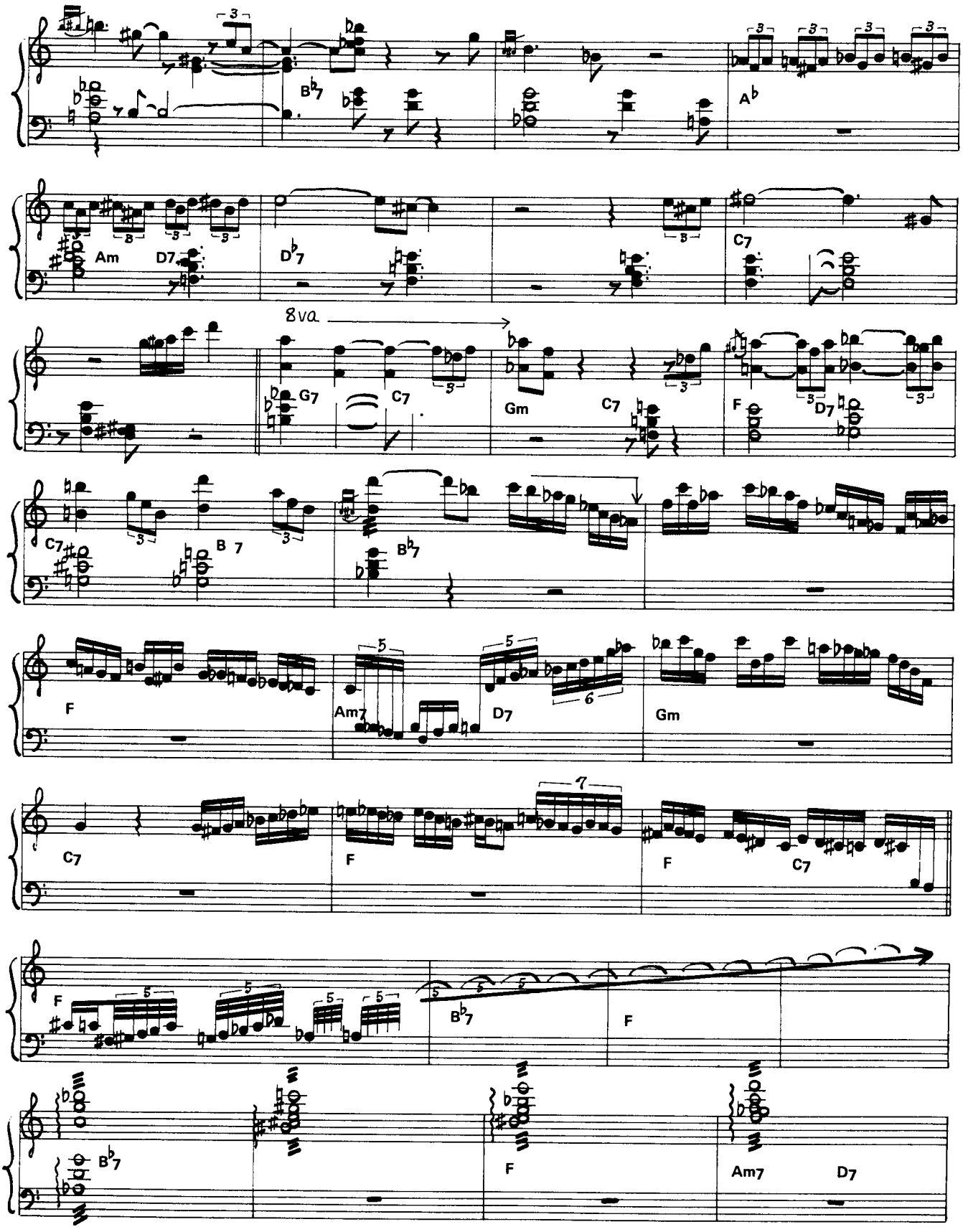
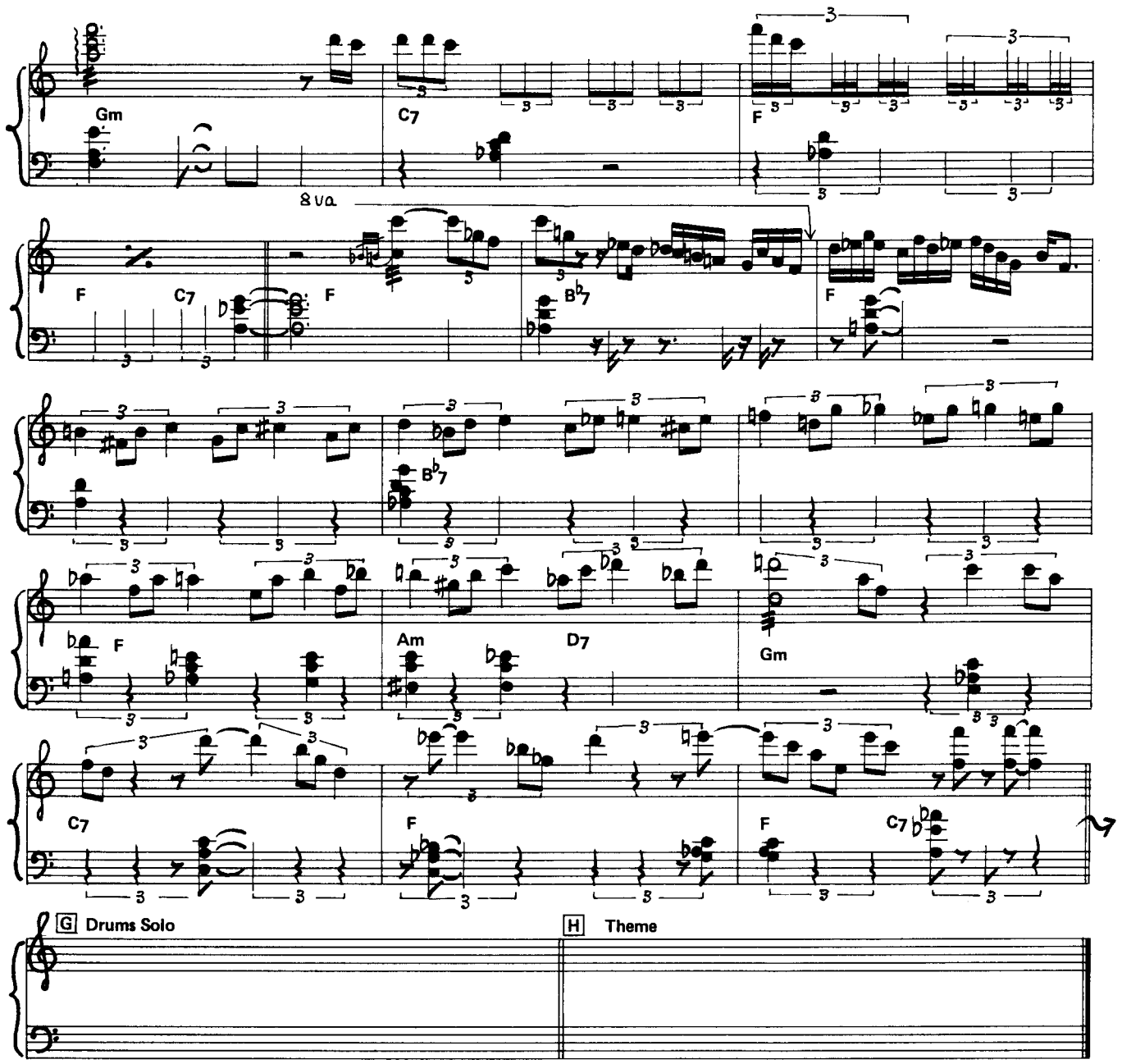
Ⓖ……ドラム・ソロ（省略）

Ⓗ……テーマ（省略）

IMPROVISATION

アドリブ部はごく一般的なブルース進行になっている。

EIGHTY ONE

by RON CARTER & MILES DAVIS

Copyright©by MUSICAL FRONTIERS PUBLISHING CO., LTD.
Rights For Japan Assigned to APRIL MUSIC INC. (Japan)

A'
F7sus4
B♭7
F
C7sus4
B♭7sus4
G△7♭(+11)

B
Trumpet Solo (In B♭)
8va

Am
D7
G
E♭7
D7
G
C7
G
C7
G
Bm7
E7
Am
D7
G
C7
G
C7
G
Bm7
E7
Am
D7
G
G
D7
G
C7
G
C7
G
Bm7
E7
Am
D7
G
G
D7
G
C7
G
G
Bm7
E7
D7
C7
E♭
A♭7
G
C7
G

C7
G
Bm7
E7
Am
D7
C
G
G
G
D7
C7
G
C7
G
Bm7
E7
Am
D7
G
G
D7
6
G
C7
G
3
C7
5
G
Bm7
E7
Am
D7
G
G
D7
G
C7
G
C7
G
Bm7
E7
6
Am
D7
B♭7
E♭7
A7
D7
D
To Soprano Sax Solo
Bass Solo (In C)
E
D♭
C7
B♭7
3
C7
Am
D7
Gm
C7
3

F
C7
B♭7
Am
D7
Gm
Piano Solo
G♭7

8va
G♭7
F
B♭7
F
B♭7
F
Am
D7
Gm
C7
F
F
C7
F
B♭7
F
B♭7
8va
F
Am
D7
Gm
C7
F
F
C7
F
B♭7
F

B♭7
A♭
Am
D7
D♭7
C7
8va
G7
C7
Gm
C7
F
D7
C7
B 7
B♭7
F
Am7
D7
Gm
C7
F
F
C7
F
B♭7
F
B♭7
F
Am7
D7

Gm
C7
F
8va
F
C7
F
B♭7
F
B♭7
F
Am
D7
Gm
C7
F
F
C7
G Drums Solo
H Theme

DOMO

ドーモ

Music by Herbie Hancock

'79年の田園コロシアムのライヴ・アルバム『ライヴ・アンダー・ザ・スカイ』より採譜。ハービー・ハンコック作曲によるファンキーな曲である。ヴァンプに変拍子的なリズム・ソリを取り入れた部分が面白い。

LAYOUT

譜面での構成は次の通りである。

A……イントロダクション

B～D…テーマ

E……テナー・サックス・ソロ

F……ヴァンプ（省略）

G……トランペット・ソロ（省略）

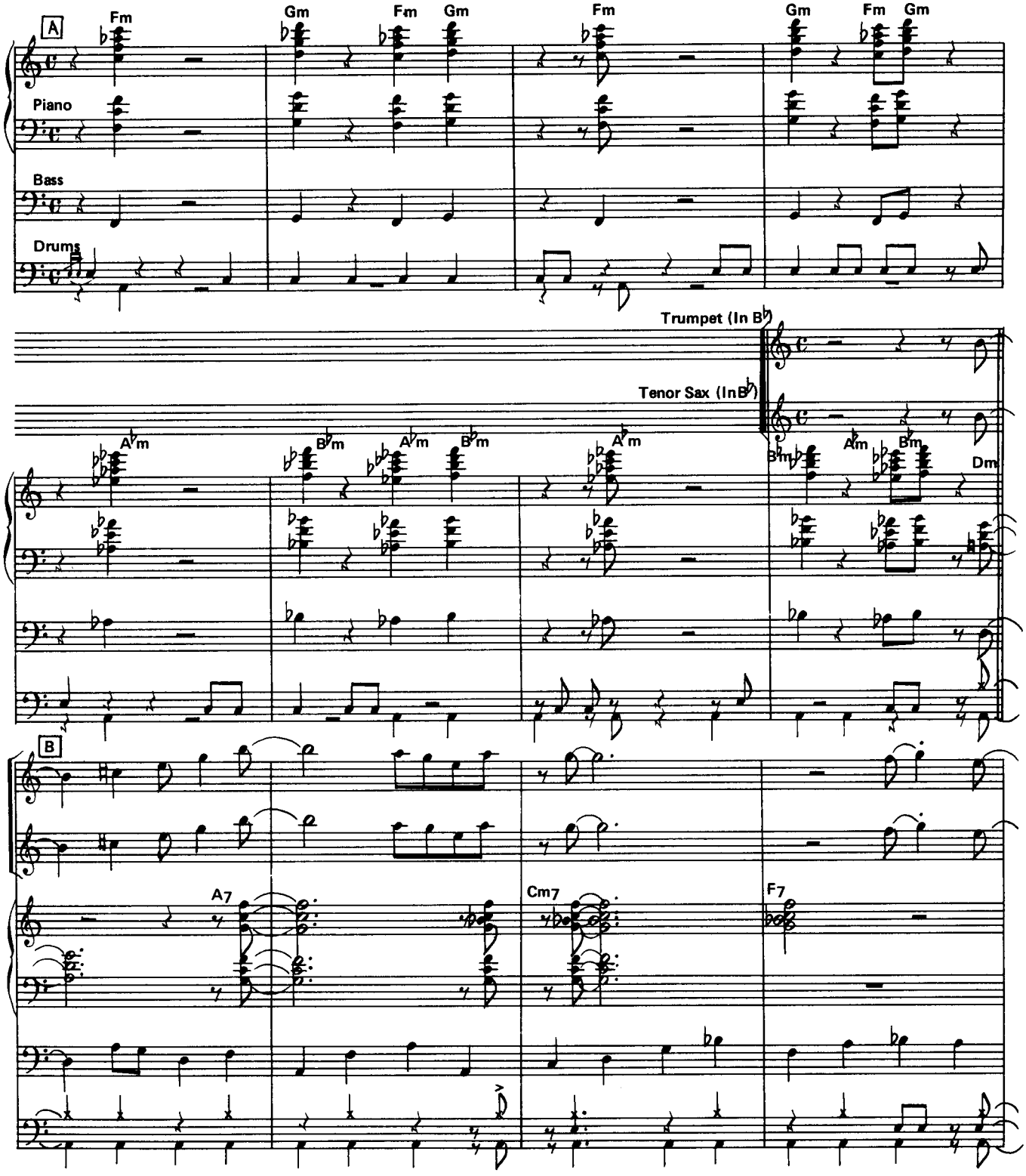
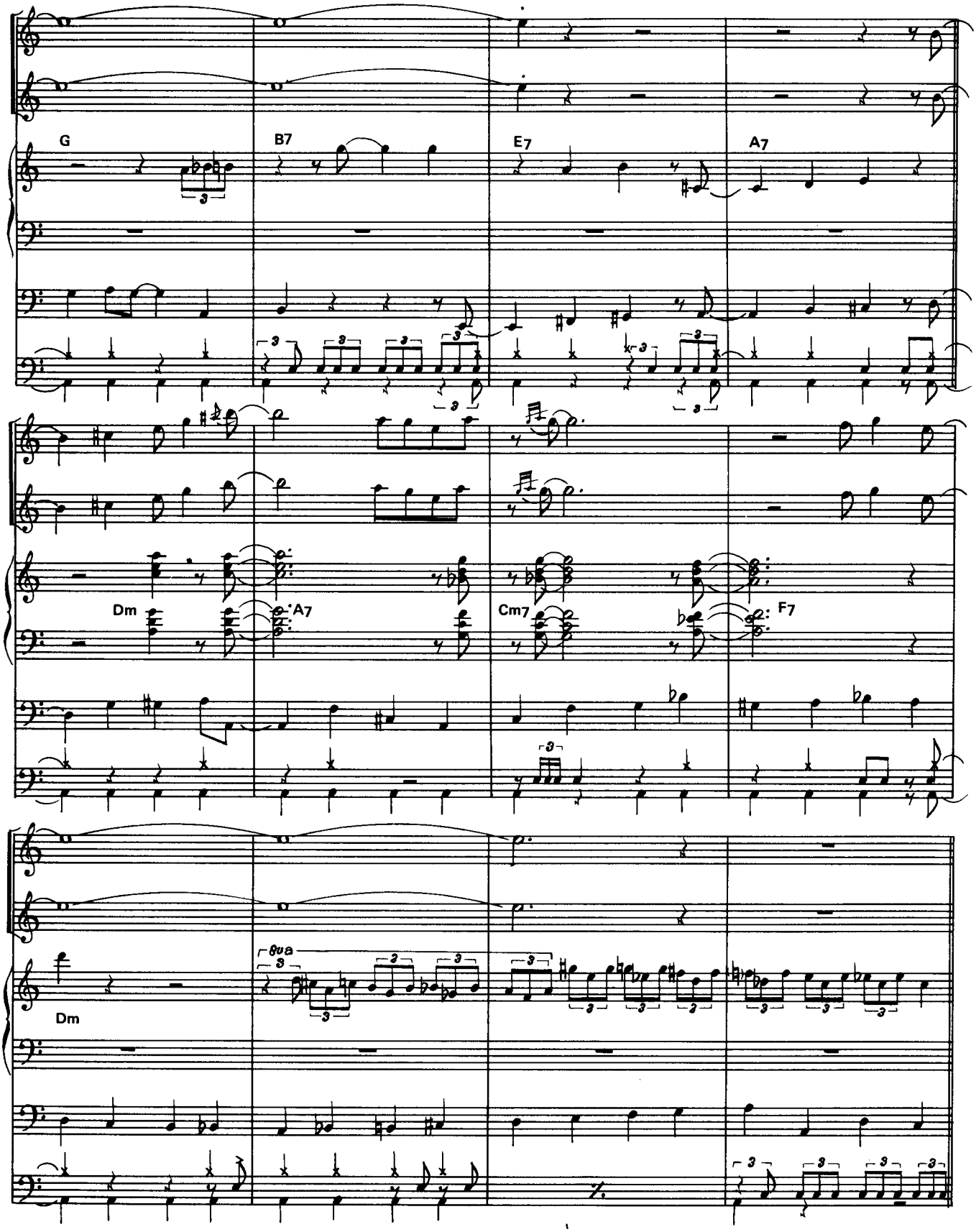
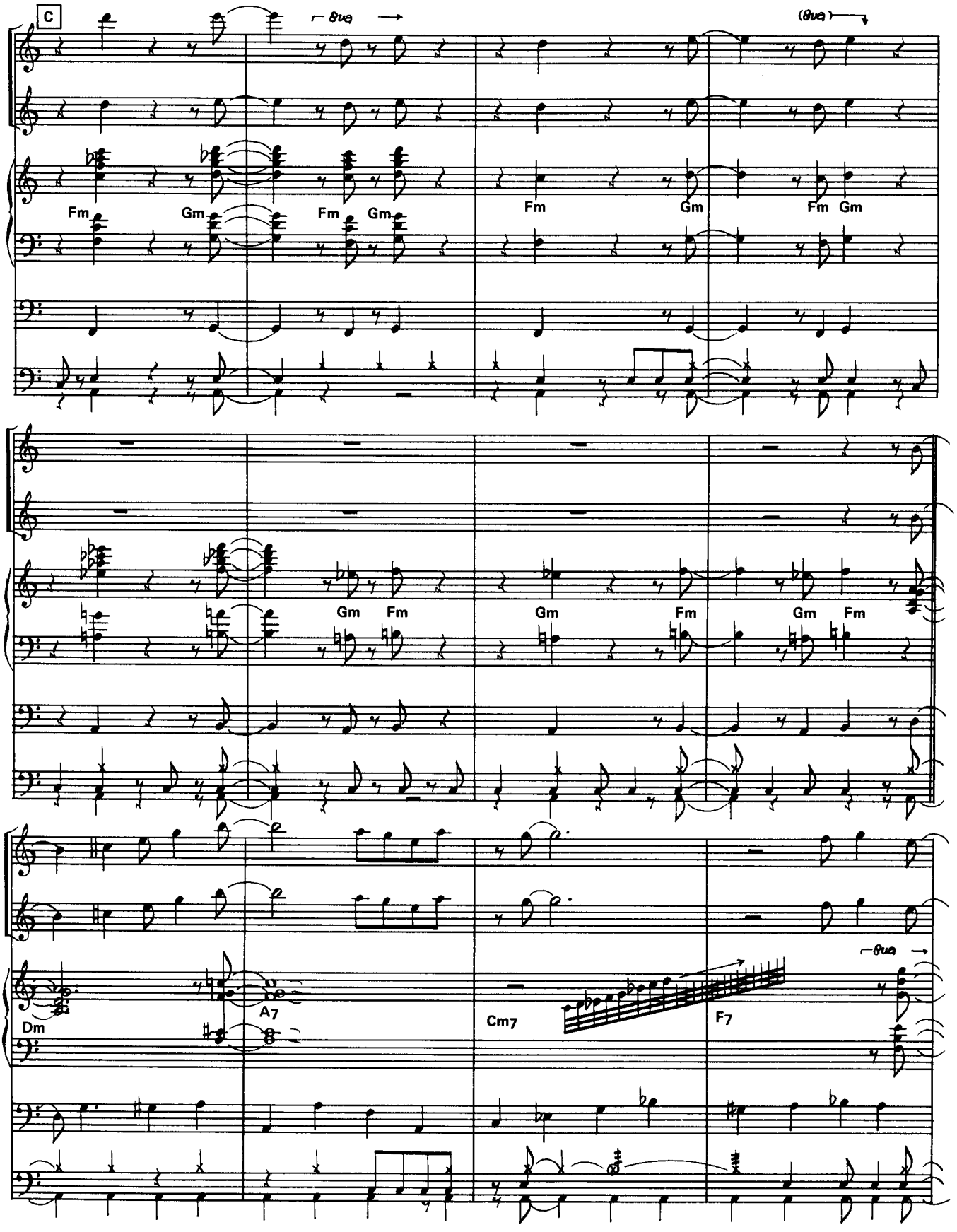
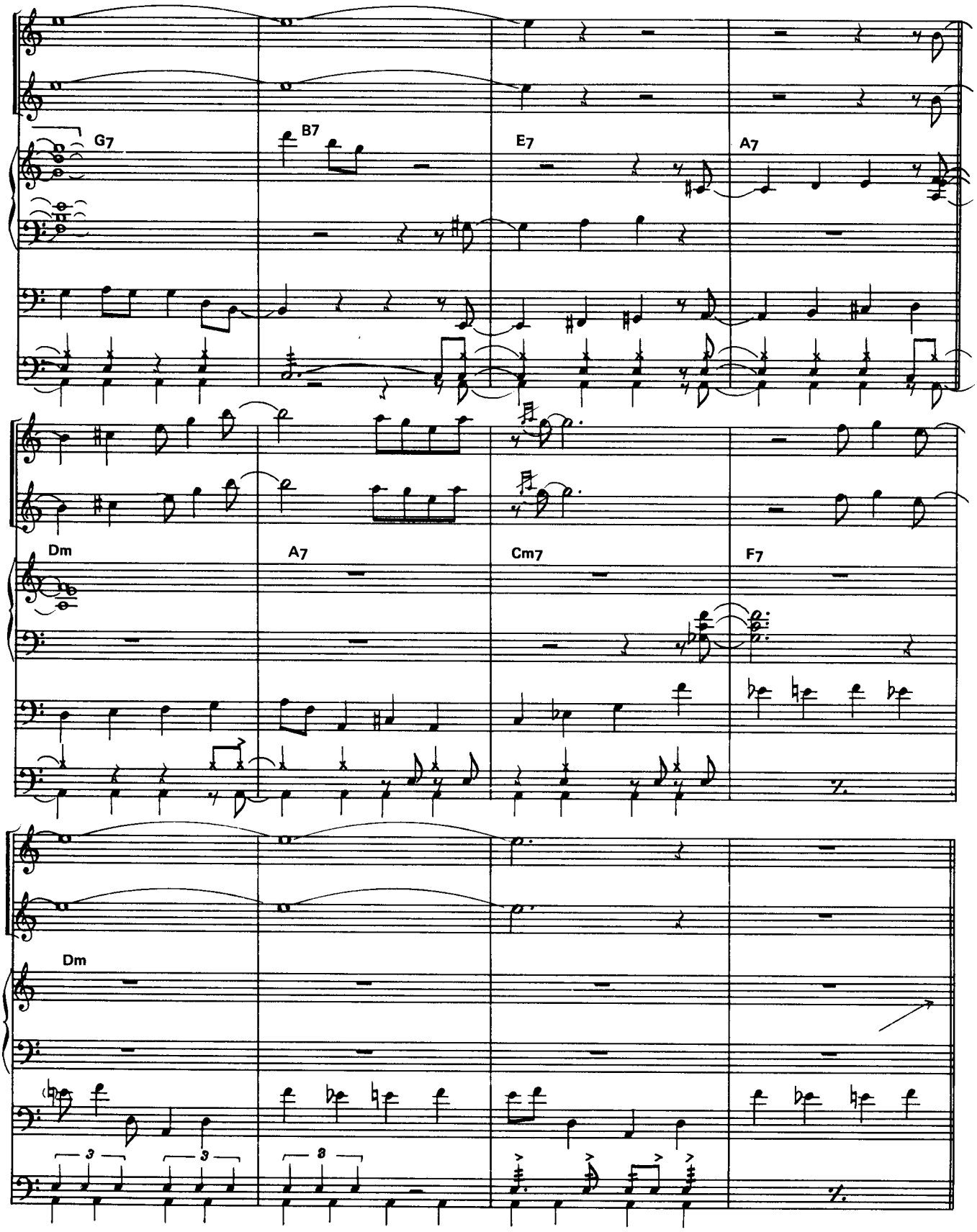
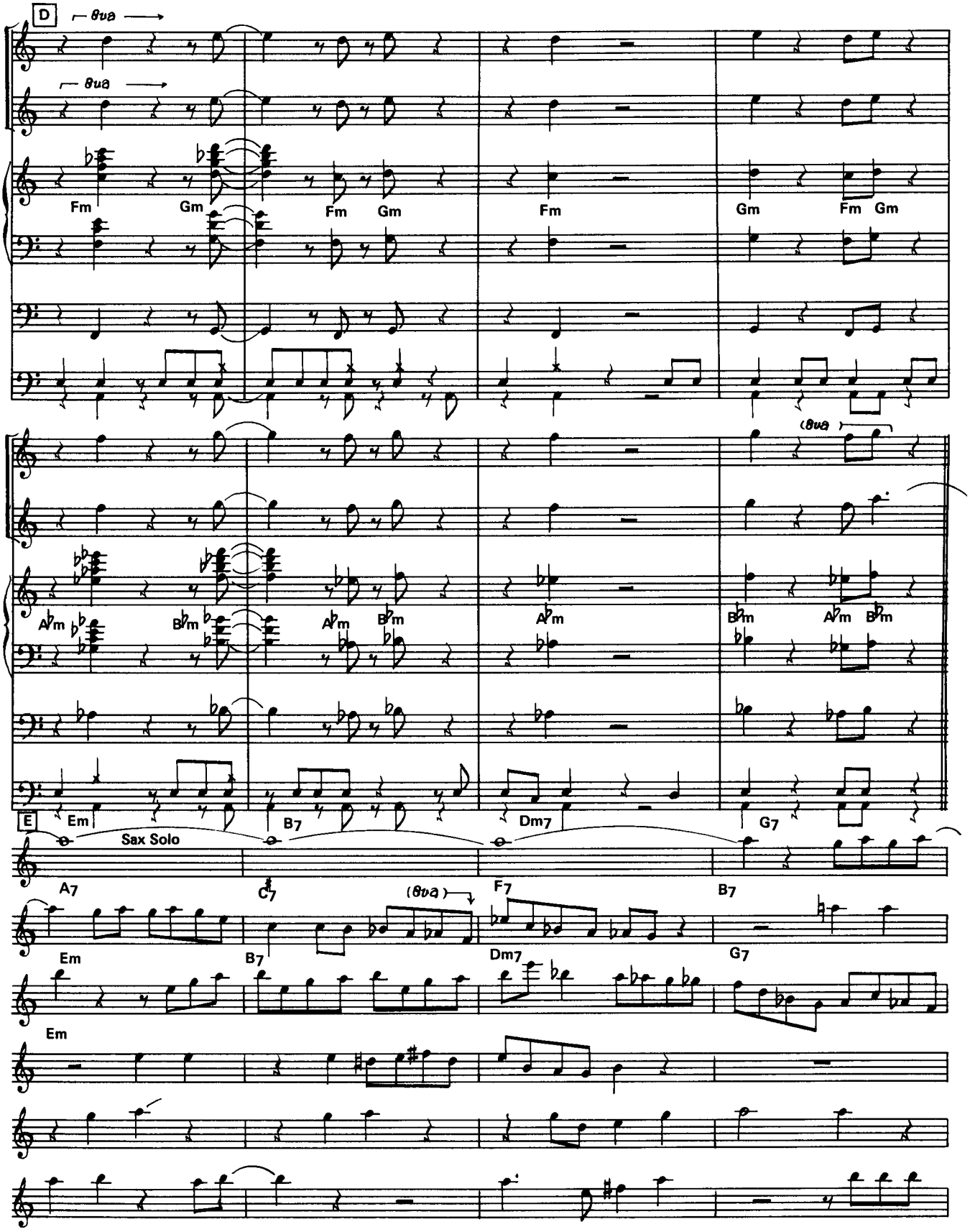
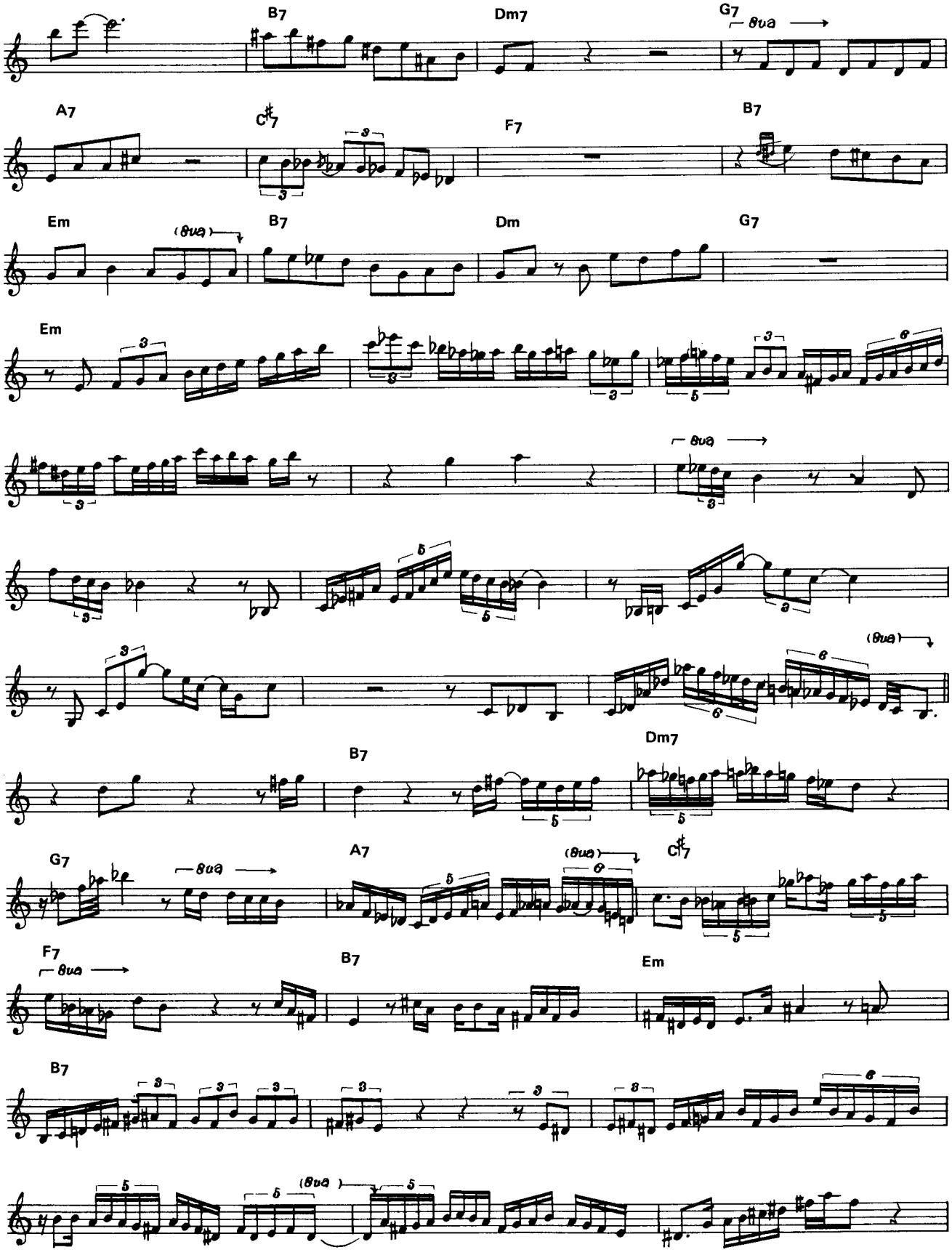
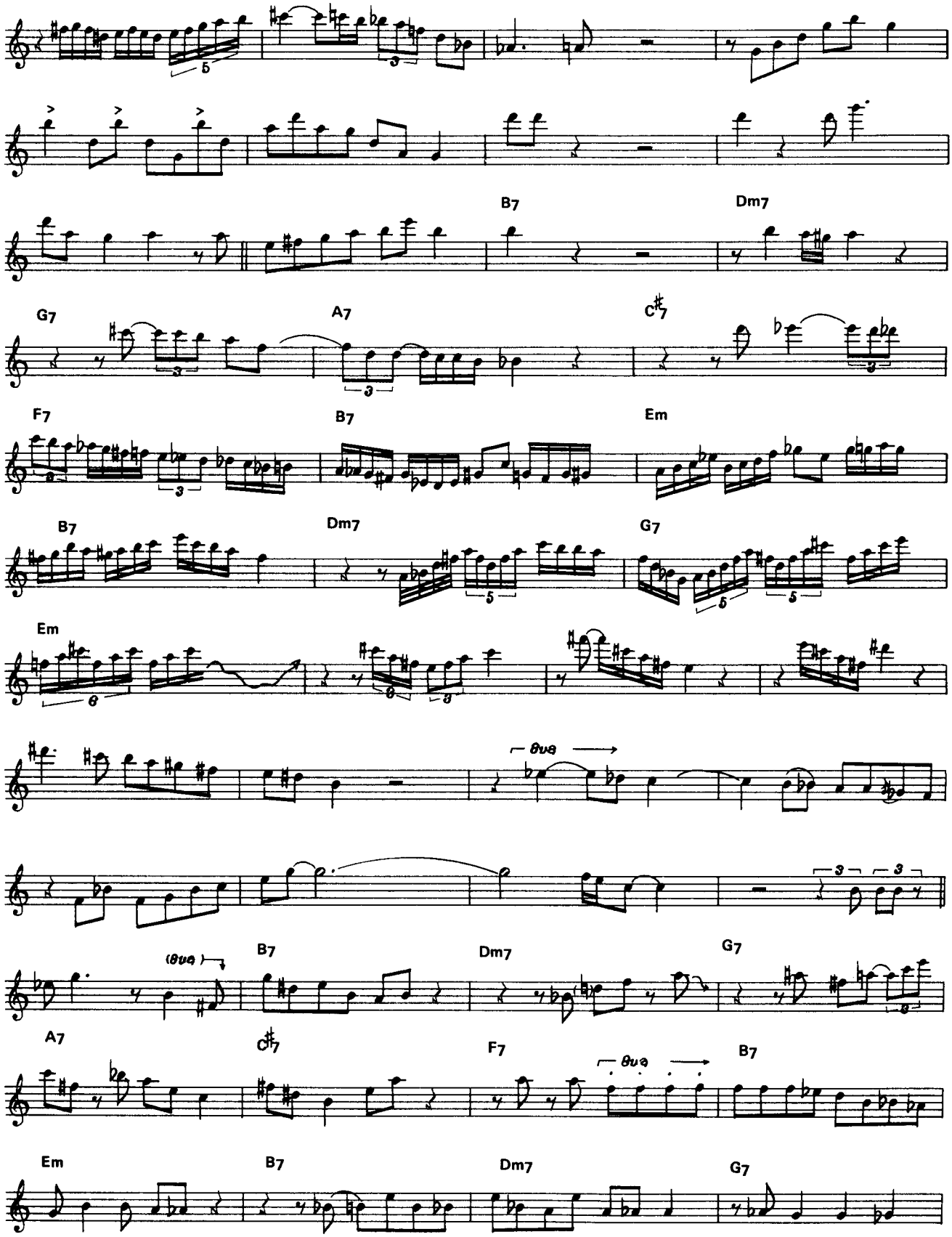
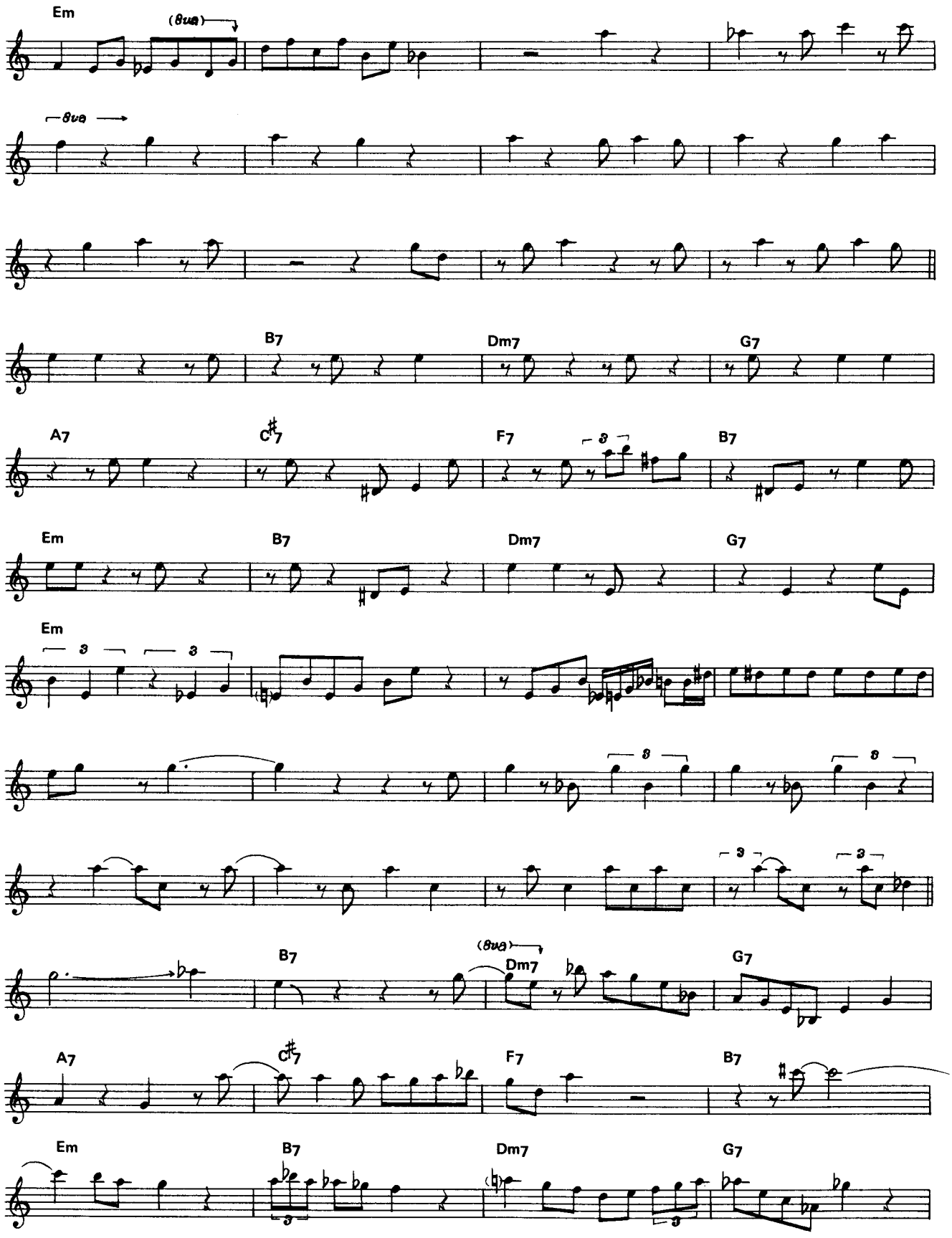
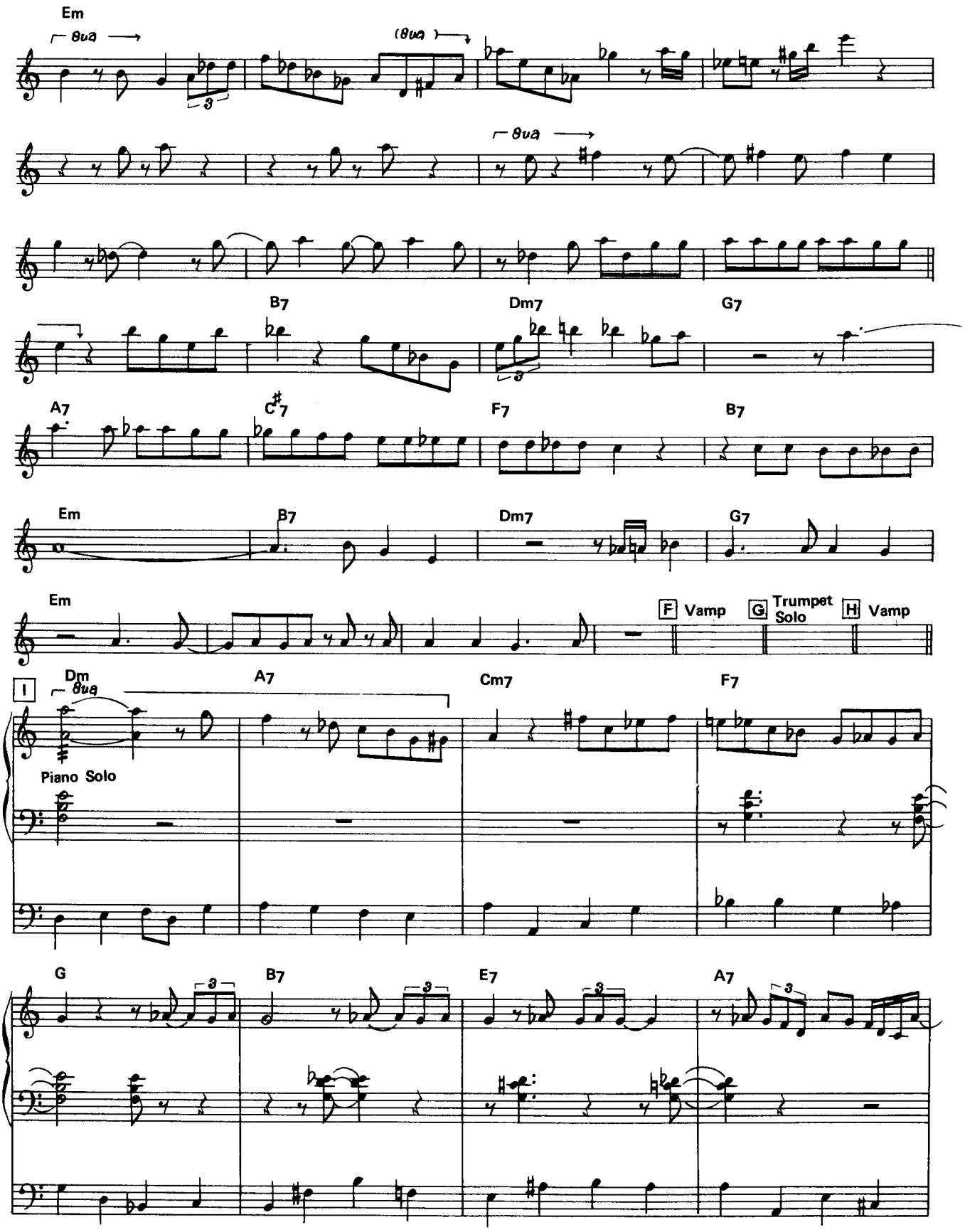
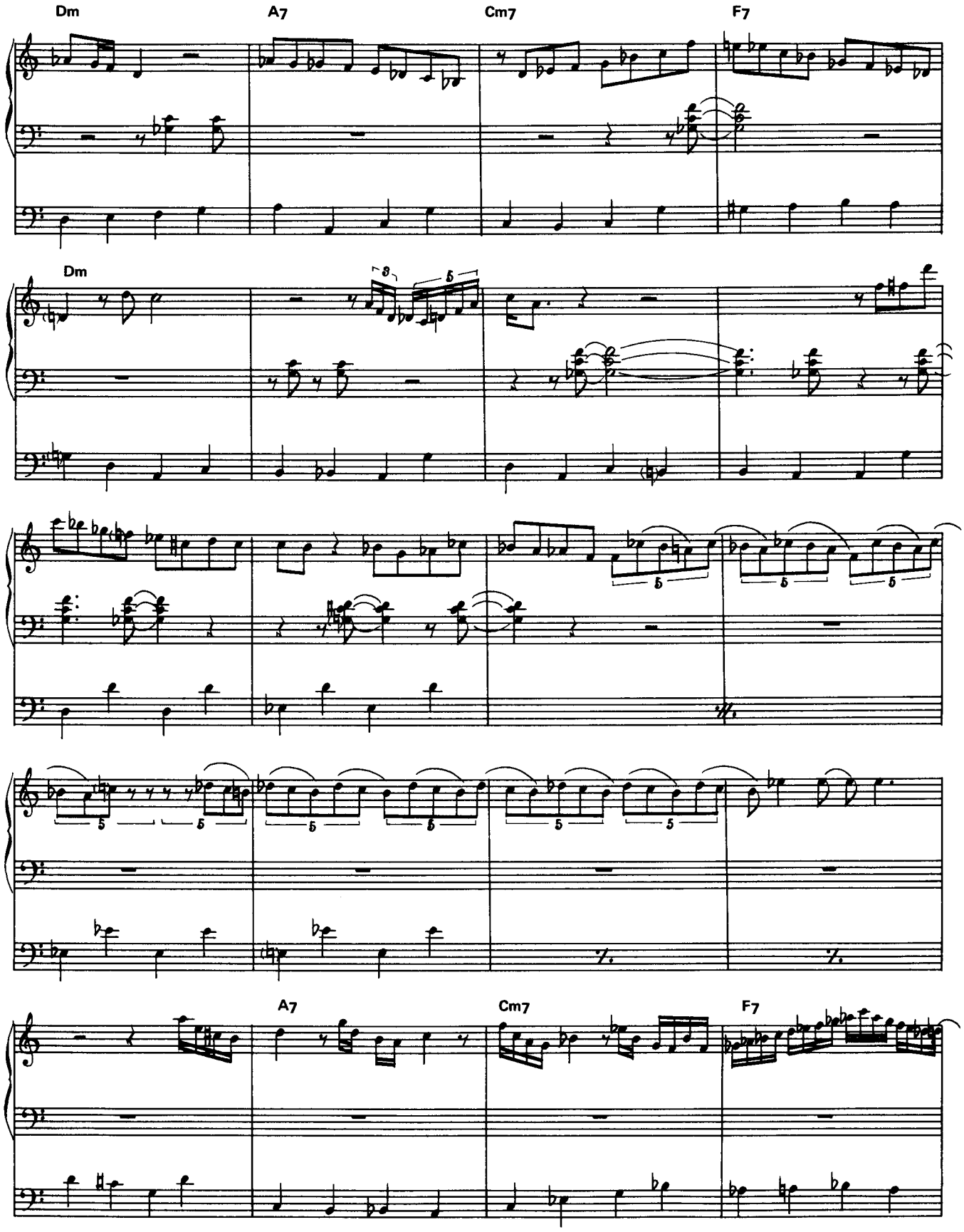
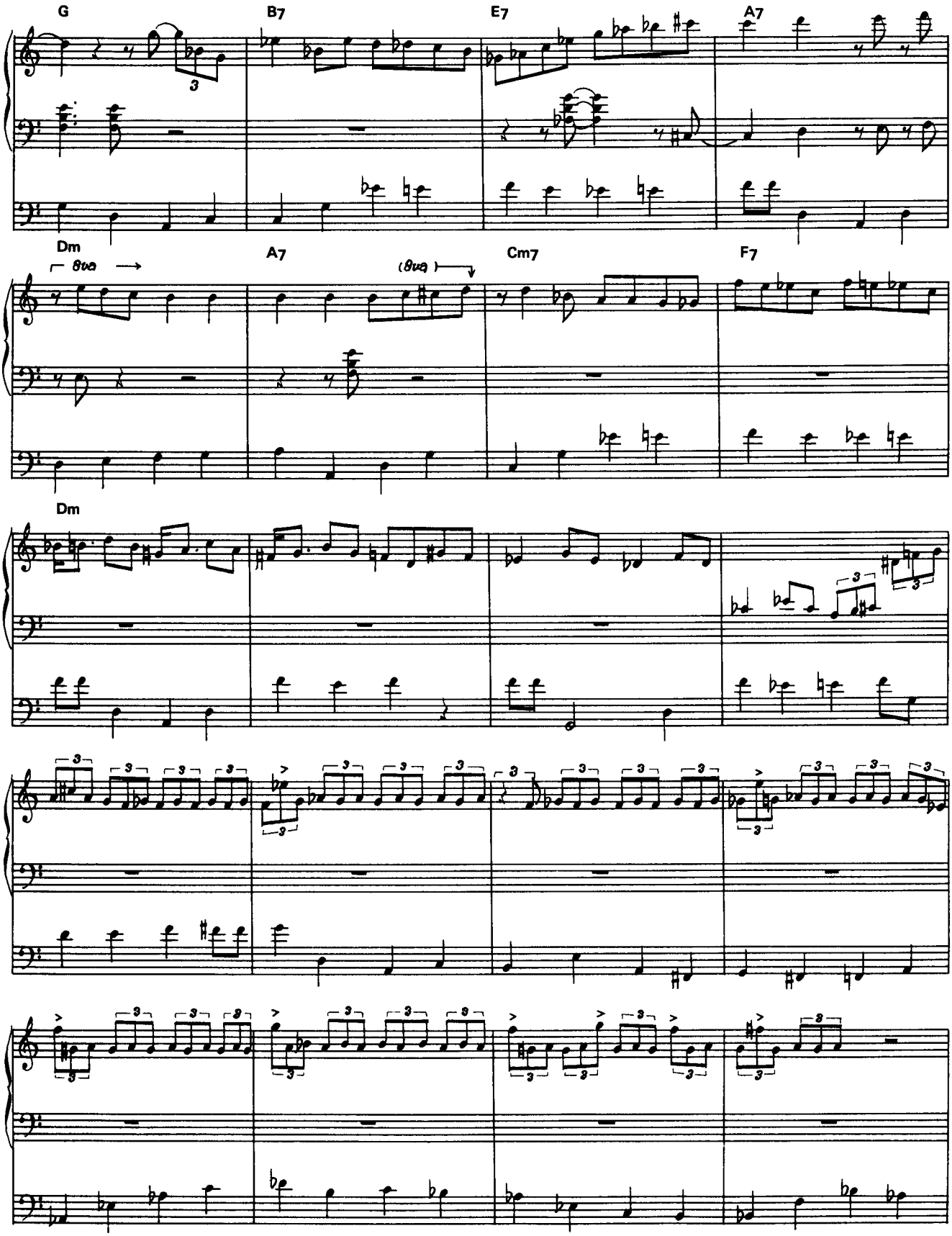
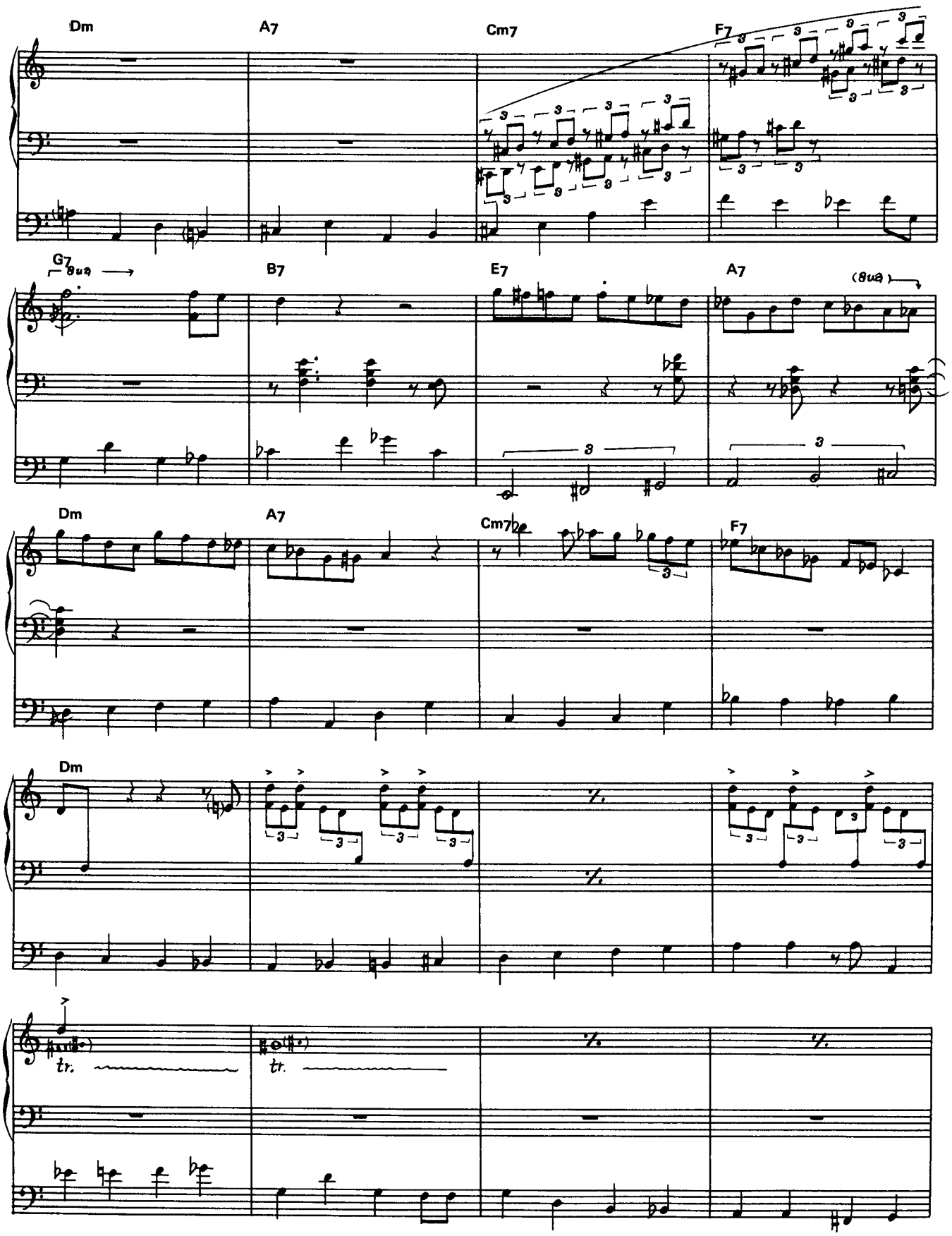
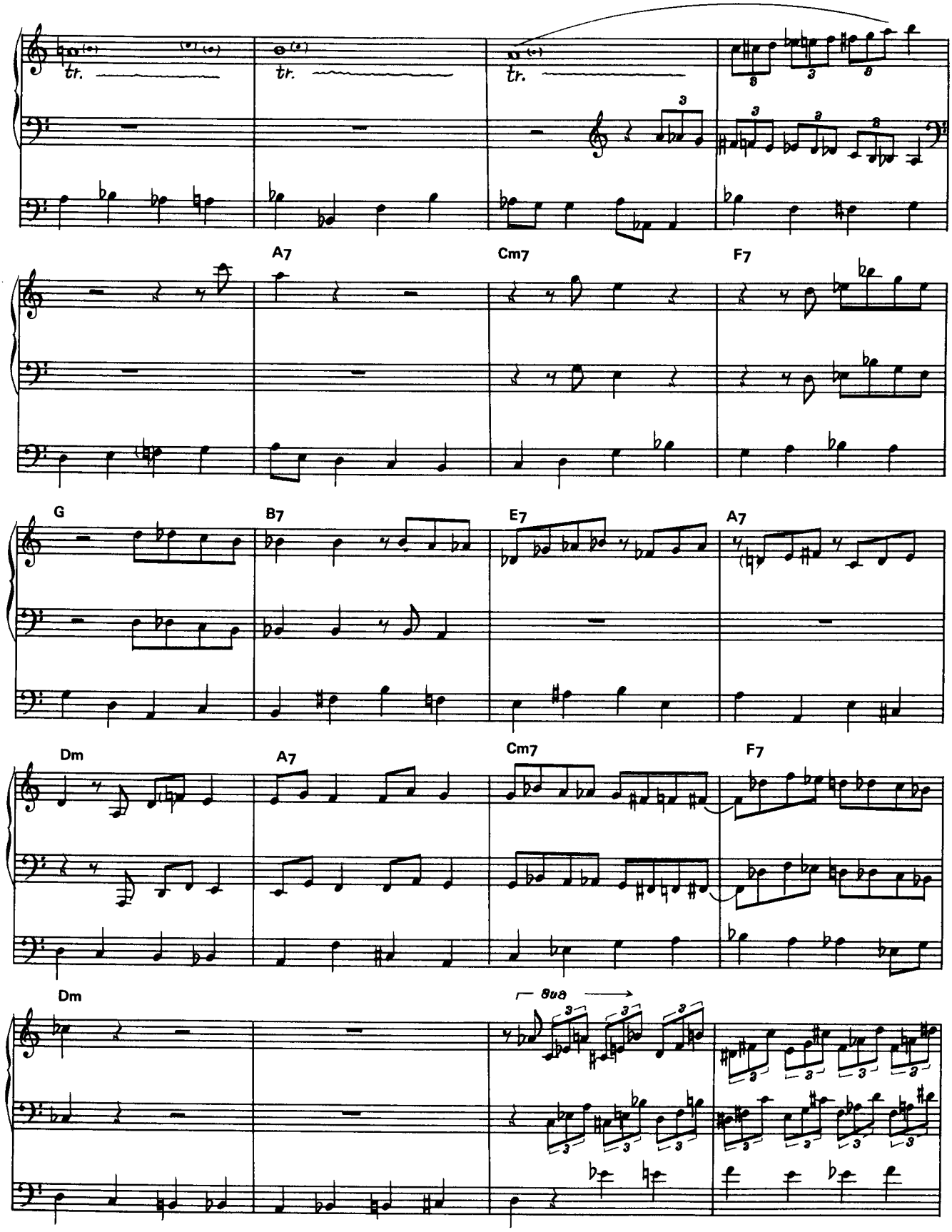
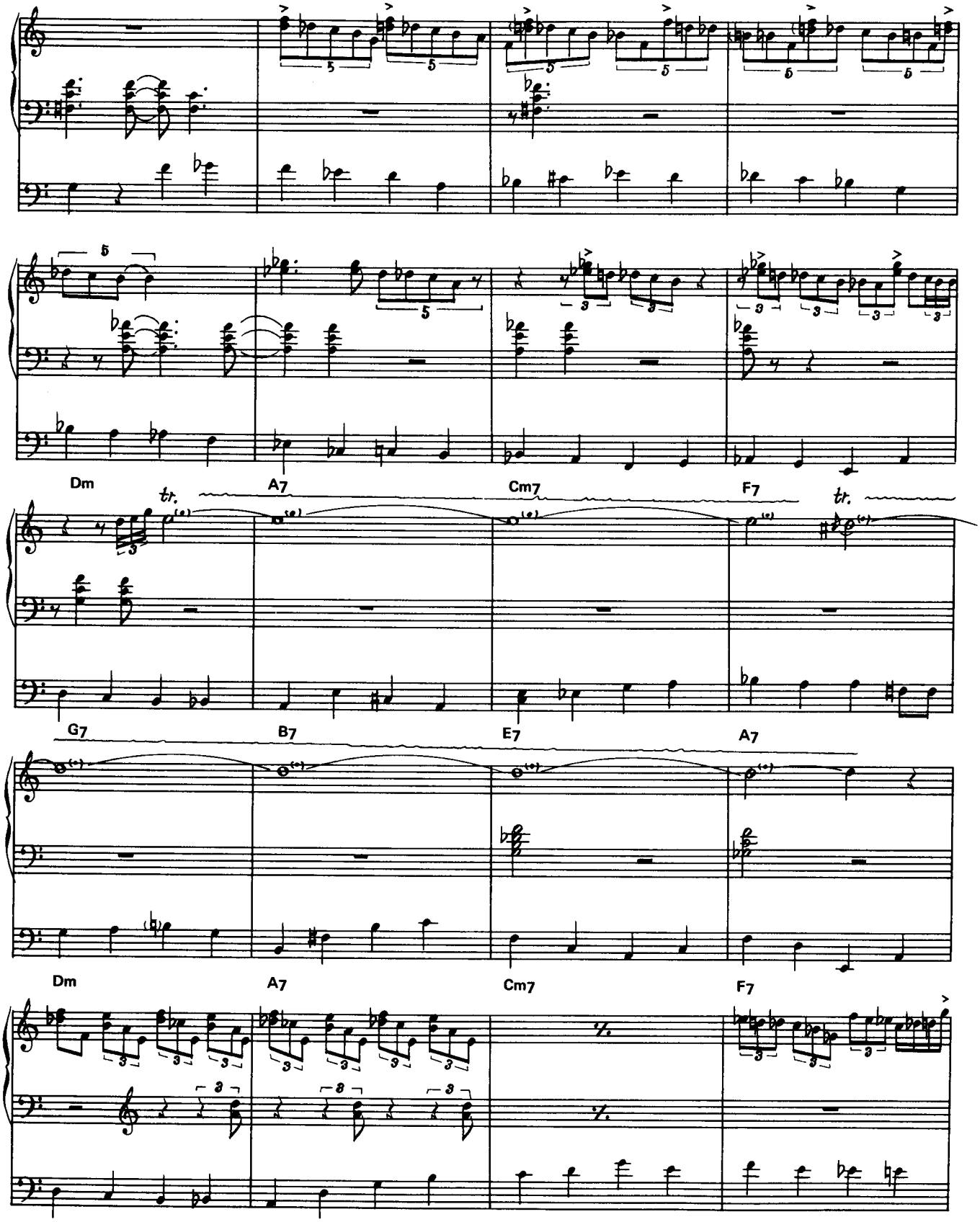
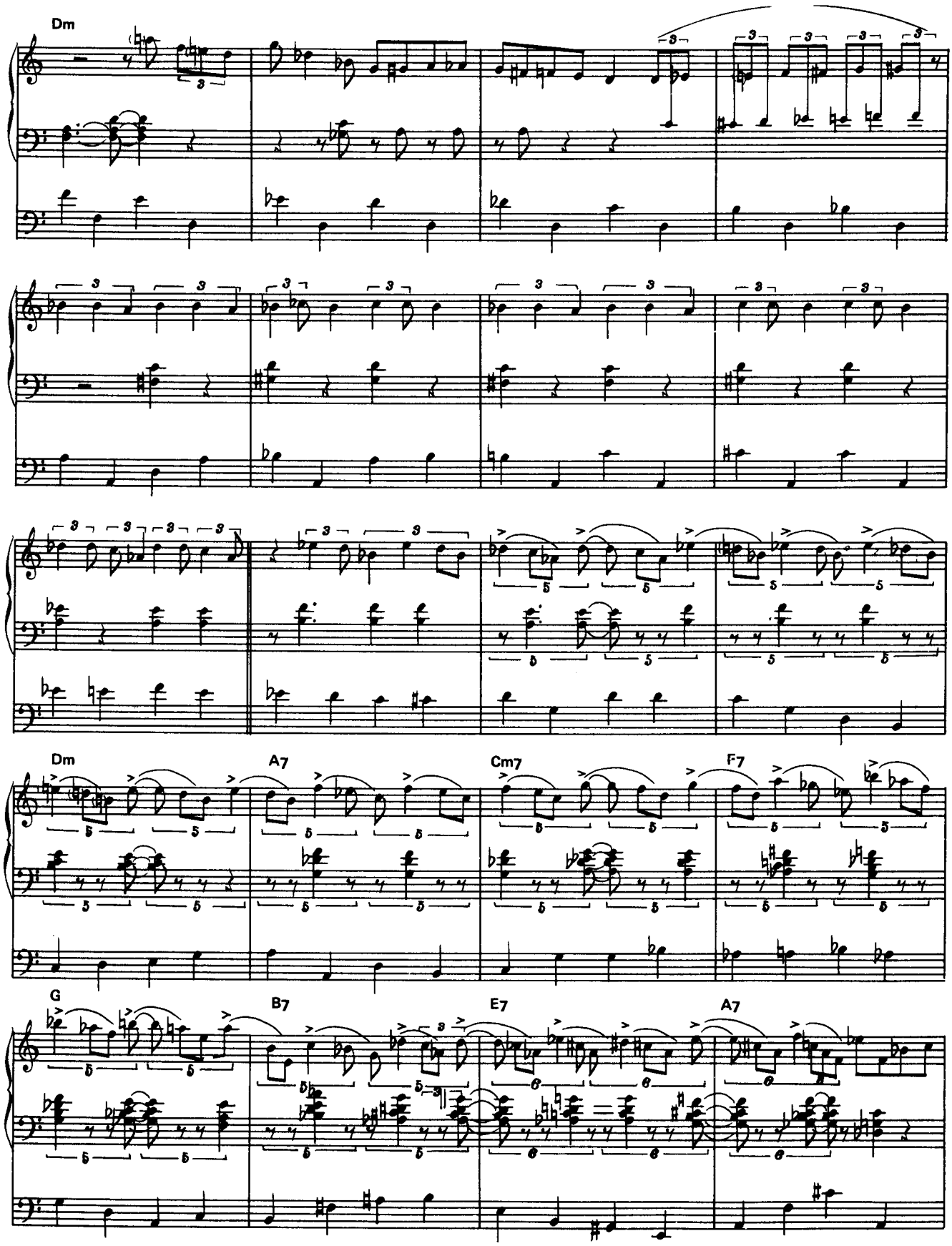
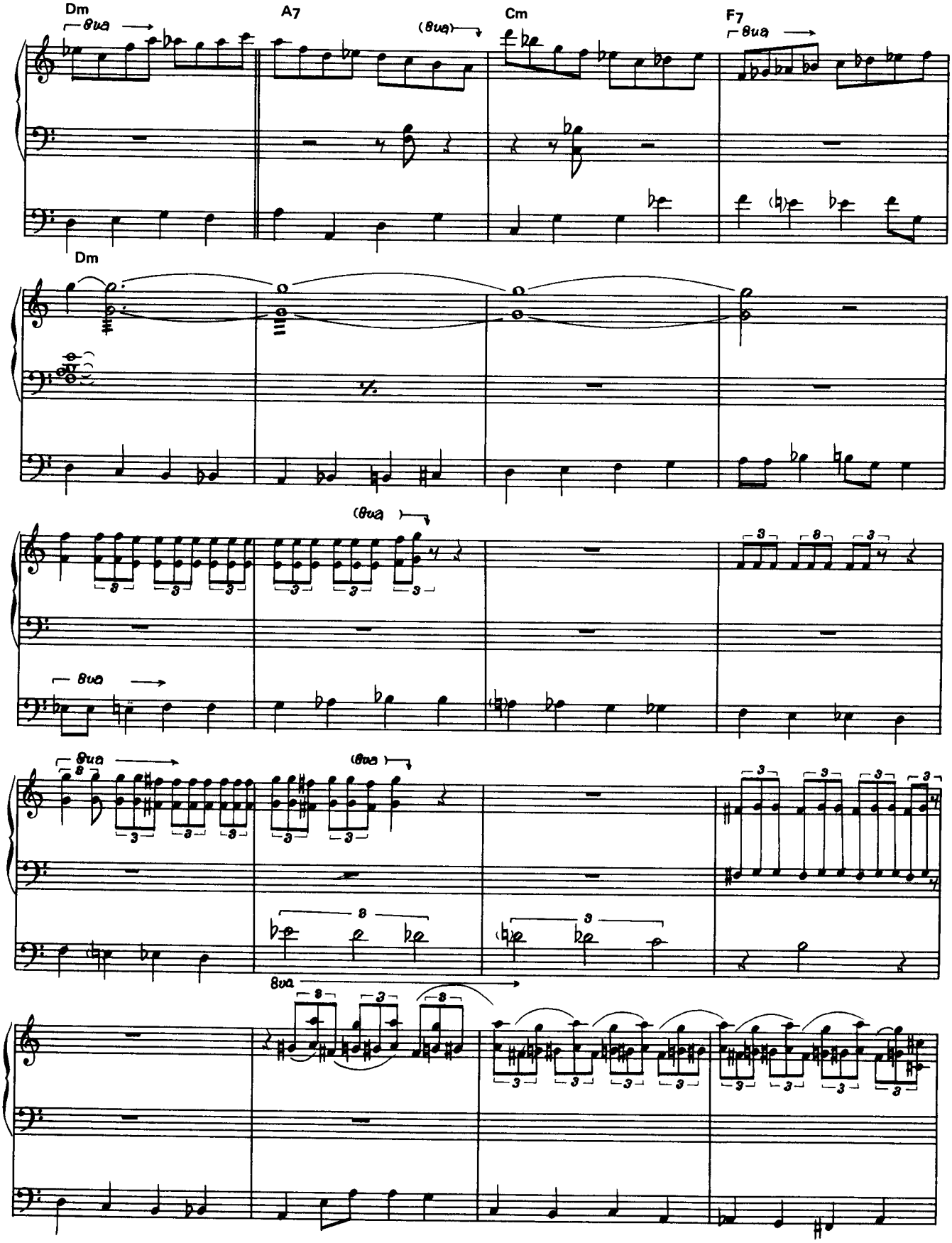
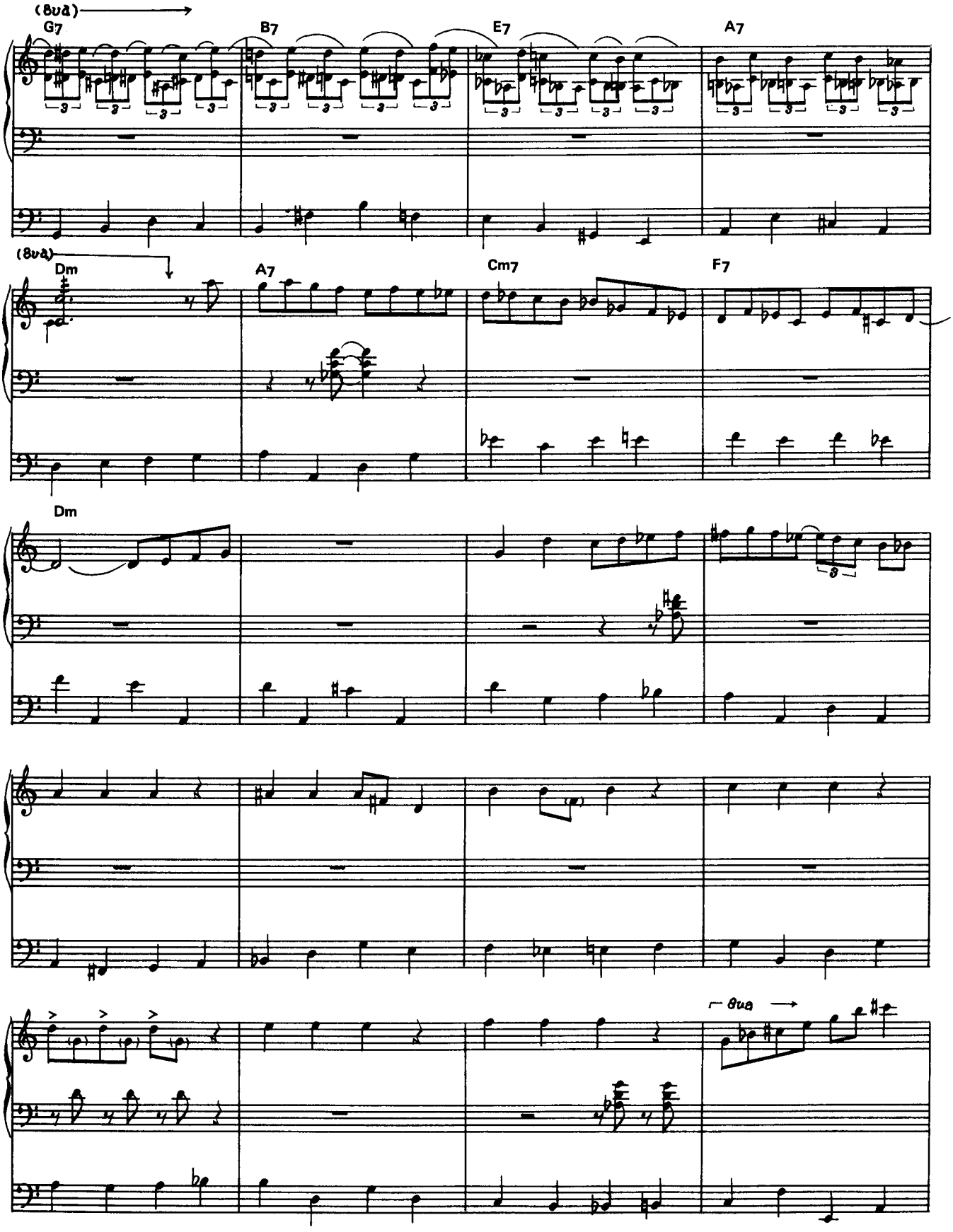
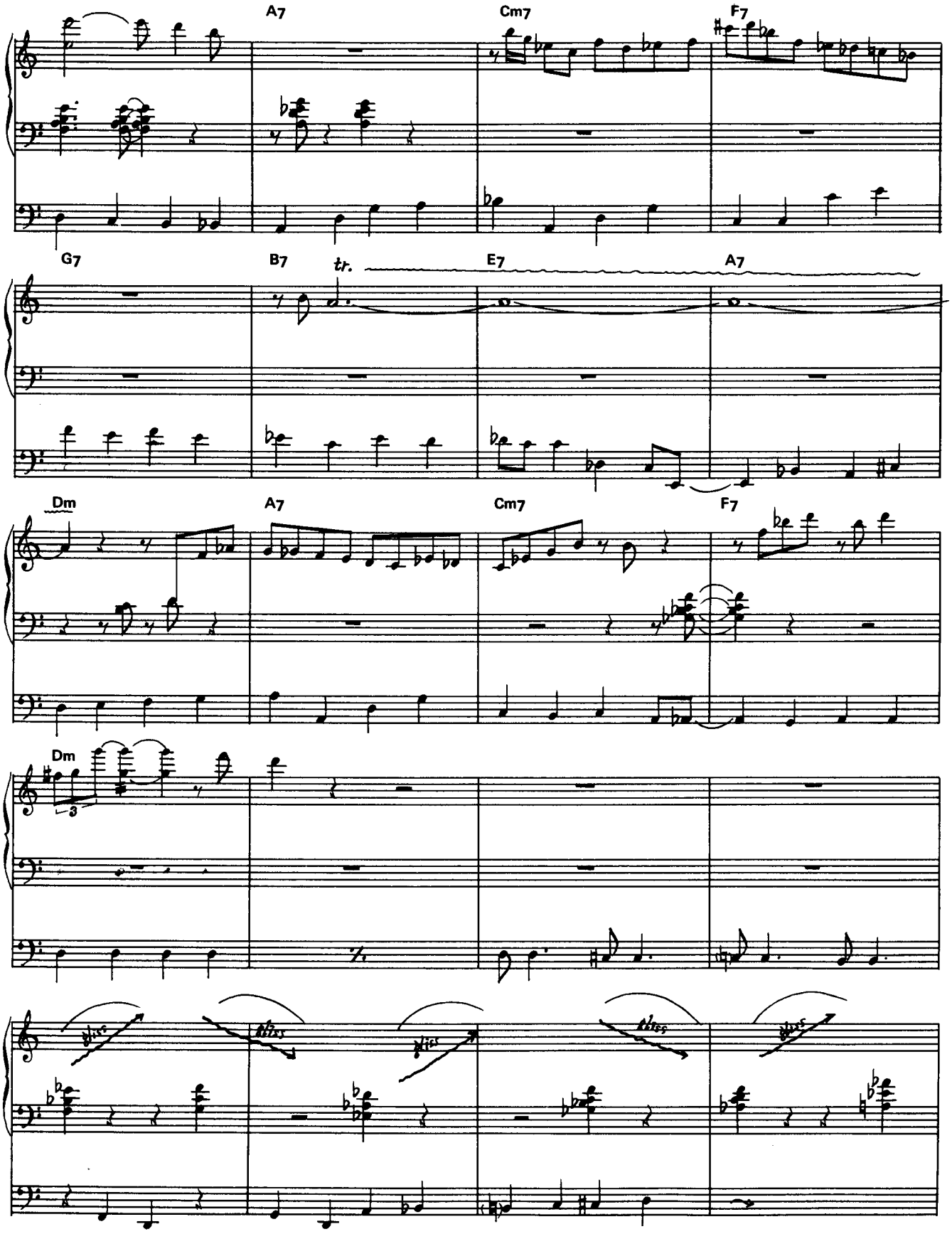
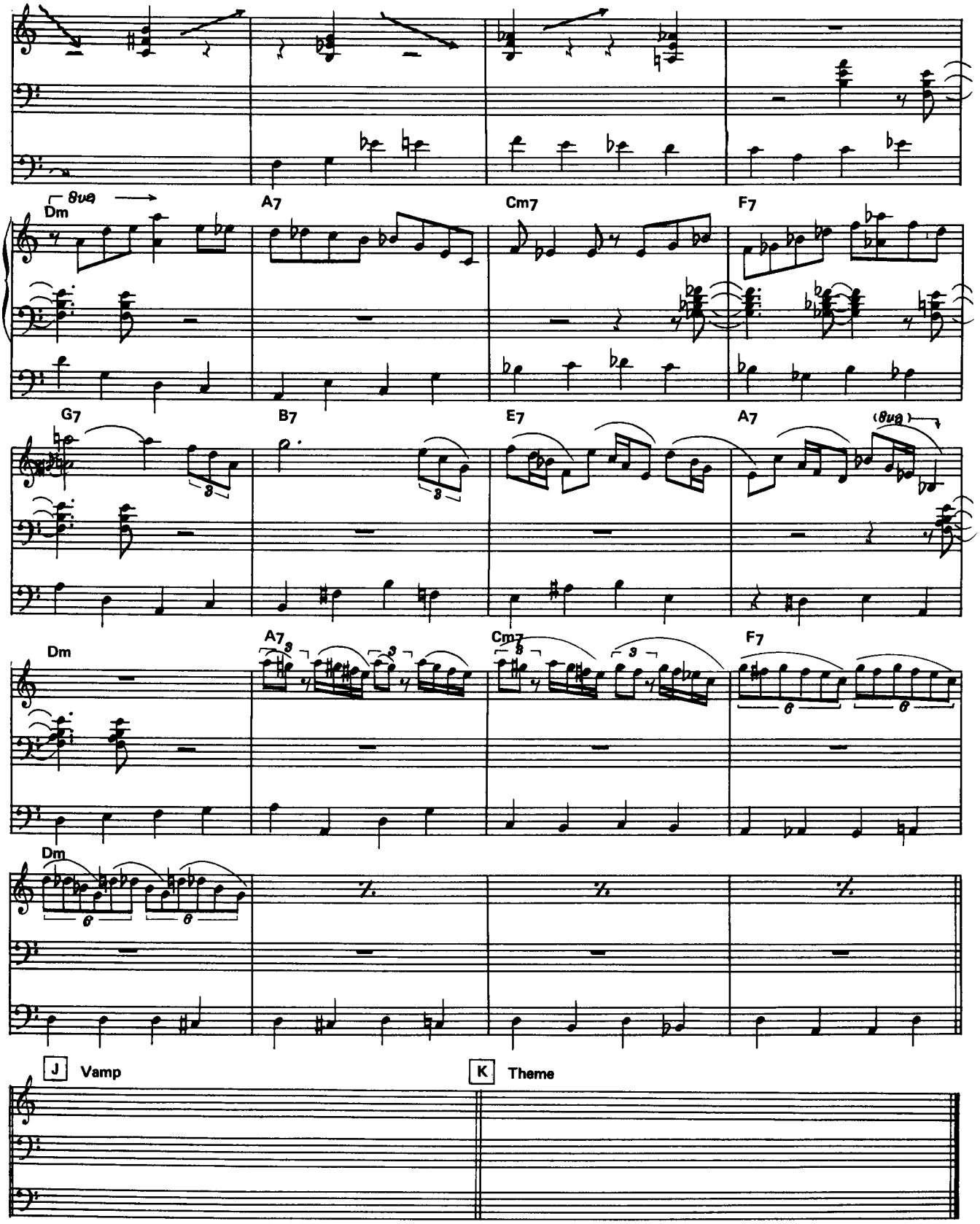
H……（省略）

I……ピアノ・ソロ（ウイズ・ベース・ライン）

J……ヴァンプ（省略）

K……テーマ（省略）

DOMO

by HERBIE HANCOCK

Copyright © 1979 by HANCOCK MUSIC CO.
Rights For Japan Assigned to TOSHIBA-EMI MUSIC Publishing Co., Ltd.

G
B7
E7
A7
Dm
A7
Cm7
F7
Dm
8va

C
8va
(8va)
Fm
Gm
Fm
Gm
Fm
Gm
Fm Gm
Gm
Fm
Gm
Fm
Gm
Fm
Dm
A7
Cm7
F7
8va

G7
B7
E7
A7
Dm
A7
Cm7
F7
Dm

D
8va
8va
Fm
Gm
Fm
Gm
Fm
Gm
Fm
Gm
(8va)
Ab m
Bb m
Ab m
Bb m
Ab m
Bb m
Ab m
Bb m
E
Em
Sax Solo
B7
Dm7
G7
A7
C7
(8va)
F7
B7
Em
B7
Dm7
G7
Em

B7
Dm7
G7
8va
A7
C♯7
F7
B7
Em
(8va)
B7
Dm
G7
Em
8va
(8va)
Dm7
B7
G7
8va
A7
(8va)
C♯7
F7
8va
B7
Em
B7
(8va)

B7
Dm7
G7
A7
C#7
F7
B7
Em
B7
Dm7
G7
Em
8va
(8va)
B7
Dm7
G7
A7
C#7
F7
8va
B7
Em
B7
Dm7
G7

Em
(8va)
8va
B7
Dm7
G7
A7
C#7
F7
B7
Em
B7
Dm7
G7
Em
B7
(8va)
Dm7
G7
A7
C#7
F7
B7
Em
B7
Dm7
G7

Em
8va
(8va)
8va
B7
Dm7
G7
A7
C#7
F7
B7
Em
B7
Dm7
G7
Em
F Vamp
G Trumpet Solo
H Vamp
I
Dm
8va
A7
Cm7
F7
Piano Solo
G
B7
E7
A7

Dm
A7
Cm7
F7
Dm
A7
Cm7
F7

G
B7
E7
A7
Dm
8va
A7
(8va)
Cm7
F7
Dm

Dm
A7
Cm7
F7
G7
8va
B7
E7
A7
(8va)
Dm
A7
Cm7
F7
Dm
tr.
tr.

tr.
tr.
tr.
A7
Cm7
F7
G
B7
E7
A7
Dm
A7
Cm7
F7
Dm
8va

Dm
A7
Cm7
F7
tr.
G7
B7
E7
A7
Dm
A7
Cm7
F7

Dm
Dm
A7
Cm7
F7
G
B7
E7
A7

Dm
8va
A7
(8va)
Cm
F7
8va
Dm
(8va)
8va
8va
(8va)
8va

(8va)
G7
B7
E7
A7
(8va)
Dm
A7
Cm7
F7
Dm
8va

A7
Cm7
F7
G7
B7
tr.
E7
A7
Dm
A7
Cm7
F7
Dm
3

8va
Dm
A7
Cm7
F7
G7
B7
E7
A7
(8va)
Dm
A7
Cm7
F7
Dm
J Vamp
K Theme

CIRCE

サーシ

Music by Wayne Shorter

ウェイン・ショーターの作曲によるもので、彼の独特で不思議なサウンドの世界が拡がっている。アルバム『ファイヴ・スターズ』よりの採譜。

LAYOUT

曲としての構成はここでの譜面では明確ではないが、頭の6小節がイントロダクションと思われる。テーマ部は、この曲の中でははっきりしない。この曲では、テーマ、アドリブ、テーマという曲の作り方をしていないように思われる。全編がテーマであり、アドリブであるという感じである。しかし、テーマらしいフレーズのモチーフはBの1～12小節の間で聴かれる。また、エンディングのきっかけは、Cの1小節前のフレーズによって行われているものと思われる。

この曲のイントロとエンディング以外の部分の中心になっているコード進行は次の通りである。

$$\|: \frac{E\flat}{E} \;|\; \frac{D}{E} \;|\; \frac{C\sharp}{E} \;|\; \frac{C}{E} \;:\|$$

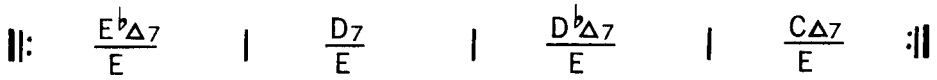
ここでは、敢えてコード・ネームをつけたが、譜面を見てもわかるように、4小節単位のベースのパターンがあるだけで、その小節でのサウンドは非常に自由であって、ひとつのコード・ネームでは表現しきれないものである。従って、従来のアヴェイラブル・ノート・スケールなどを中心にしたインプロヴィゼイションの考え方は根本的に違ってくる。

しかし、トータルにこの曲を聴いてみるとおおまかなコードの流れとしては、次のように考えていいだろう。

$$\|: E\flat\Delta 7 \;|\; D7 \;|\; D\flat\Delta 7 \;|\; C\Delta 7 \;:\|$$

IMPROVISATION

ここでのインプロヴィゼイションは少し特異であるが、このコード進行でのそれぞれのアヴェイラブル・ノート・スケールは次のように考えられる。



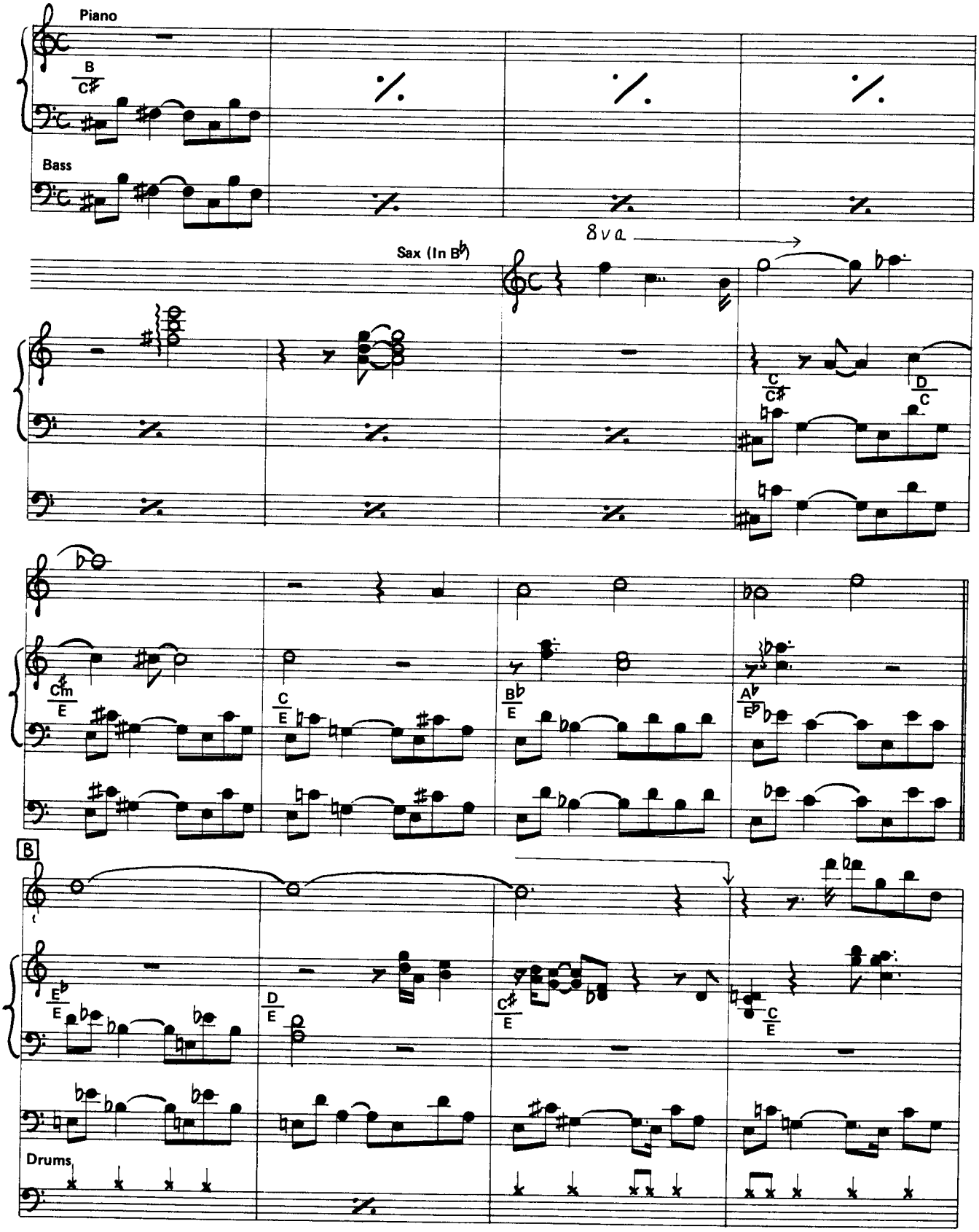
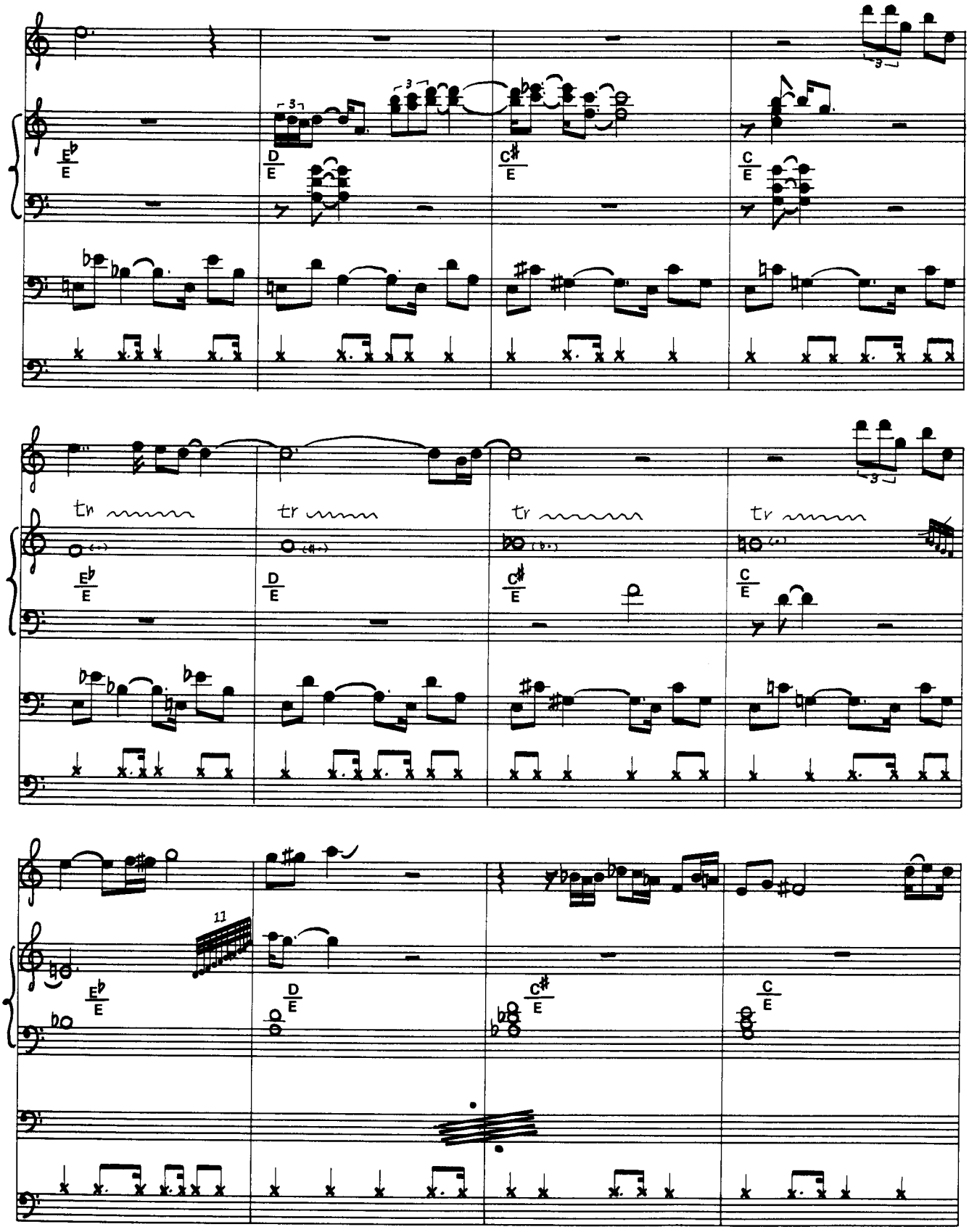
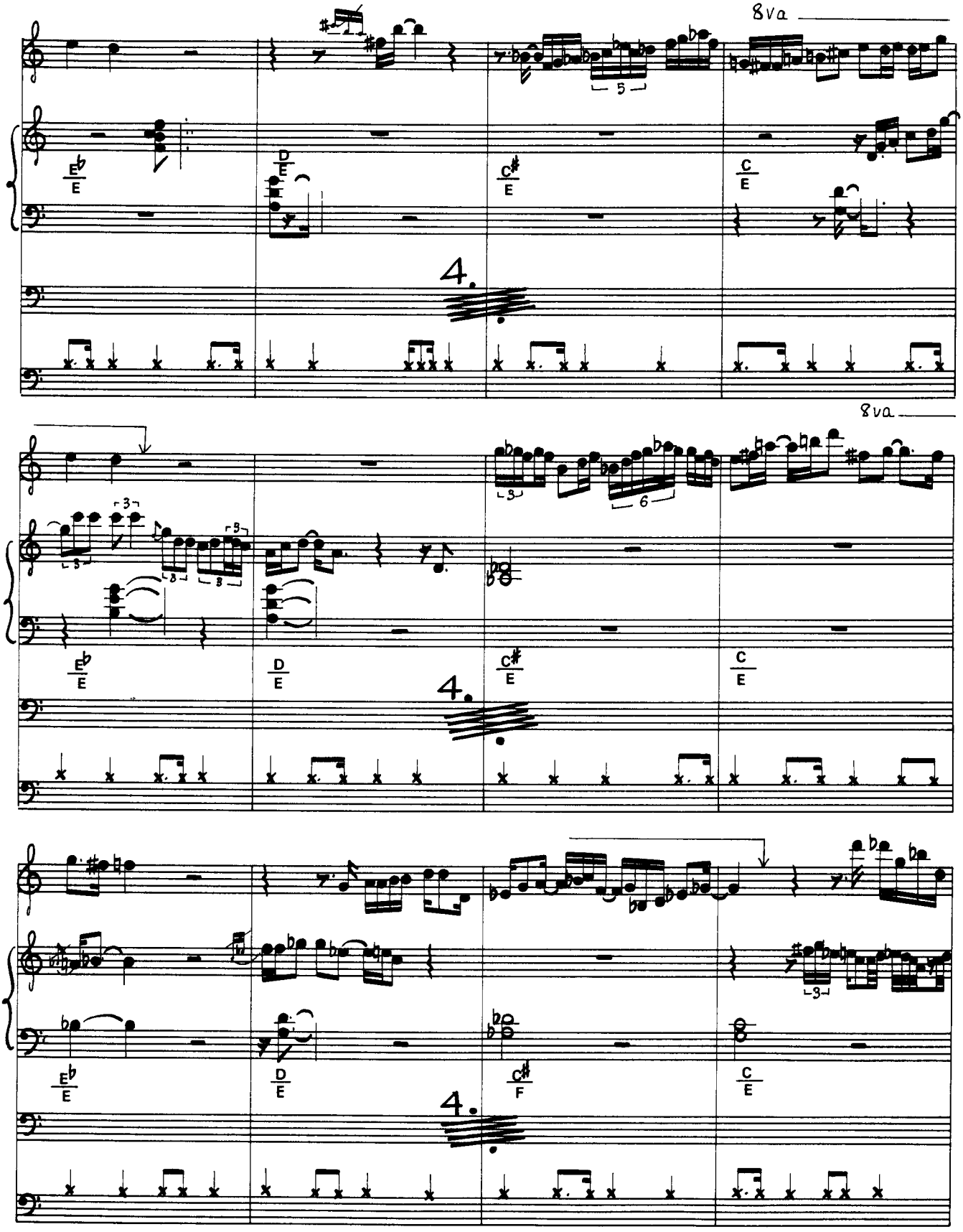
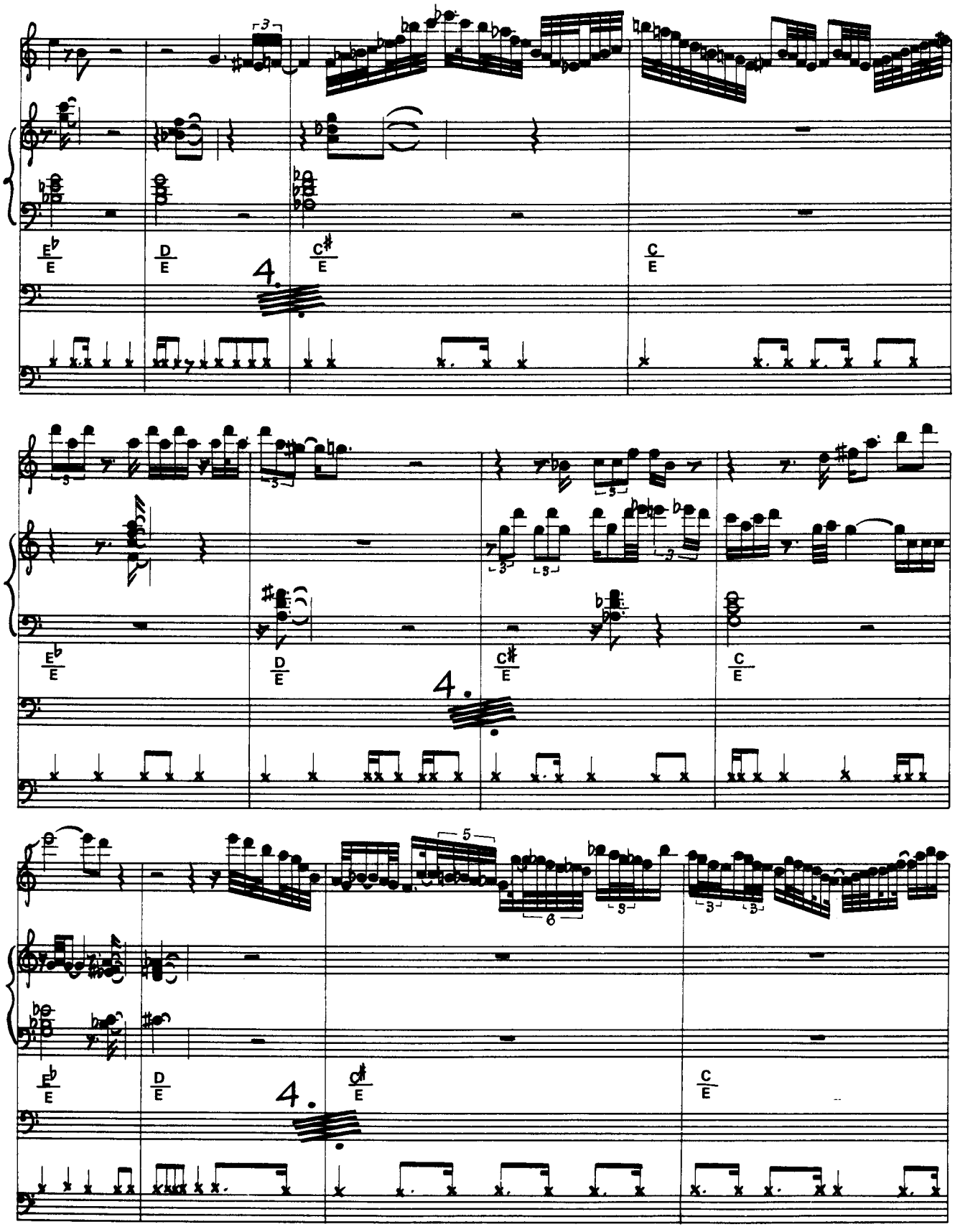
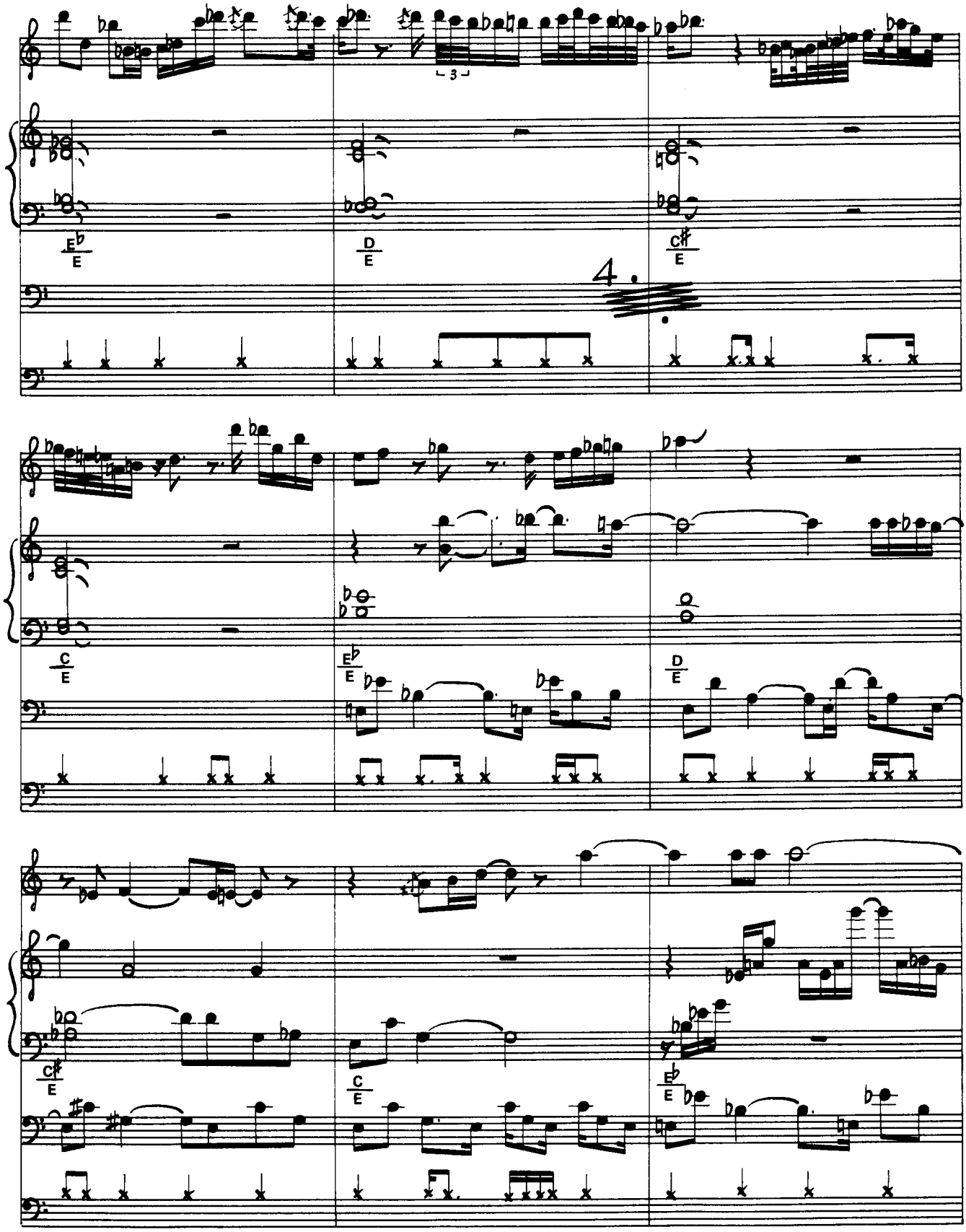
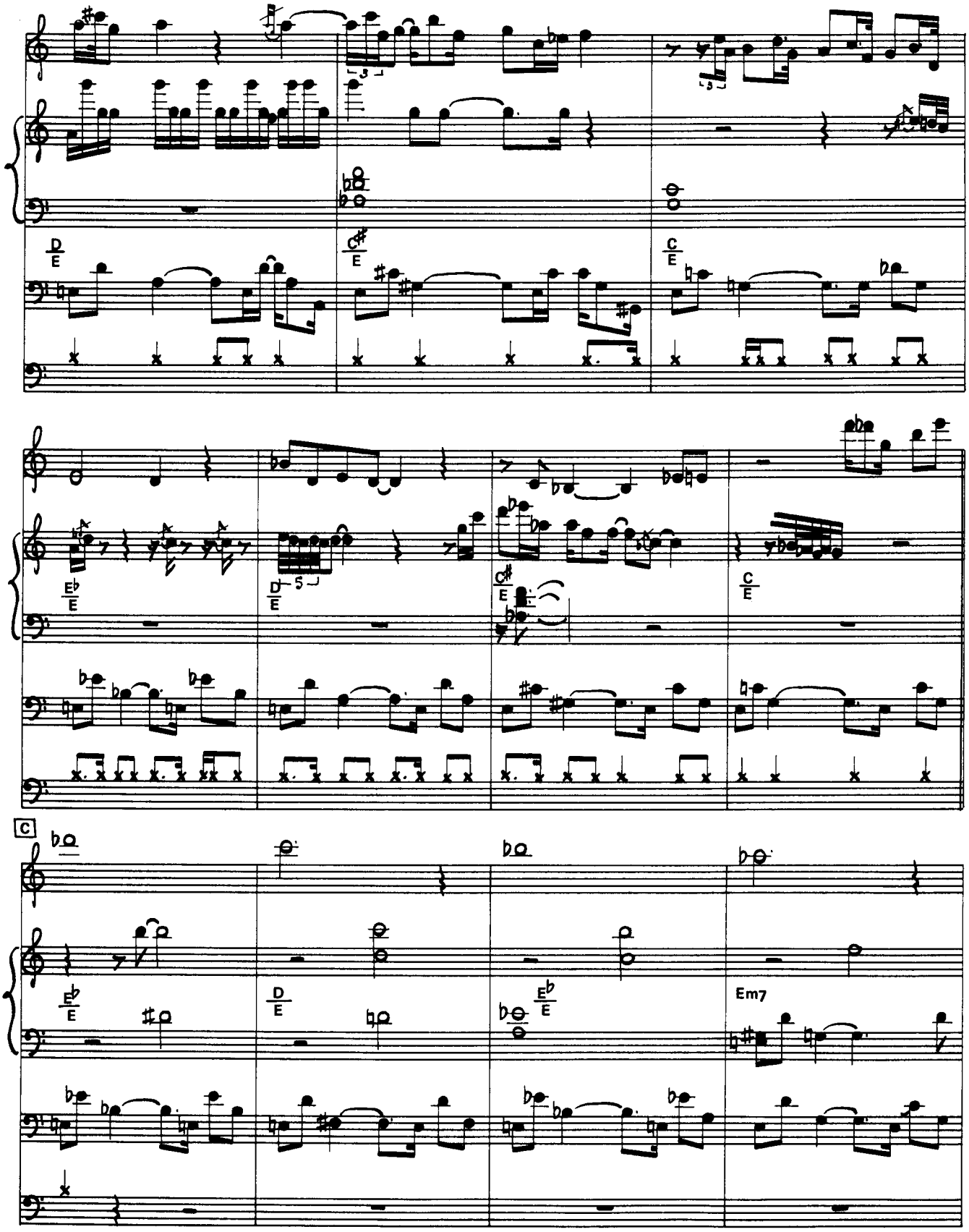
E♭△7……E Ionian (or Lydian)

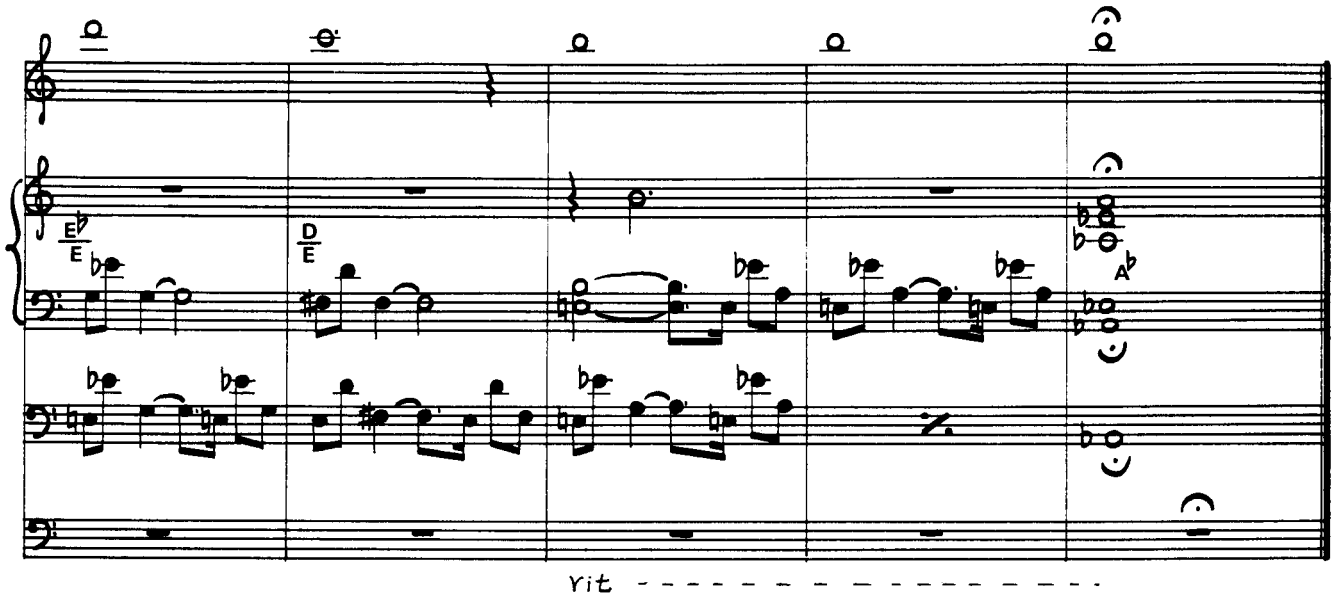
D7……D Mixo-Lydian (or Another Dominant Scale)

D♭△7……D♭ Ionian (or Lydian)

C△7……C Ionian (or Lydian)

CIRCE

by WAYNE SHORTER

Copyright © by ISKA MUSIC
Rights For Japan Assigned to P.M.P. CO., LTD.

E♭/E
D/E
C♯/E
C/E
tr
11

8va
8va
4.
4.
4.

E♭/E
D/E
C♯/E
C/E
4.

3
4.

D/E
C♯/E
C/E
E♭/E
D/E
C♯/E
C/E
C
E♭/E
D/E
E♭/E
Em7


E♭
E
D
E
A♭
rit

PARA ORIENTE

パラ・オリエンテ

Music by Tony Williams

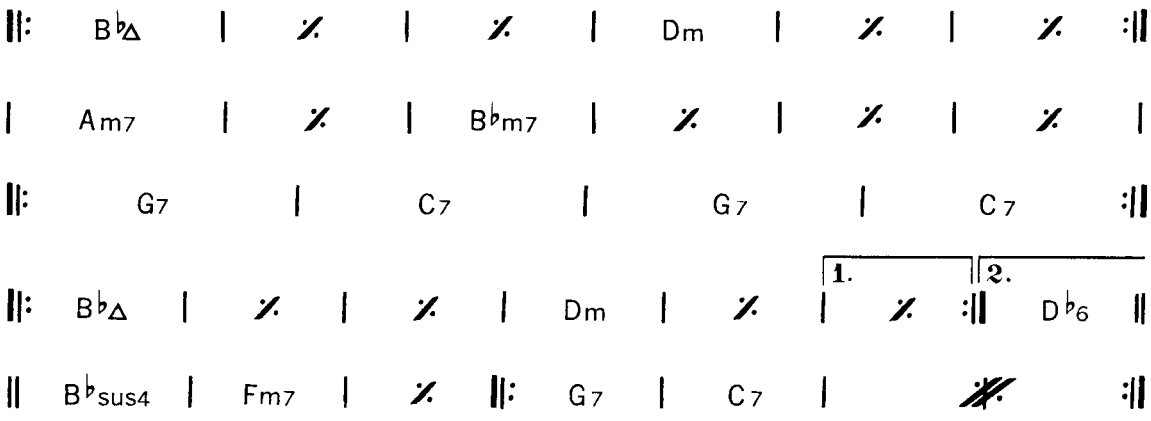
1979年東京の田園コロシアムでのライヴ・アルバム『ライヴ・アンダー・ザ・スカイ』に収められているトニー・ウイリアムスの曲である。

テーマ部はゆったりとした8ビートで、テーマ後はロン・カーターのベース・ソロがフィーチュアーされている。

LAYOUT

この曲ではベース・ソロを中心に採譜した。テーマ部はゆったりとした8ビートで、アドリブに入ってからはミディアムの4ビートになっている。

テーマ部でのコード進行は次のようになっている。



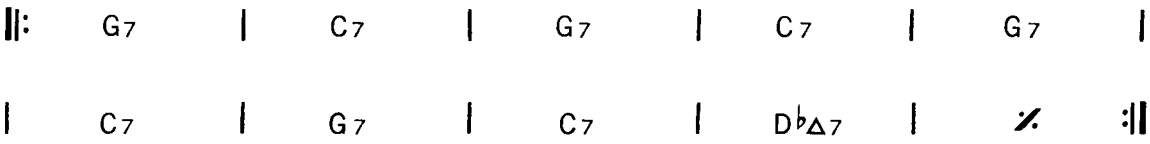
この曲でのトニックは基本的にG7と考えてよいだろう。

譜面での構成は次の通りである。

A……イントロダクション
B……ヴァンプ
CD……テーマ
E……ヴァンプ
F……ベース・ソロ
G……ピアノ・ソロ（省略）
H……テーマ（省略）
I……エンディング（省略）

IMPROVISATION

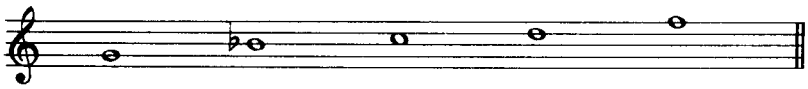
アドリブはロン・カーターのものしか採り上げていないが、アドリブでのコード進行は次の通り。



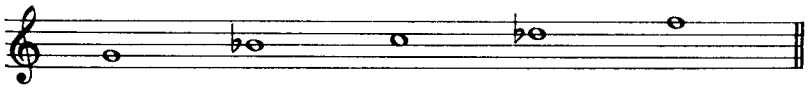
この進行でのアドリブでは、基本的にはD♭△7以外はGのブルー・ノート・スケールか、それに関係するペンタ・トニック・スケールが一般的である。

●G Blue Note Scale

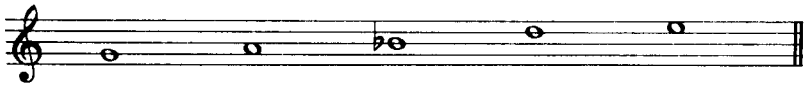
●G Blue Note /Penta Tonic Scale



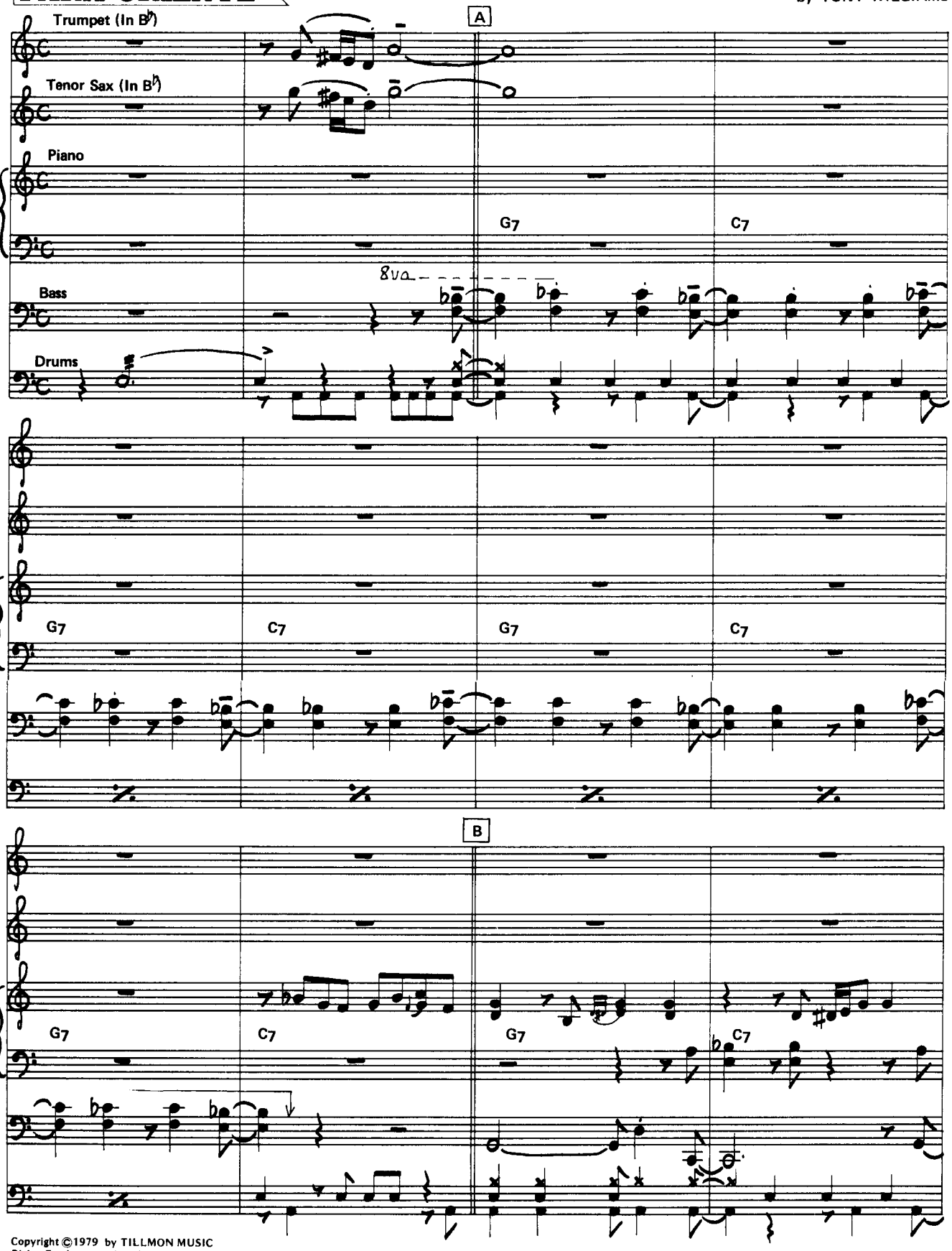
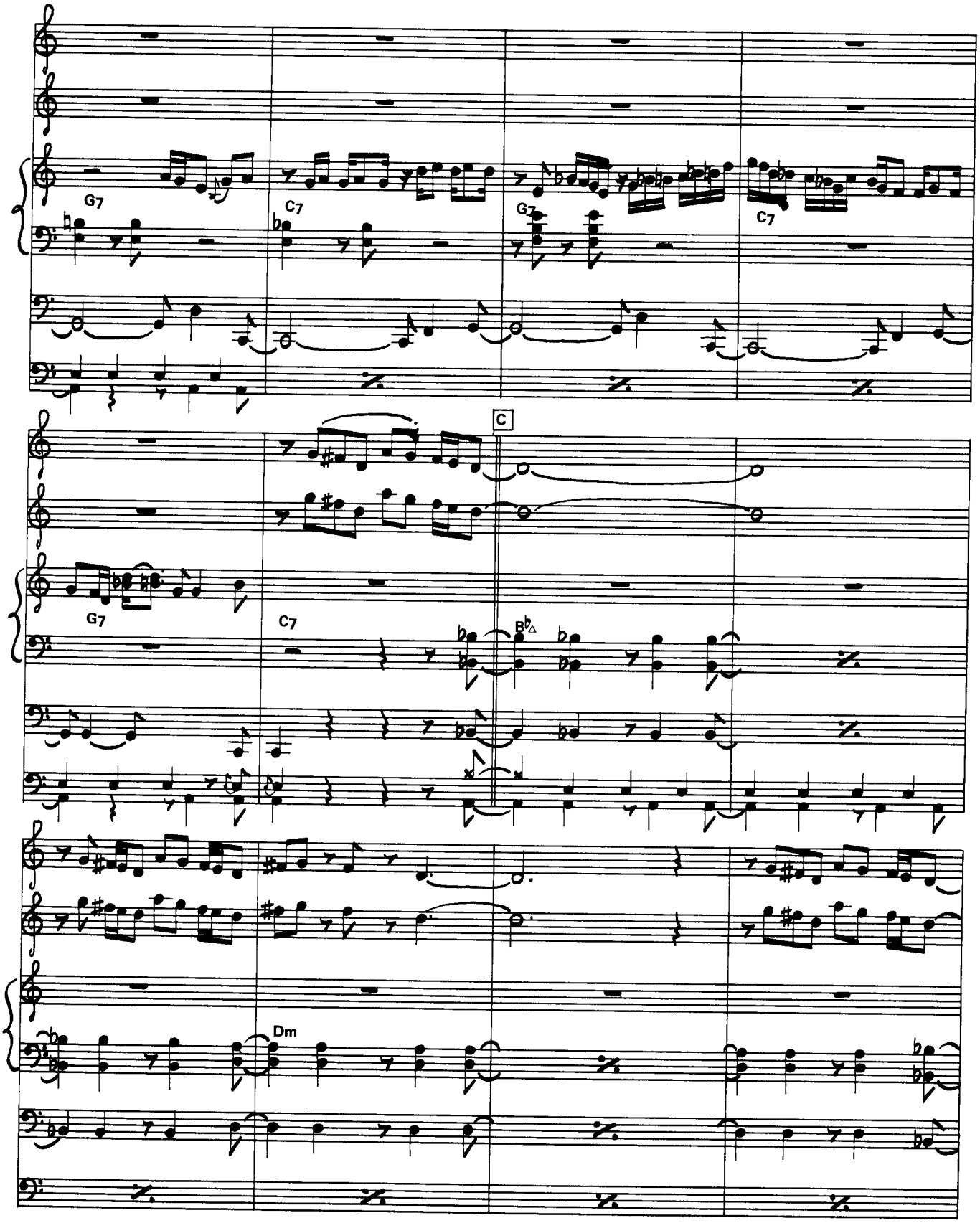
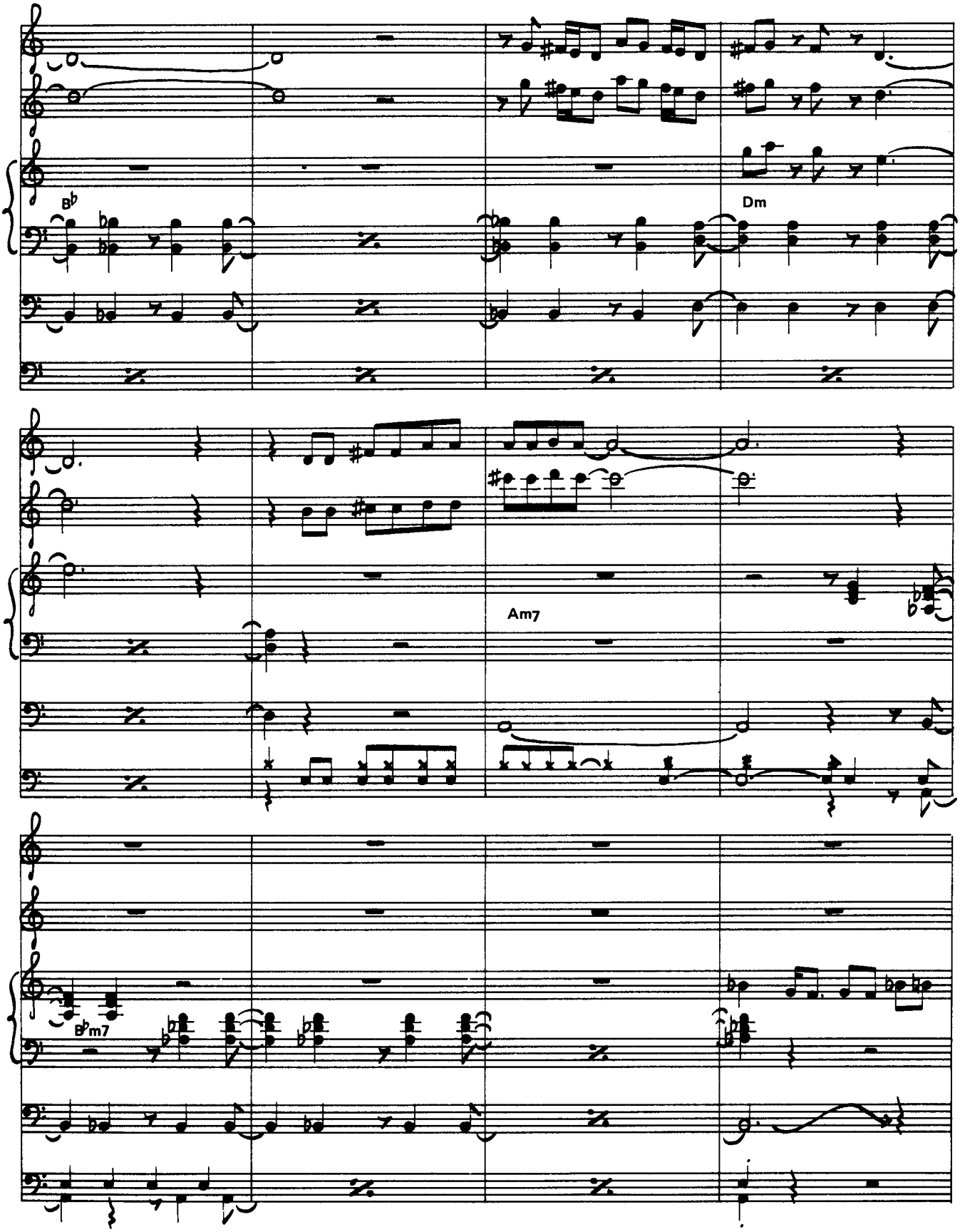
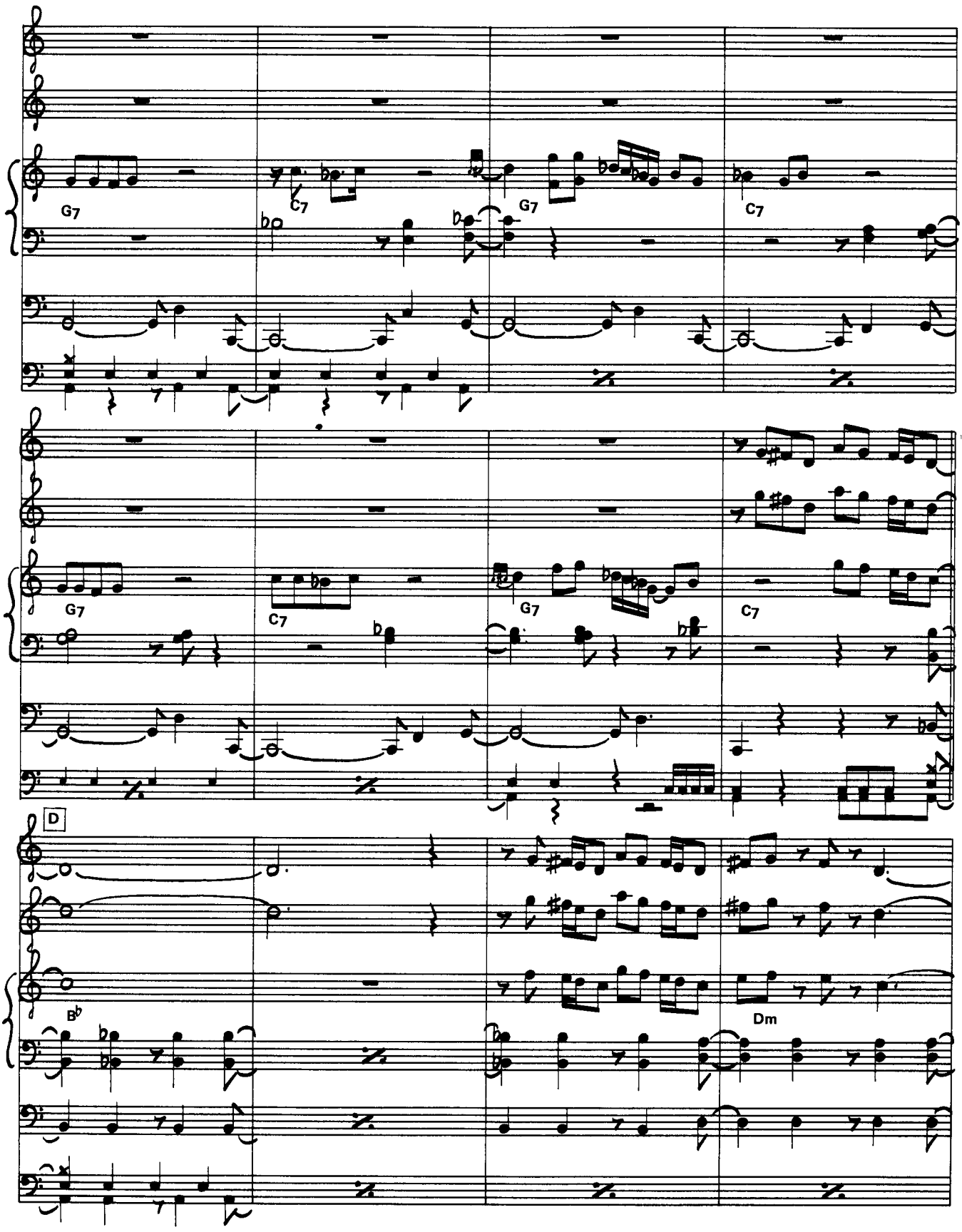
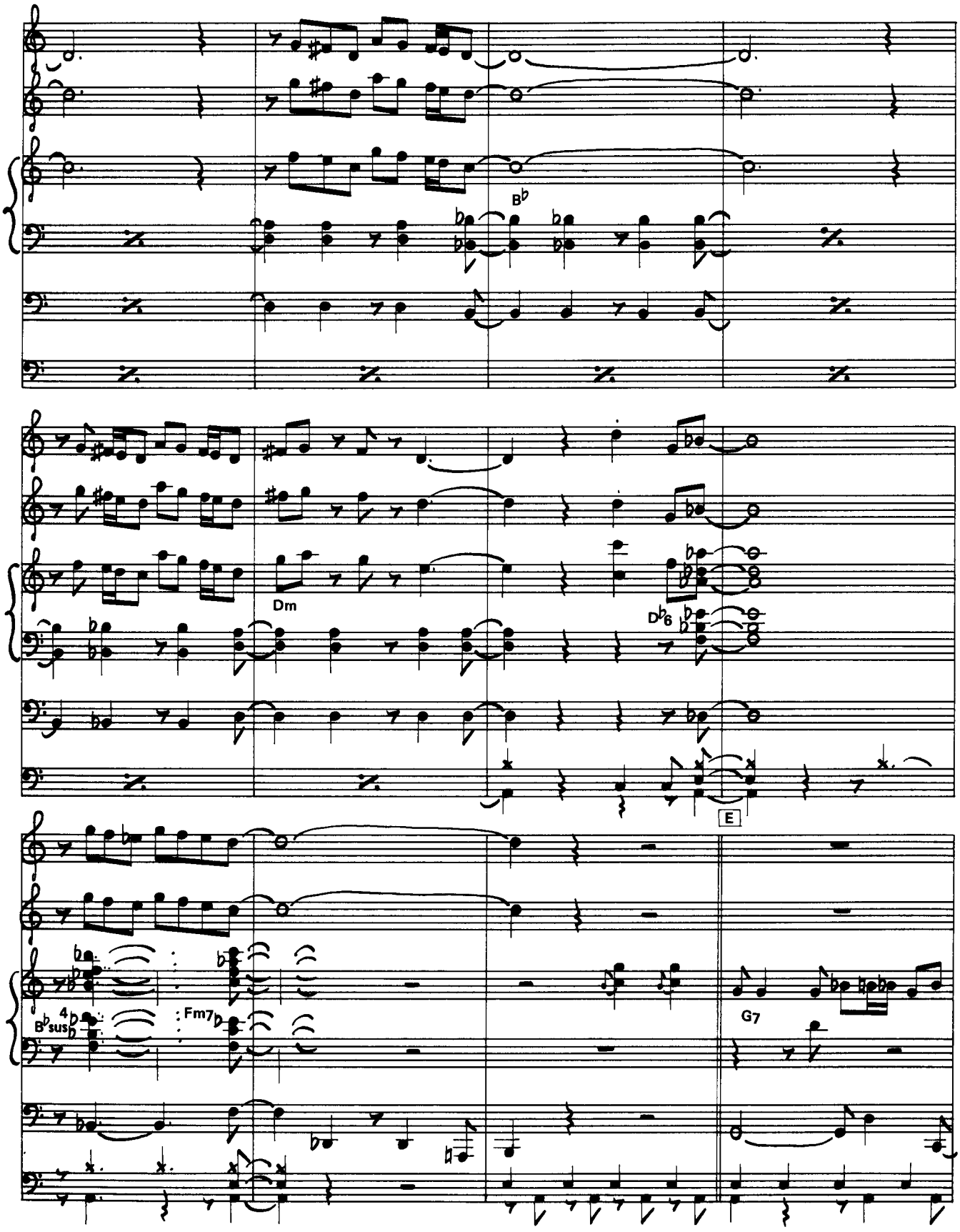
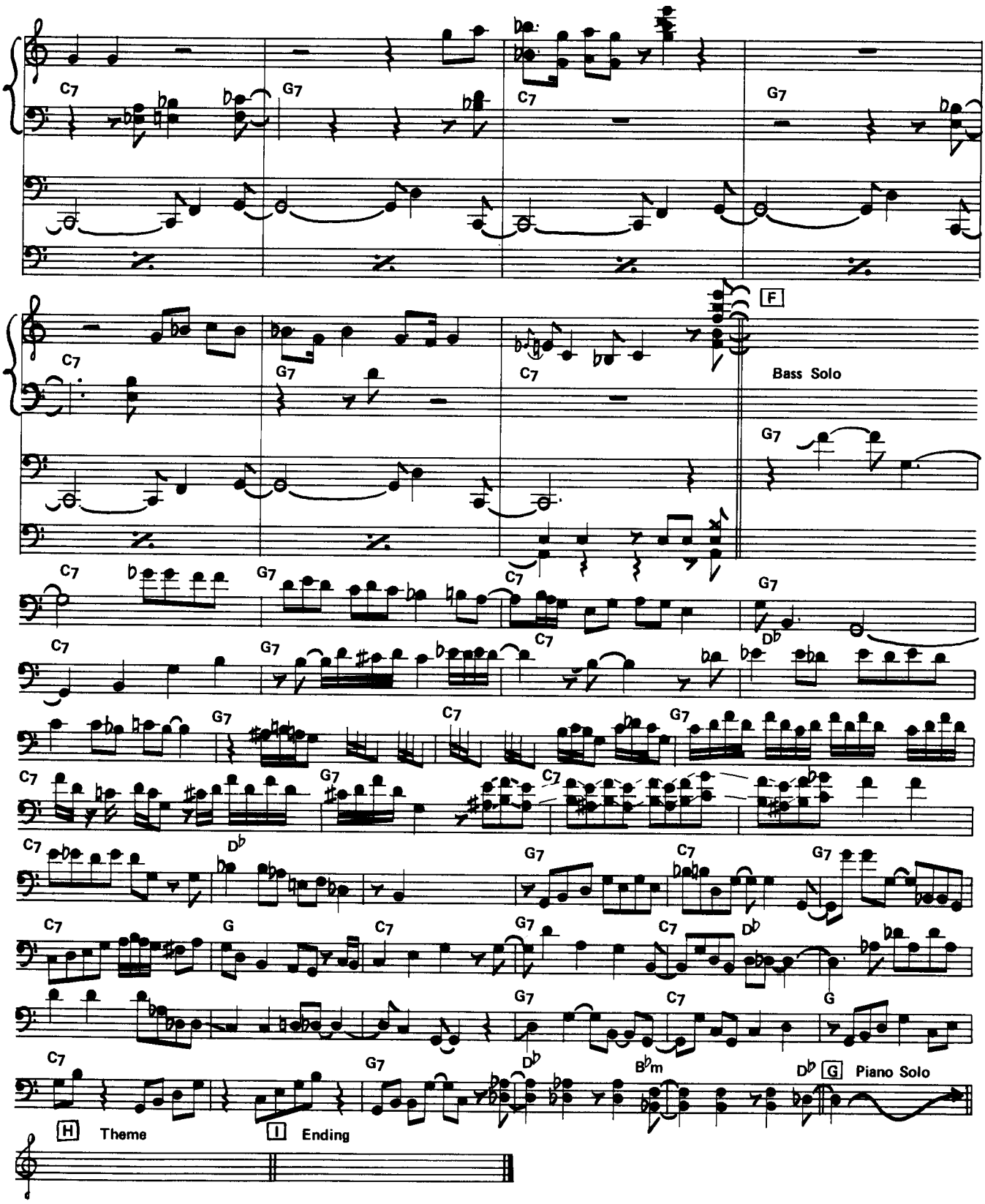
●上の変形



●G Penta Tonic Scaleの変形



PARA ORIENTE

by TONY WILLIAMS

Copyright ©1979 by TILLMON MUSIC
Rights For Japan Assigned to TOSHIBA-EMI MUSIC Publishing Co., Ltd.

G7
C7
G7
C7
C
G7
C7
B♭△
Dm

B♭
Dm
Am7
B♭m7

G7
C7
G7
C7
G7
C7
G7
C7
D
B♭
Dm

B♭
Dm
D♭6
E
B♭sus
Fm7
G7

C7
G7
F
Bass Solo
D♭
G
B♭m
G Piano Solo
H Theme
I Ending

SKAGLY

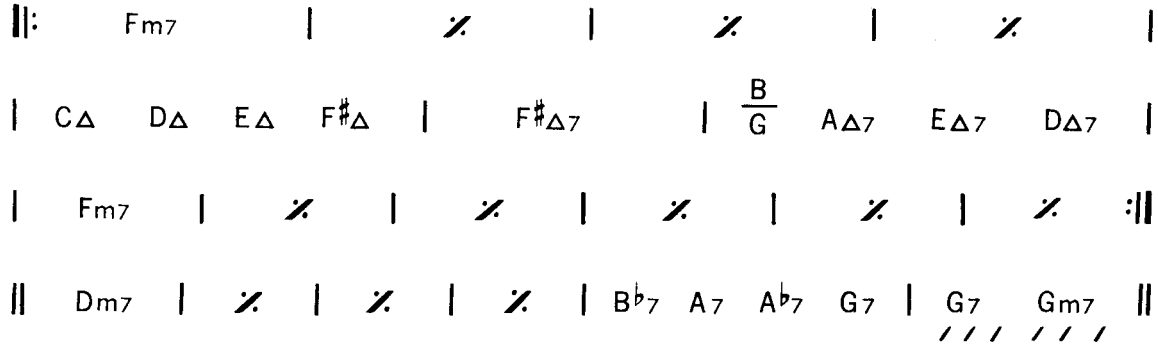
スケイグリー

Music by Freddie Hubbard

アルバム『ファイヴ・スターズ』に収められているフレディー・ハバードの曲である。ロン・カーターとトニー・ウイリアムスの歯切れのよい16ビートを中心にしたパワフルな曲である。

LAYOUT

テーマ部では多少コードの動きがあるが、Fm7をトニックにしたモーダルな曲である。
テーマ部でのコードの動きは次の通りである。



アドリブに入ってからは、Fm7のワン・コードとなっている。

譜面での構成は次の通り。

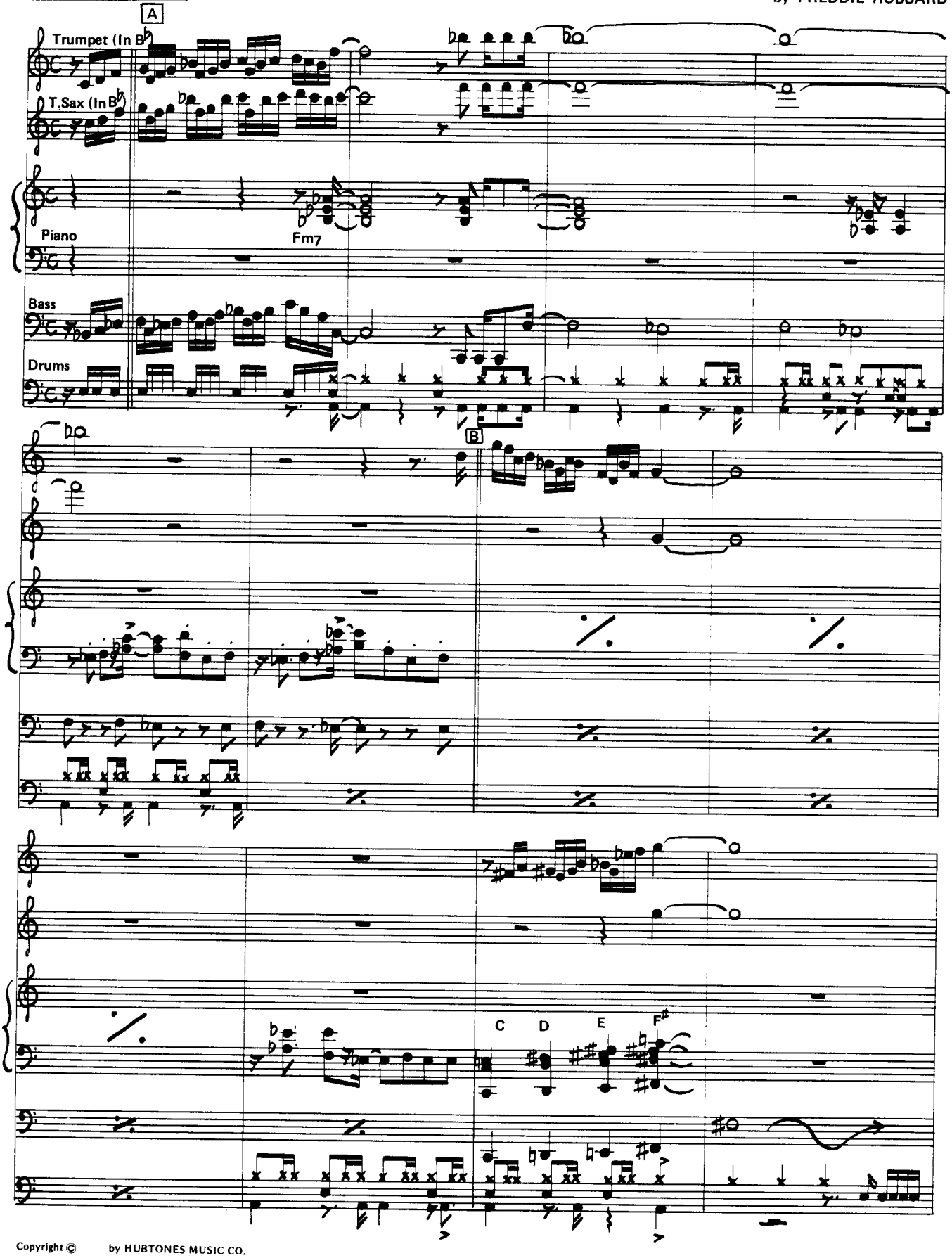
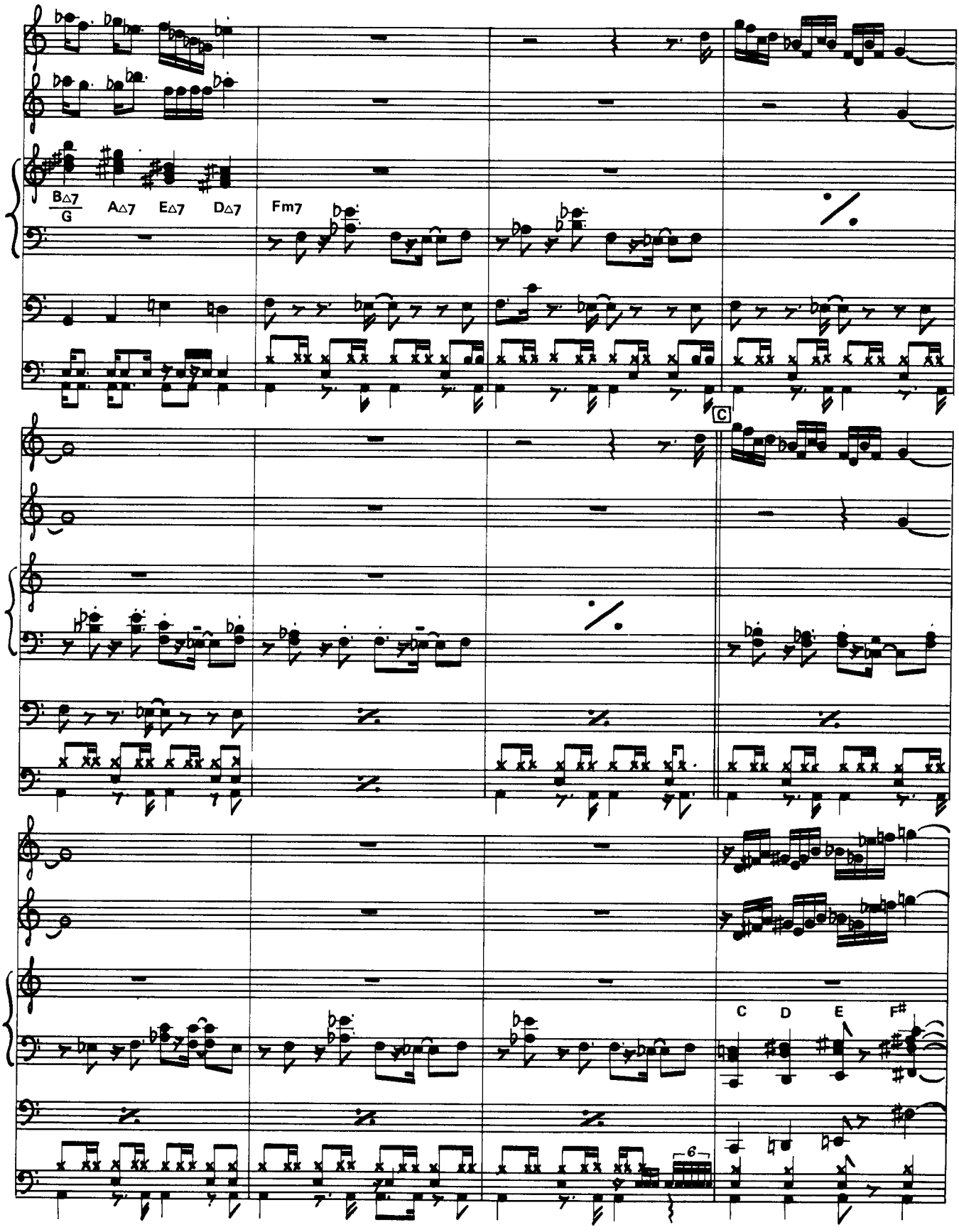
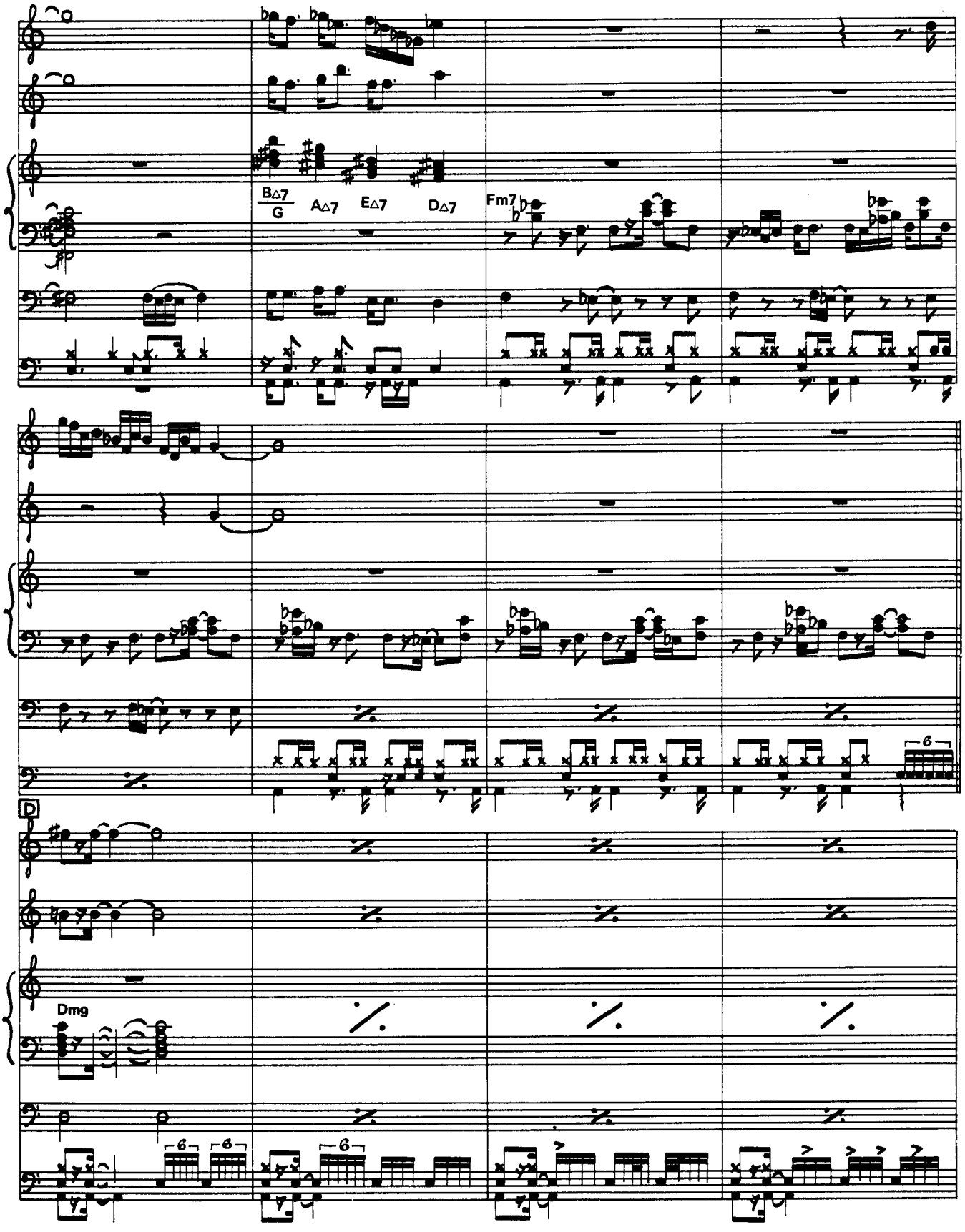
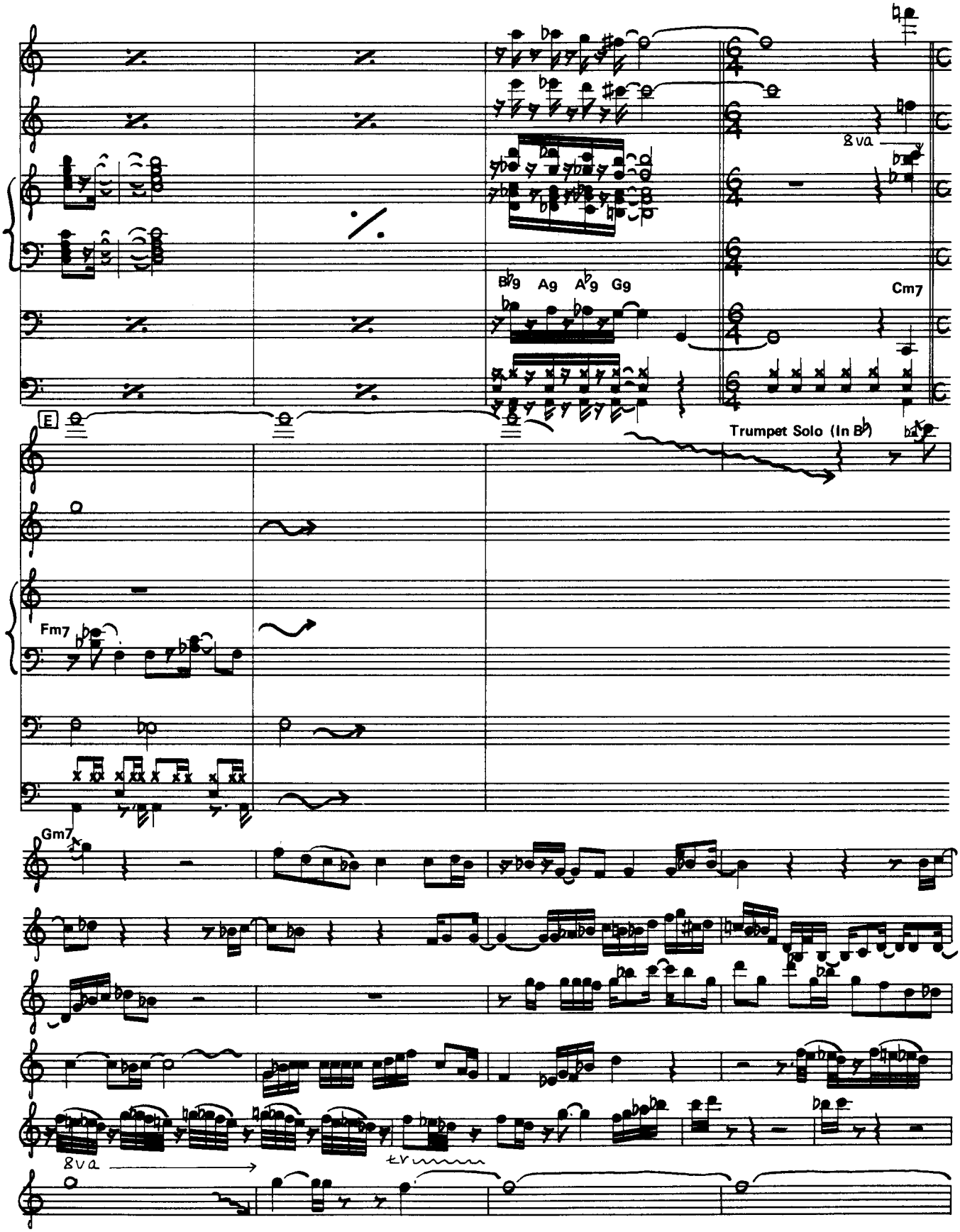
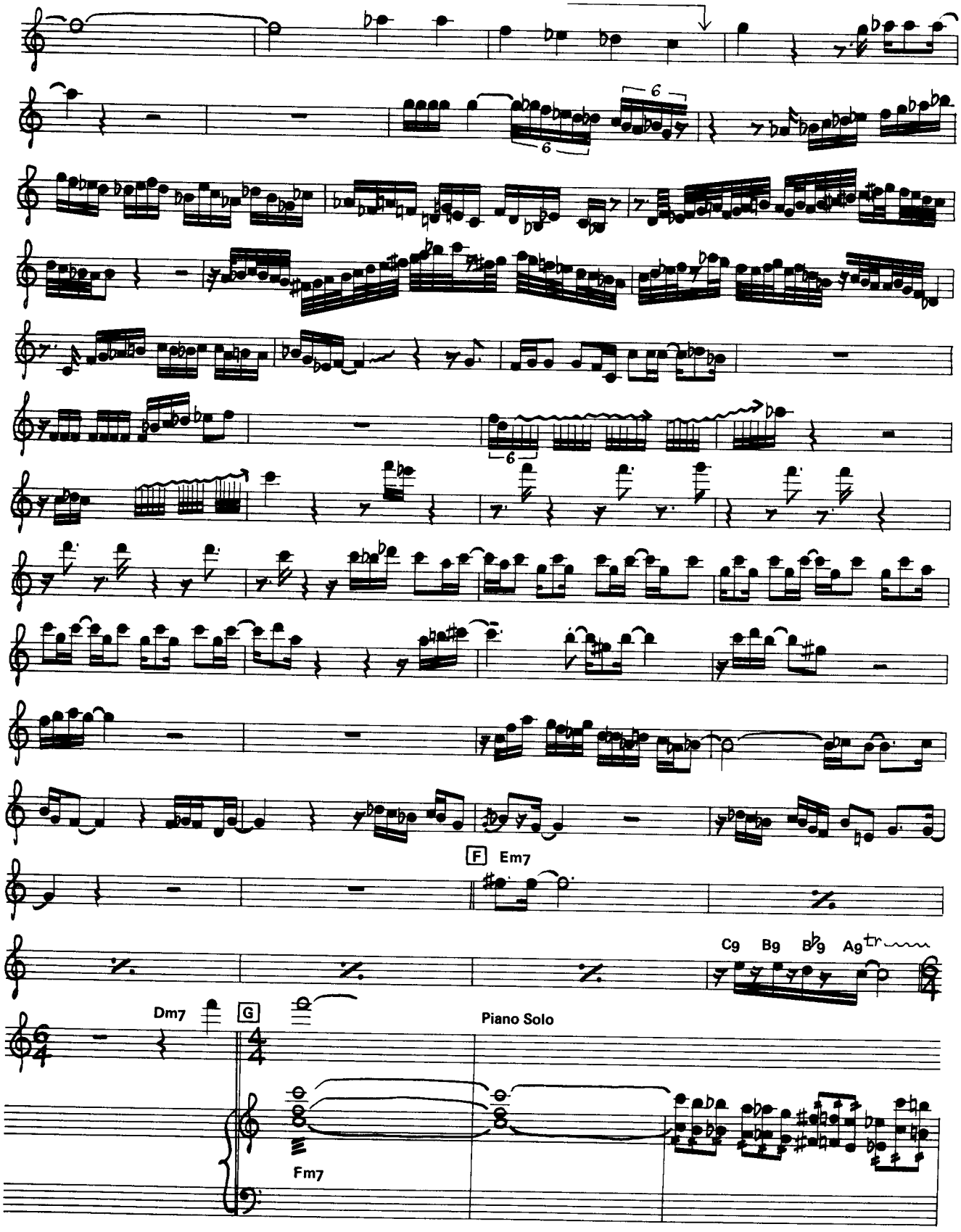
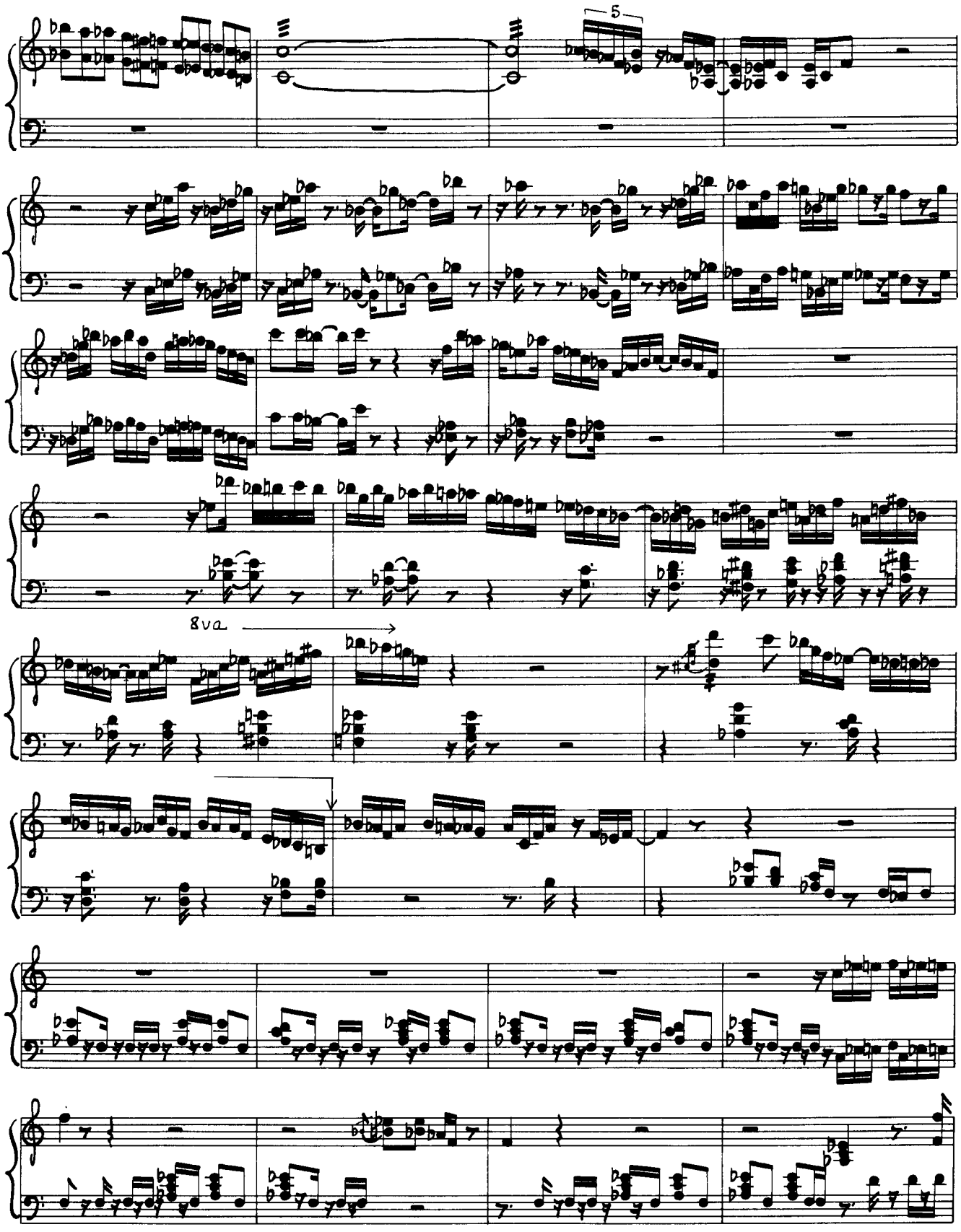
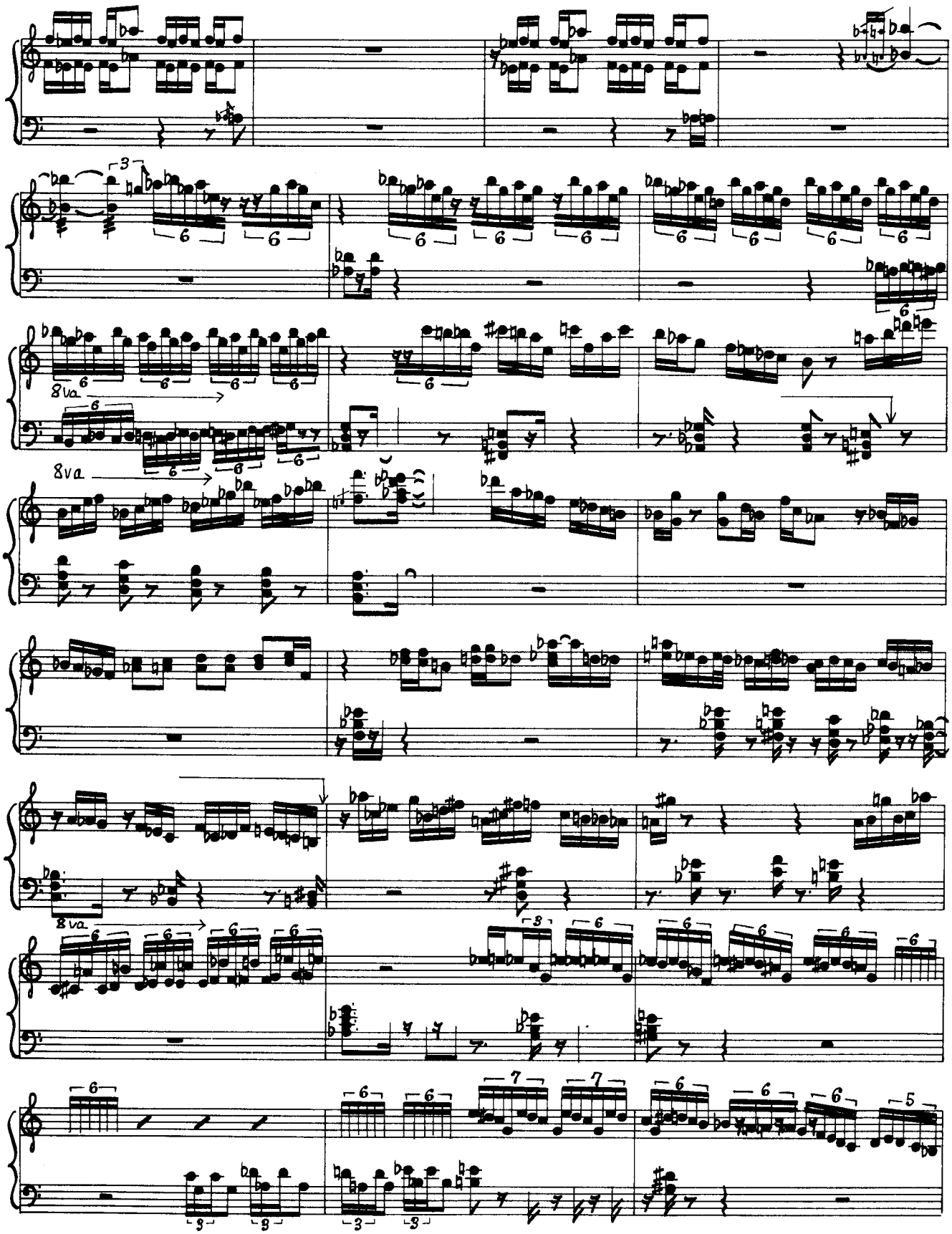
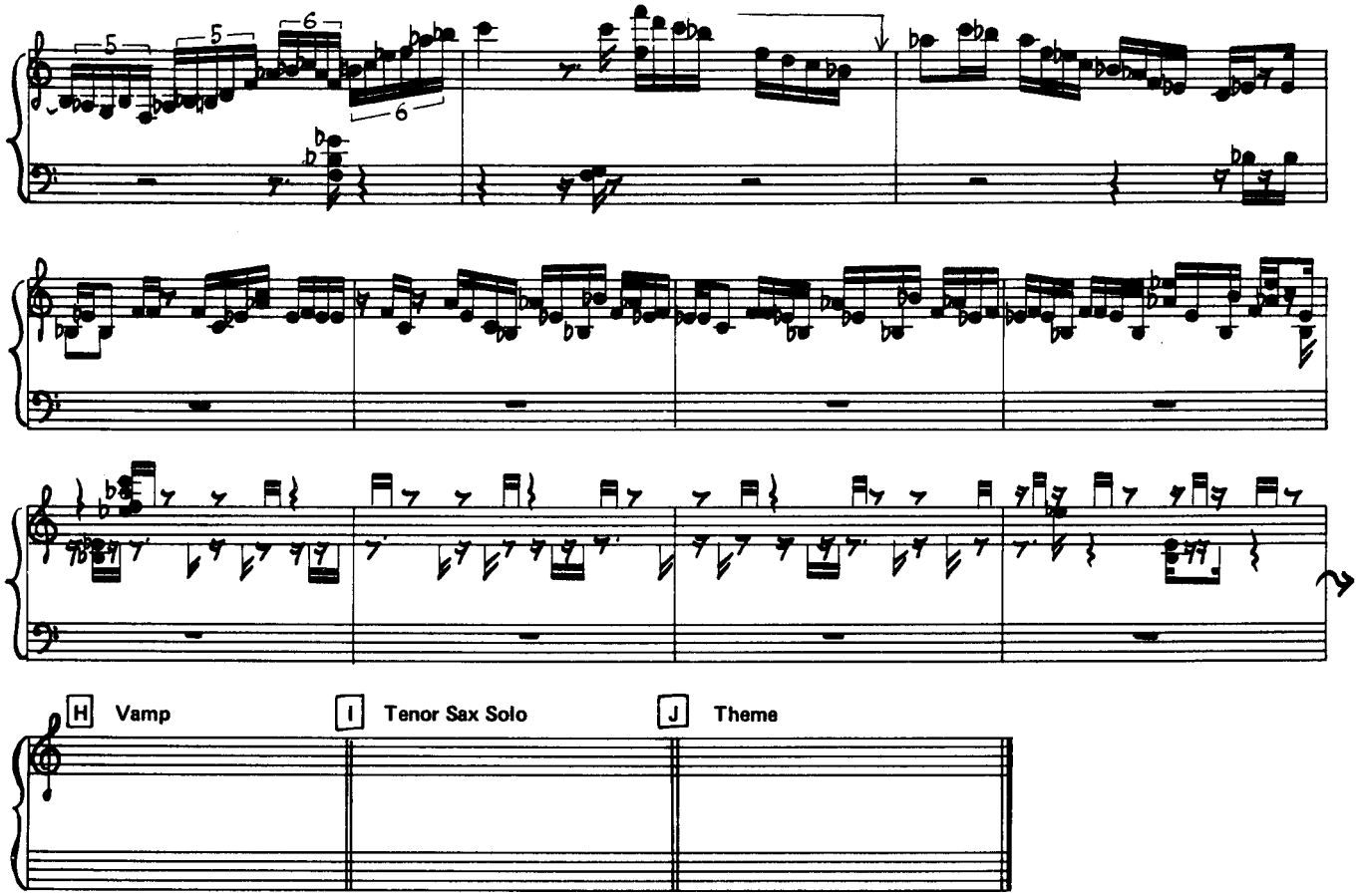
A……イントロダクション
BCD…テーマ
E……トランペット・ソロ
F……ヴァンプ
G……ピアノ・ソロ
H……ヴァンプ（省略）
I……テナー・サックス・ソロ（省略）
J……テーマ（省略）

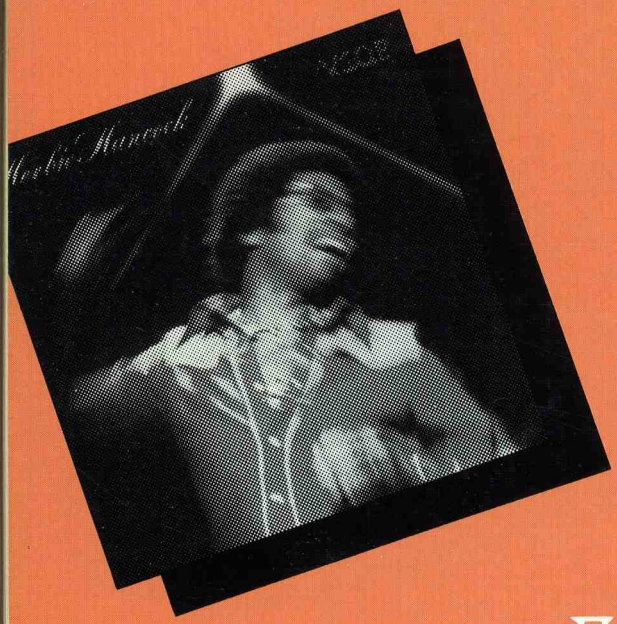
IMPROVISATION

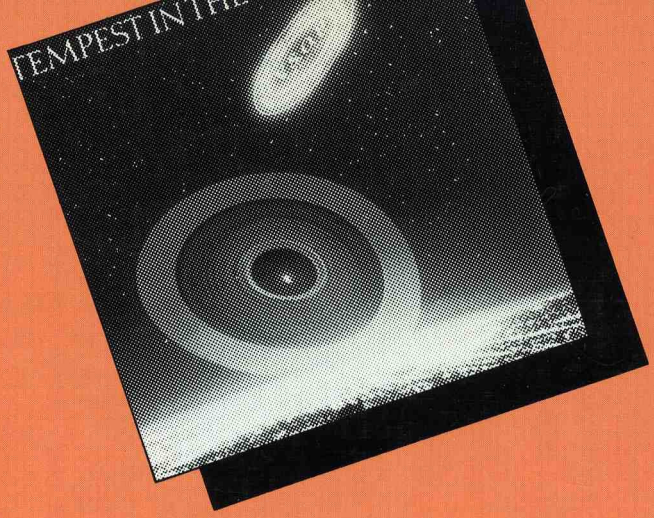
アドリブはFm7のワン・コードで行われているが、厳密に言えば、ロン・カーターのベース・ラインからもわかるように、1小節の中で2拍ずつFm7、E♭m7と動いている。この両者のコードによって生ずるスケールはF Phrygian Scaleである。トランペットとピアノのソロによく注目してほしい。

●F Phrygian Scale

SKAGLY

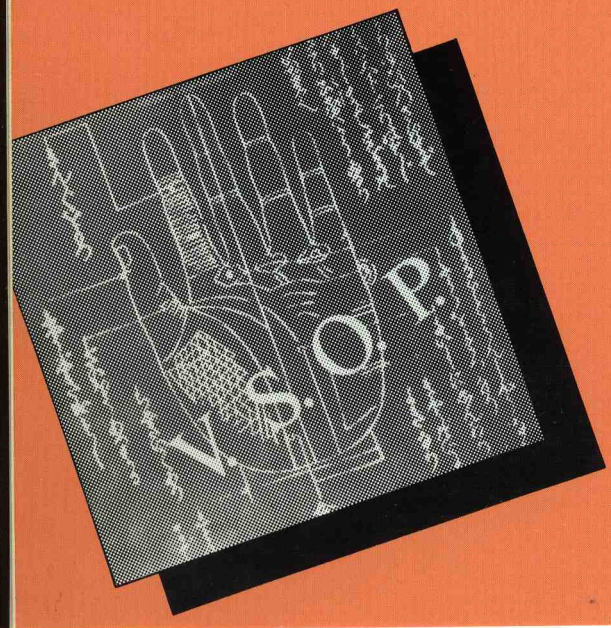
by FREDDIE HUBBARD

Copyright © by HUBTONES MUSIC CO.

B△7
G
A△7
E△7
D△7
Fm7
C
C
D
E
F♯
6

B△7
G
A△7
E△7
D△7
Fm7
D
Dmg

8va
B♭9
A9
A♭9
G9
Cm7
E
Trumpet Solo (In B♭)
Fm7
Gm7
8va
tr

F
Em7
C9
B9
B♭9
A9
tr
Dm7
G
Piano Solo
Fm7

5
8va

8va
8va
8va

H Vamp
I Tenor Sax Solo
J Theme





V.S.O.P.

DOMO
EIGHTY ONE
PARA ORIENTE
ONE OF ANOTHER KIND
CIRCE
SKAGLY
MAIDEN VOYAGE
THIRD PLANE
DOLORES
NEFERTITI
EYE OF THE HURRICANE



TOSHIBA EMI MUSIC
RittorMusic 定価2,500円★